

第10回文京区居住環境等移動理由別人口調査 結果報告書

令和3年9月～令和4年8月

文 京 区

目次

I	調査の概要	1
II	調査結果の要約	9
III	人口移動の分析	19
1.	文京区をめぐる人口の動き	21
1)	東京都（区部）の人口動向	21
2)	文京区の人口動向	22
(1)	人口、世帯数	22
(2)	男女別人口	22
(3)	年齢3区分人口	22
(4)	人口動態	23
(5)	地域（町丁）別人口	24
2.	調査結果の分析	33
1)	調査回答者属性	33
(1)	世帯構成	33
(2)	男女別人員（移動実人員）	33
(3)	18歳以下人員（移動実人員）	33
(4)	回答者の年齢構成	34
(5)	世帯主又は代表者の年齢構成	34
(6)	住宅の種類	35
(7)	移動理由	36
(8)	定住志向	36
(9)	世帯主又は代表者の就労状況	37
(10)	世帯収入	38
2)	人口移動の内訳	39
(1)	地方別移動	39
(2)	関東圏移動	40
(3)	都内間移動	41
3)	理由別移動状況	42
(1)	世帯主等移動理由（全体）	42
(2)	世帯主等移動理由（都内）	43
(3)	町名別移動理由	45
(4)	地方別移動理由（全国）	51
(5)	地方別移動理由（都内）	53
(6)	男女別移動理由	55
(7)	年齢階層別移動理由	57
4)	定住志向	59
(1)	転入・転出別定住志向	59
(2)	男女別定住志向	59
(3)	年齢階層別定住志向	61
(4)	町名別定住志向	63
(5)	定住志向別移動理由	65

5) 居住環境と移動状況	67
(1) 住宅の種類	67
(2) 町名別住宅の種類	69
(3) 住宅の種類別移動理由	71
(4) 都内間移動	73
(5) 住宅事情	74
(6) 生活環境	75
6) 就業状況と移動理由	76
(1) 転入	76
(2) 転出	77
7) 世帯年収と移動理由	78
(1) 転入	78
(2) 転出	79
8) 施策要望	80
(1) 転入・転出別施策要望	80
(2) 男女別施策要望	81
(3) 年齢階層別施策要望	83
(4) 町名別施策要望	85
IV 調査結果の数表	89
(表IV-1) 文京区移動人口調査集計結果(転入)	91
(表IV-2) 文京区移動人口調査集計結果(転出)	92
(表IV-3) 前住地(地方)別転入理由	93
(表IV-4) 前住地(都内)別転入理由	93
(表IV-5) 就業状況・世帯年収別転入理由	94
(表IV-6) 転出地(地方)別転出理由	95
(表IV-7) 転出地(都内)別転出理由	95
(表IV-8) 就業状況・世帯年収別転出理由	96
(表IV-9) 転入地(町名)別転入理由	97
(表IV-10) 前住地(町名)別転出理由	98
(表IV-11) 男女別・年齢階層別・定住志向別転入理由	99
(表IV-12) 男女別・年齢階層別・定住志向別転出理由	100
(表IV-13) 男女別・年齢階層別定住志向(転入・転出)	101
(表IV-14) 町名別定住志向(転入・転出)	102
(表IV-15) 町名別移動前後の住宅の種類(転入)	103
(表IV-16) 町名別移動前後の住宅の種類(転出)	104
(表IV-17) 移動前後の住宅の種類別転入理由	105
(表IV-18) 移動前後の住宅の種類別転出理由	105
(表IV-19) 年齢階層別移動前後の住宅の種類(転入)	106
(表IV-20) 年齢階層別移動前後の住宅の種類(転出)	106
(表IV-21) 都内間の移動前後の住宅の種類(転入)	107
(表IV-22) 都内間の移動前後の住宅の種類(転出)	108
(表IV-23) 男女別・年齢階層別施策要望(転入)	109
(表IV-24) 男女別・年齢階層別施策要望(転出)	109
(表IV-25) 町名別施策要望(転入)	110
(表IV-26) 町名別施策要望(転出)	111

I 調査の概要

1. 目的

本調査は、文京区の人口移動の実態を把握し、移動理由と居住環境との関連性を明らかにすることにより、区の諸計画や施策の基礎的な資料を得ることを目的とする。

2. 根拠法規

文京区居住環境等移動理由別人口調査実施要綱（昭和 63 年 5 月 12 日 63 文区区第 96 号）

3. 調査時期及び調査対象

令和 3 年 9 月から令和 4 年 8 月までの間（各月における調査日数は実質 7 日間）に、住民基本台帳（昭和 42 年法律第 81 号）第 22 条第 1 項の規定により転入の届出をした者及び同法第 24 条の規定により転出の届出をした者を調査の対象とした。

4. 調査事項

- (1) 移動者の世帯別区分（世帯全員か、世帯の一部か）及び移動人員
- (2) 世帯主又は代表者である移動者の性別及び年齢階層
- (3) 移動者の属する世帯の現住地と前住地及びそれぞれの住宅の種類
- (4) 移動者の属する世帯の移動理由
- (5) 移動者の文京区への定住志向
- (6) 移動者の属する世帯の施策要望
- (7) 世帯主又は代表者である移動者の就業状況
- (8) 世帯主又は代表者である移動者の従業地又は通学地
- (9) 世帯収入
- (10) その他必要な事項

5. 調査方法

この調査は、調査対象者に対し、戸籍住民課において調査票を配布し回答を受けるという方法で実施した。

6. 有効サンプル数

転 入	転 出
802 件	336 件

7. 調査票

文京区居住環境等移動理由別人口調査票

※該当する番号に○をつけ 内にあてはまる事項を記入してください。

1 本で行った手続きについて

1. 転入手続 2. 転出手続

2 あなた本人のことについて（代理人の方は、以下、転出・転入する方についてご記入ください）

- (1) 性別は 1. 男性 2. 女性
- (2) 年齢は 1. 15～24歳 2. 25～34歳 3. 35～44歳
 4. 45～54歳 5. 55～64歳 6. 65歳以上

3 あなたの世帯の構成などについて

- (1) 転入または転出したのは 1. 世帯全員 2. 世帯の中の一部の人

- (2) 転入または転出した人数は 人

（そのうち 男性 人 女性 人）

（そのうち 0～12歳 人 13～18歳 人）

- (3) 転入後または転出前の世帯主(又は代表者)について

- ① 世帯主の性別は 1. 男性 2. 女性
- ② 世帯主の年齢は 1. 15～24歳 2. 25～34歳 3. 35～44歳
 4. 45～54歳 5. 55～64歳 6. 65歳以上

4 転入前（転出後）の住所と住宅について

- (1) 転入後の文京区の住所または転出前の文京区の住所は

文京区 丁目 (例) 文京区 丁目

- (2) 転入後の文京区の住宅または転出前の文京区の住宅は

1. 持ち家(親の持ち家含む) 2. 民営の賃貸住宅
3. 公営の賃貸住宅 4. 社宅・公務員住宅
5. その他(寮・間借り・下宿等)

- (3) 転入前の住所または転出後の住所は

都 道 市 区
 府 県 町 村

- (4) 転入前の住宅または転出後の住宅は

1. 持ち家(親の持ち家含む) 2. 民営の賃貸住宅
3. 公営の賃貸住宅 4. 社宅・公務員住宅
5. その他(寮・間借り・下宿等)

5 転入または転出した理由について該当する番号に○をつけてください【最大3つまで】

1. 転勤、就職、転・退職、開業のため
2. 結婚等のため
3. 親又は子などの親族と同居する、又は近くに住むため
4. 家を新築、購入したため
5. 教育や保育などの子育てしやすい環境が充実しているため
6. 家賃や居住スペース等の条件のよい住宅があったため
7. 買い物など日常の生活環境が整っているため
8. まち並みやまちの雰囲気が気に入ったため
9. 緑や公園が多く、自然環境が整っているため
10. 通勤、通学などの交通の便がよいため
11. 学校などの教育施設、文化施設、スポーツ施設が身近にあるため
12. 治安面や防災面で安心できるため
13. その他(具体的に)

転入する文京区
または
転出先の自治体は

6 文京区に住み続けたい、または住み続けたかったと思いますか

1. ずっと住み続けたい、またはずっと住み続けたかった
2. 一時的なものと考えている、または、一時的なものと考えていた
3. わからない

7 文京区を住み良くするために重要だと思うものを下記の該当する番号に○をつけてください【最大3つまで】

1. 環境施策を推進し、空気や緑などの自然環境をよくすること
2. 教育や保育などの子育て支援策を充実させること
3. 子どもや高齢者などが安全に暮らせるまちにすること
4. 地震、水害などの災害に備えた防災対策を強化すること
5. 文化施設、スポーツ施設、図書館等を利用しやすくすること
6. まち並みやまちの雰囲気を活かすための施策を推進すること
7. 地域の人々が協力しあえる地域コミュニティの活性化を推進すること
8. 買い物に便利で活気のあるまちをつくること
9. その他(具体的に)
10. わからない

8 世帯主(又は代表者)の就業状況について

- (1) お仕事は
- | | |
|--------|--------|
| 1. 自営業 | 2. 勤め人 |
| 3. 学生 | 4. その他 |
-

- (2) 事業所(勤め先)又は通学先の所在地は
- | | |
|----------|---------|
| 1. 文京区内 | 2. 他の区部 |
| 3. 都内市町村 | 4. 都外 |

9 世帯年収について下記の該当する番号に○をつけてください

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. わからない | 2. 300万円未満 |
| 3. 300万円以上500万円未満 | 4. 500万円以上800万円未満 |
| 5. 800万円以上1,000万円未満 | 6. 1,000万円以上1,500万円未満 |
| 7. 1,500万円以上2,000万円未満 | 8. 2,000万円以上 |

ご協力ありがとうございました

用語の解説等

1. 移動前と移動後の地域区分

移動前と移動後の地域区分については、次のように区分して用いている。

- 〔 転入 〕 * 前住地 : 文京区へ転入する前の住所地
- * 転入地 : 転入した文京区内の住所地

- 〔 転出 〕 * 前住地 : 区外へ転出する前の文京区内の住所地
- * 転出地 : 文京区から転出した後の住所地

2. 都道府県地方別区分

全国都道府県を、地理上及び地域特性上、次の10地方に区分した。

- * 北海道地方 : 北海道
- * 東北地方 : 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- * 関東地方 : 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- * 北陸地方 : 新潟県、富山県、石川県、福井県
- * 中部地方 : 山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
- * 近畿地方 : 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- * 中国地方 : 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- * 四国地方 : 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- * 九州地方 : 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- * 沖縄地方 : 沖縄県

また、移動前後の地域が国外であるものは、別途区分した。

3. 住宅の種類

- (1) 持ち家 : その世帯が所有している住宅
- (2) 民営の賃貸住宅 : その世帯が借りている住宅で、公団・公社、都道府県・区市町村営の賃貸住宅及び給与住宅でない場合
- (3) 公営の賃貸住宅 : その世帯が借りている住宅で、公団・公社、都道府県・区市町村営の賃貸住宅であってかつ給与住宅でない場合
- (4) 社宅・公務員住宅 : 会社、官公庁、団体などが所有又は管理していて、その職員を職務の都合上又は給与の一部として居住させている住宅
- (5) その他 : 上記(1)～(4)以外で、寮・間借り、下宿、住み込み等の場合

4. 移動理由

移動理由については、次の6つに区分した。

- (1) 職業的理由
 転勤、就職、転・退職、開業のため移動する場合
- (2) 教育・文化的理由
 ①教育や保育などの子育てしやすい環境が充実しているため移動する場合
 ②学校などの教育施設、文化施設、スポーツ施設が身近にあるため移動する場合
- (3) 結婚・同居等
 ①結婚等のため移動する場合
 ②親又は子などの親族と同居する、又は近くに住むため移動する場合
- (4) 生活・環境的理由
 ①通勤、通学などの交通の便が良いため移動する場合
 ②買い物などの日常の生活環境が整っているため移動する場合
 ③緑や公園が多く、自然環境が整っているため移動する場合
 ④まち並みやまちの雰囲気が気に入ったため移動する場合
 ⑤治安面や防災面で安心できるため移動する場合
- (5) 住宅事情
 ①家を新築、購入したため移動する場合
 ②家賃や居住スペース等の条件のよい住宅があったため移動する場合
- (6) その他
 上記(1)～(5)以外の理由により移動する場合
 例)「入院・退院」、「一人暮らしをしたい」、「知人が近くにいるため」等

5. 「移動世帯主」(世帯主又は代表者)と移動人員

移動世帯主は、移動の主因者又は代表者となるものであり、転入・転出それぞれにつき「転入世帯主等」・「転出世帯主等」と表示している。

また、移動世帯主及びこれに随伴して移動する者を含め、「移動実人員」と表示している。

6. 「今回」と「前回」の区分

表・図の中の「今回」と「前回」の区分は、以下のとおり。

- [今回] 令和3年9月～令和4年8月までの調査結果をまとめたもの
- [前回] 平成28年6月～平成29年5月までの調査結果をまとめたもの

7. その他

- (1) 統計表中の構成比及び本文調査結果の概説中の図表の構成比は四捨五入してあるため、合計は必ずしも 100%にならない。
- (2) 統計表中の符号の意味は以下のとおり。
 - 「-」 皆無または該当数字なし
 - 「△」 対前回減少または減少比を示す
- (3) 「住民基本台帳法の一部を改正する法律」(平成 21 年法律第 77 号) が平成 24 年 7 月より施行され、外国人住民が住民基本台帳の登録対象となったが、本報告書においては日本人のみを対象としている。(表Ⅲ-3 文京区の人口動態推移、図Ⅲ-4 人口密度を除く)
- (4) 統計表中の「n」は各設問の母数とすべき実数を表す。
- (5) n が小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、10 未満の場合は注意を要する。したがって、n が 10 を下回る場合、原則的に数値をあげたコメントは行わない。

Ⅱ 調査結果の要約

1. 文京区の人口動向

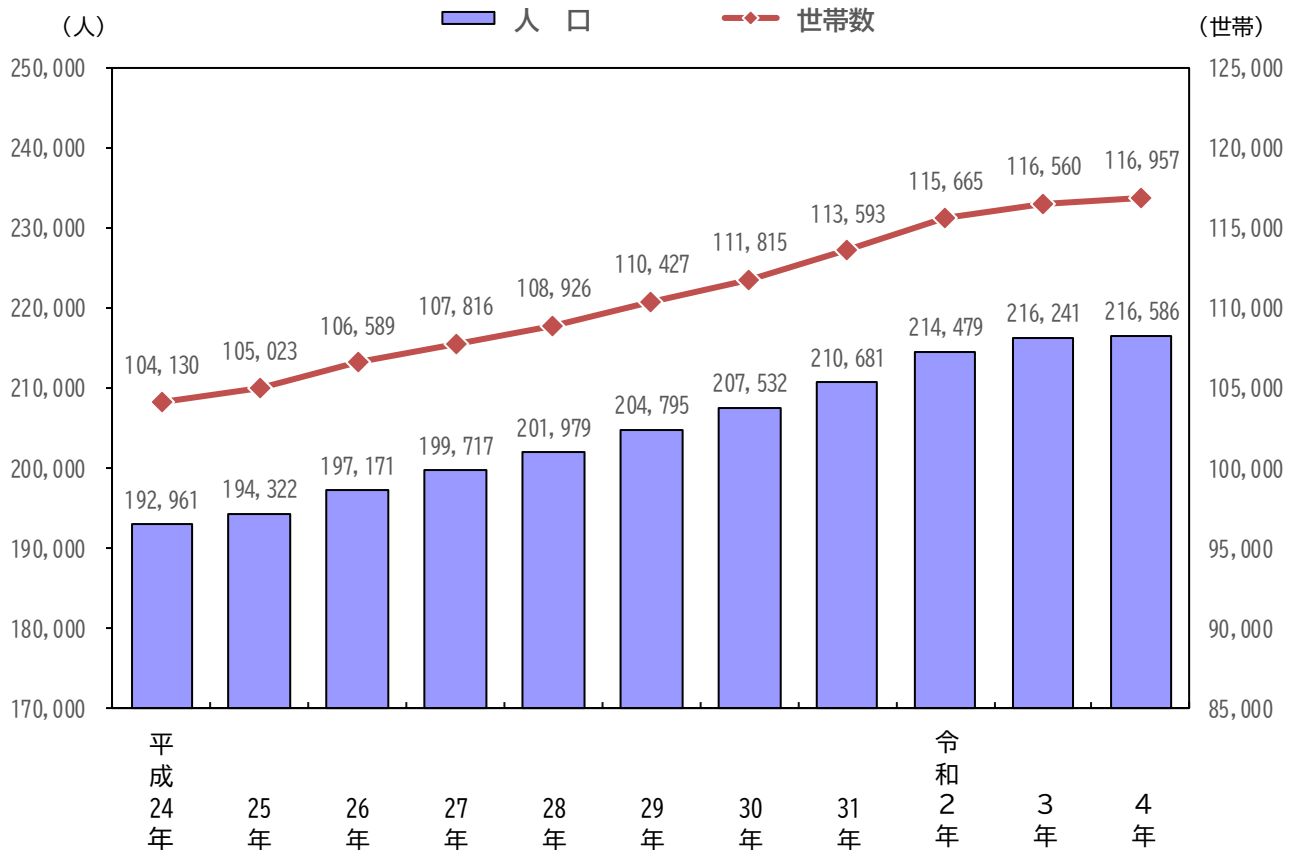
- 人口は平成 11 年から増加傾向が続いており、平成 26 年から令和 2 年の 7 年間は対前年比 1 %以上増加していたが、令和 4 年の増加率は過去 10 年間で最も低く、0.16%に留まった。
- 世帯数は、人口と同様に増加傾向が続いており、平成 29 年に 11 万世帯を超えたが、令和 3 年から 4 年にかけてほぼ横ばいとなっている。
- 人口構成比は、年少人口が微増傾向、生産年齢人口と老年人口は微減傾向が続いている。令和 3 年に年少人口が 13%を超えたが、老年人口は 20%を切った。

(1) 人口と世帯数の推移

文京区の人口は平成 11 年から増加に転じており、平成 28 年には 20 万人を超えた。平成 26 年から 30 年の 5 年間で増加数 2,000 人超、平成 31 年から令和 2 年の 2 年間で増加数 3,000 人超と、平成 26 年から令和 2 年の 7 年間は対前年比 1 %以上の伸び率となった。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行下において、令和 3 年から 4 年の直近 2 年間は対前年比 1 %以下が続いている。

世帯数は、平成 8 年から増加傾向にあり、平成 21 年に 10 万世帯、平成 29 年に 11 万世帯を超え、現在まで増加傾向は続いている。人口と同様に平成 26 年から令和 2 年の 7 年間は増加率が上がっているが、新型コロナウイルス感染症の流行下において、令和 3 年から 4 年の増加はほぼ横ばいとなっている。(図Ⅱ-1)

図Ⅱ-1 人口と世帯数の推移 (各年1月1日)



(2) 年齢3区分別人口（構成比）の推移

人口構成をみると、過去10年間は年少人口が微増傾向で続いており、令和3年には13%を超えている。老年人口は平成28年を境に微減傾向に転じ、令和3年には20%を切っている。生産年齢人口は令和2年にやや上向いたものの、微減傾向が続いている。10年前の平成24年と比較して、年少人口は2.2ポイント増加しているが、生産年齢人口は2.4ポイント減少している。老年人口は10年前とほぼ同じ割合に戻っている。(図Ⅱ-2)

図Ⅱ-2 年齢3区分別人口（構成比）の推移（各年1月1日）



2. 転入理由

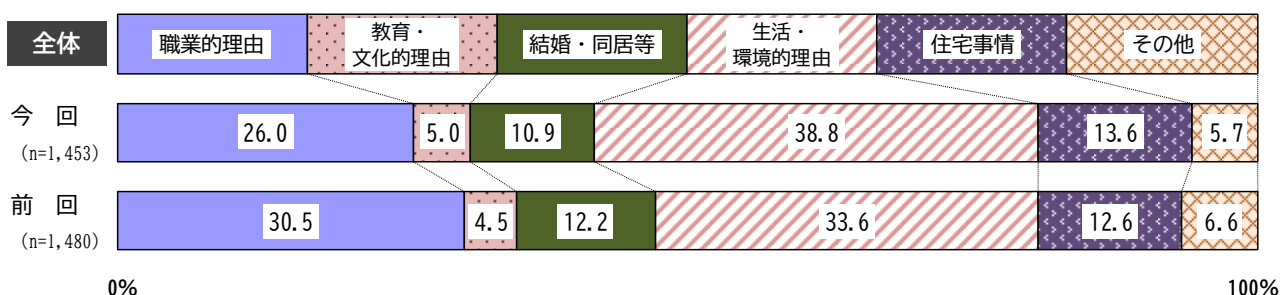
- 転入理由の第1位は、「生活・環境的理由」(38.8%)となっている。
- 都内からの転入者に限っても、「生活・環境的理由」(40.1%)がもっとも多くなっている。

(1) 転入理由(全体)

転入を理由別にみると、「生活・環境的理由」(38.8%)がもっとも多く、次いで「職業的理由」(26.0%)、「住宅事情」(13.6%)の順となっている。

前回と比較すると、「生活・環境的理由」が5.2ポイント増加し、「職業的理由」が4.5ポイント減少している。(図Ⅱ-3)

図Ⅱ-3 転入理由(全体)

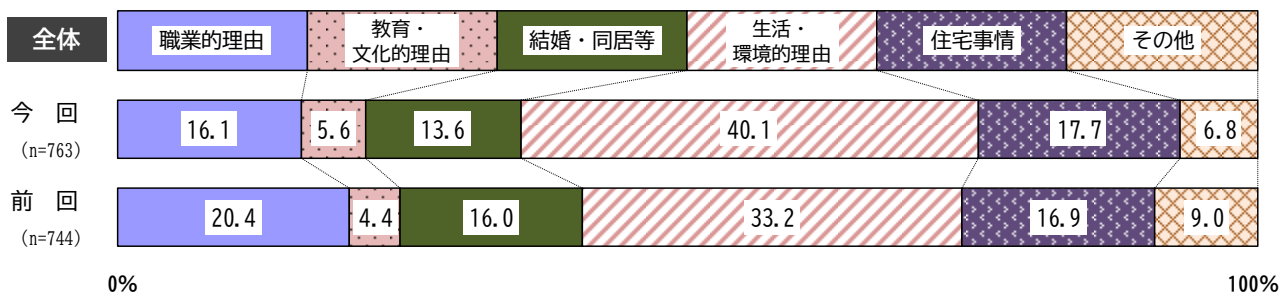


(2) 転入理由(都内)

都内からの転入を理由別にみると、「生活・環境的理由」(40.1%)がもっとも多く、次いで「住宅事情」(17.7%)、「職業的理由」(16.1%)の順となっている。

前回と比較すると、「生活・環境的理由」が6.9ポイント増加し、「職業的理由」が4.3ポイント、「結婚・同居等」が2.4ポイント減少している。(図Ⅱ-4)

図Ⅱ-4 転入理由(都内)



3. 転出理由

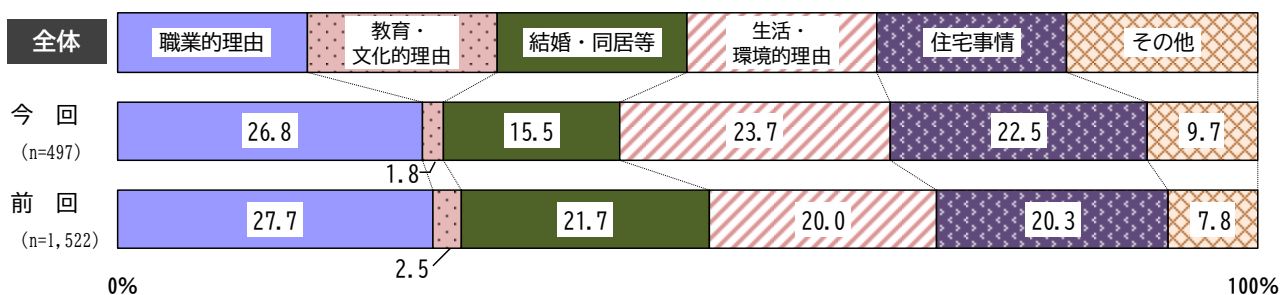
- 転出理由の第1位は、「職業的理由」(26.8%)となっている。
- 都内への転出者に限ると、「住宅事情」(27.4%)がもっとも多くなっている。

(1) 転出理由 (全体)

転出を理由別にみると、「職業的理由」(26.8%)がもっとも多く、次いで「生活・環境的理由」(23.7%)、「住宅事情」(22.5%)の順となっている。

前回と比較すると、「生活・環境的理由」が3.7ポイント、「住宅事情」が2.2ポイント増加し、「結婚・同居等」が6.2ポイント減少している。(図Ⅱ-5)

図Ⅱ-5 転出理由 (全体)

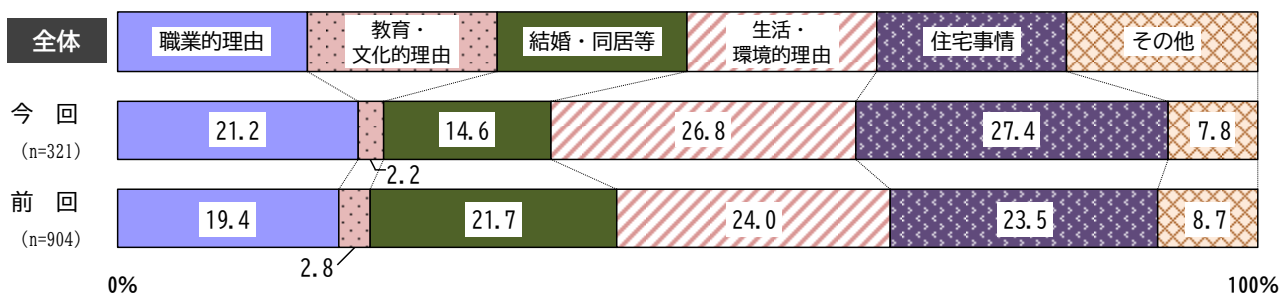


(2) 転出理由 (都内)

都内への転出を理由別にみると、「住宅事情」(27.4%)がもっとも多く、次いで「生活・環境的理由」(26.8%)、「職業的理由」(21.2%)の順となっている。

前回と比較すると、「住宅事情」が3.9ポイント、「生活・環境的理由」が2.8ポイント、「職業的理由」が1.8ポイント増加し、「結婚・同居等」が7.1ポイント減少している。(図Ⅱ-6)

図Ⅱ-6 転出理由 (都内)



4. 「生活・環境的理由」による転出入の内訳

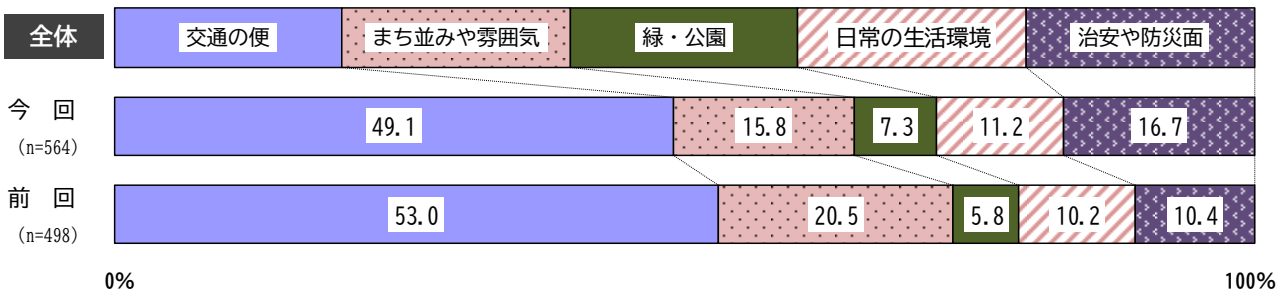
- 転入理由の「生活・環境的理由」の内訳では、「交通の便」(49.1%)が第1位となっている。
- 転出理由の「生活・環境的理由」の内訳も、「交通の便」(50.0%)が第1位となっており、前回とほぼ同率となっている。

(1) 転入

転入理由では、「生活・環境的理由」の割合がもっとも多く、全体の38.8%を占めている。(図Ⅱ-3) その内訳は、「交通の便」(49.1%)がもっとも多く、次いで「治安や防災面」(16.7%)の順となっている。

前回と比較すると、「治安や防災面」が6.3ポイント増加し、「まち並みや雰囲気」が4.7ポイント、「交通の便」が3.9ポイント減少している。(図Ⅱ-7)

図Ⅱ-7 「生活・環境的理由」の内訳【転入】



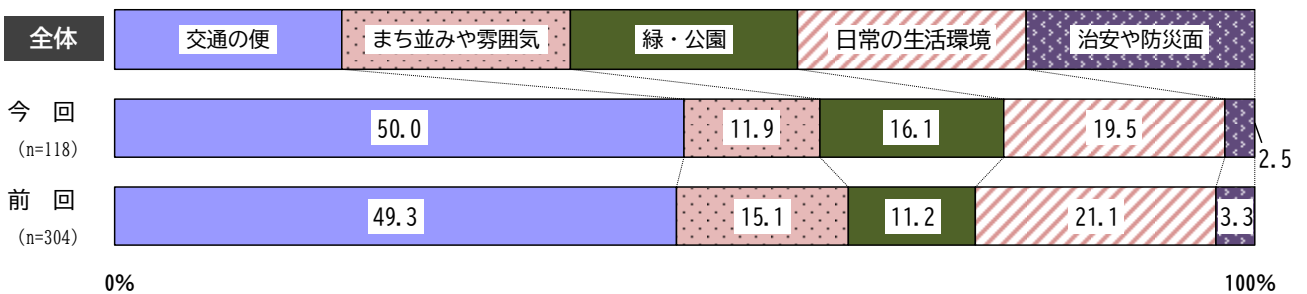
(2) 転出

転出理由では、「職業的理由」の割合が26.8%と最も多く、次いで「生活・環境的理由」が23.7%となっている。(図Ⅱ-5)

「生活・環境的理由」の内訳は、「交通の便」(50.0%)が最も多く、次いで「日常生活環境」(19.5%)の順となっている。

前回と比較すると、「緑・公園」が4.9ポイント増加し、「まち並みや雰囲気」が3.2ポイント、「日常生活環境」が1.6ポイント減少している。(図Ⅱ-8)

図Ⅱ-8 「生活・環境的理由」の内訳【転出】



5. 「住宅事情」による転出入の内訳

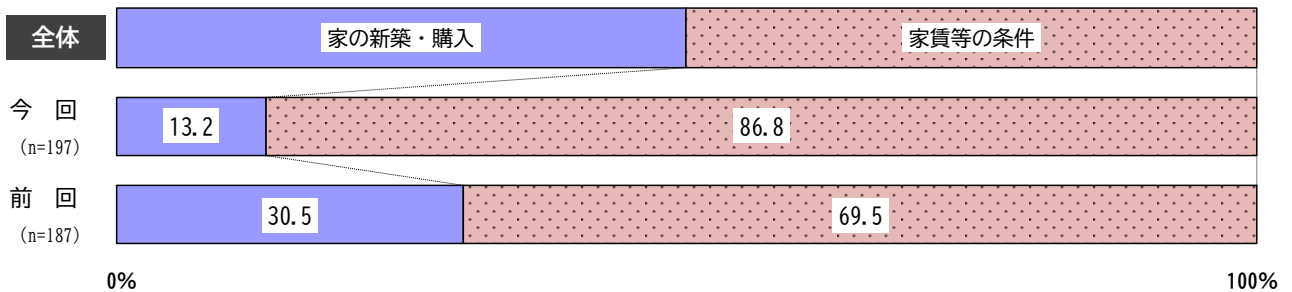
- 転入理由の「住宅事情」の内訳では、「家賃等の条件」が86.8%を占めており、前回から17.3ポイント増加している。
- 転出理由の「住宅事情」の内訳では、「家賃等の条件」が74.1%を占めている。

(1) 転入

転入理由において、「住宅事情」の割合は全体の13.6%を占めている。(図Ⅱ-3) その内訳は、「家賃等の条件」が86.8%、「家の新築・購入」が13.2%となっている。

前回と比較すると、「家賃等の条件」が17.3ポイント増加し、「家の新築・購入」が17.3ポイント減少している。(図Ⅱ-9)

図Ⅱ-9 「住宅事情」の内訳【転入】

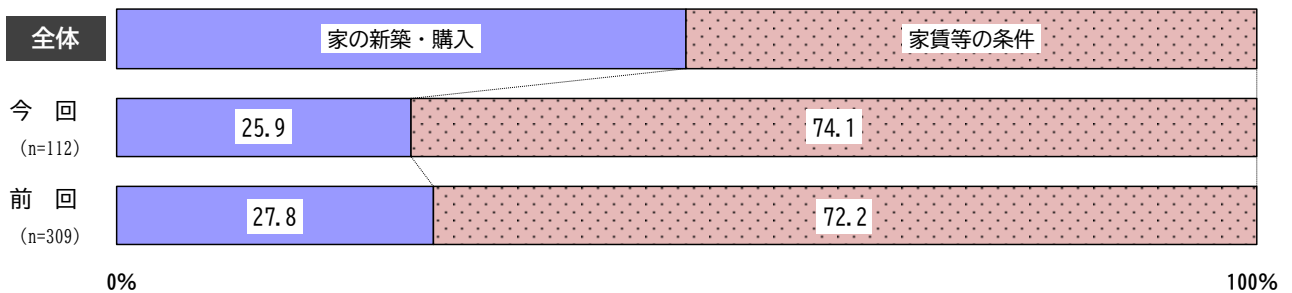


(2) 転出

転出理由において、「住宅事情」の割合は全体の22.5%を占めている。(図Ⅱ-5) その内訳は、「家賃等の条件」が74.1%、「家の新築・購入」が25.9%となっている。

前回と比較すると、「家賃等の条件」が1.9ポイント増加し、「家の新築・購入」が1.9ポイント減少している。(図Ⅱ-10)

図Ⅱ-10 「住宅事情」の内訳【転出】



6. 定住志向

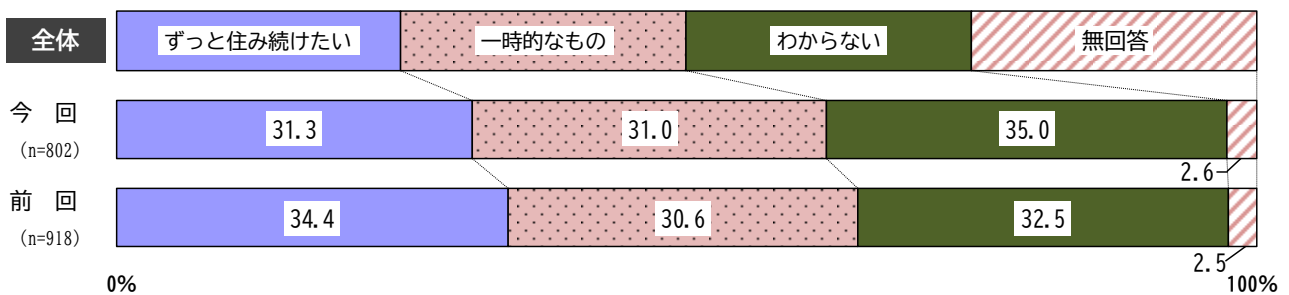
- 転入者については、「ずっと住みたい」が31.3%、転出者は「ずっと住みたかった」が60.1%となっている。
- 転入者は、「ずっと住みたい」が3.1ポイント減少しているが、転出者は「ずっと住みたかった」が2.8ポイント増加している。

(1) 転入

転入者の文京区への定住志向は、「わからない」(35.0%)、「ずっと住みたい」(31.3%)、「一時的なもの」(31.0%)の順となっている。

前回と比較すると、「ずっと住みたい」が3.1ポイント減少している。(図Ⅱ-11)

図Ⅱ-11 定住志向【転入】

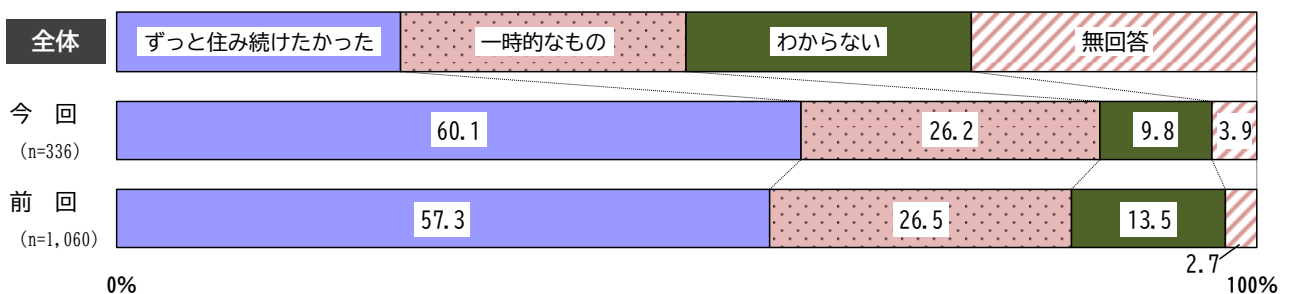


(2) 転出

転出者については、「ずっと住みたかった」(60.1%)が6割を占めている。次いで「一時的なもの」(26.2%)、「わからない」(9.8%)の順となっている。

前回と比較すると、「ずっと住みたかった」が2.8ポイント増加し、「わからない」が3.7ポイント減少している。(図Ⅱ-12)

図Ⅱ-12 定住志向【転出】



7. 施策要望

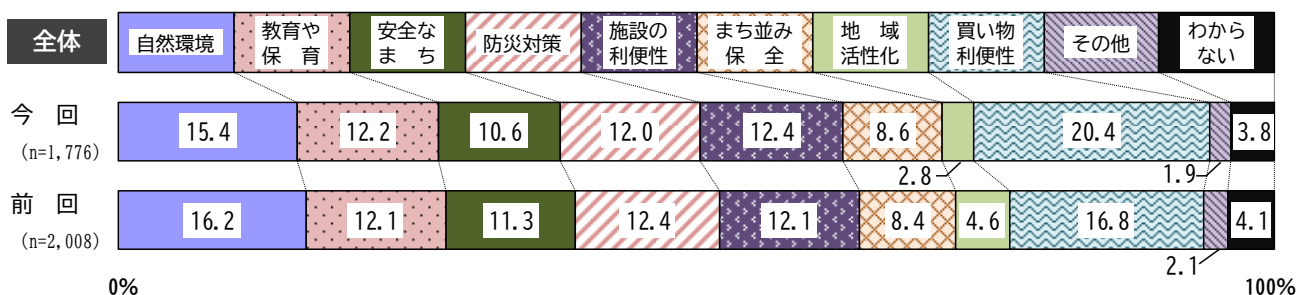
- 施策への要望は、転入者・転出者ともに多分野に分散しているが、「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」がともに約2割を占めて1位となっている。
- 転入者は、「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」が3.6ポイント増加しており、転出者は、「まち並みやまちの雰囲気を活かすための施策を推進すること」が4.2ポイント増加している。

(1) 転入

転入者の施策要望をみると、「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」(20.4%)がもっとも多く、次いで「自然環境をよくすること」(15.4%)、「文化施設等を利用しやすくすること」(12.4%)の順となっている。

前回と比較すると、1位と2位は同じだが、第1位の「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」は3.6ポイント増加している。(図Ⅱ-13)

図Ⅱ-13 施策要望【転入】



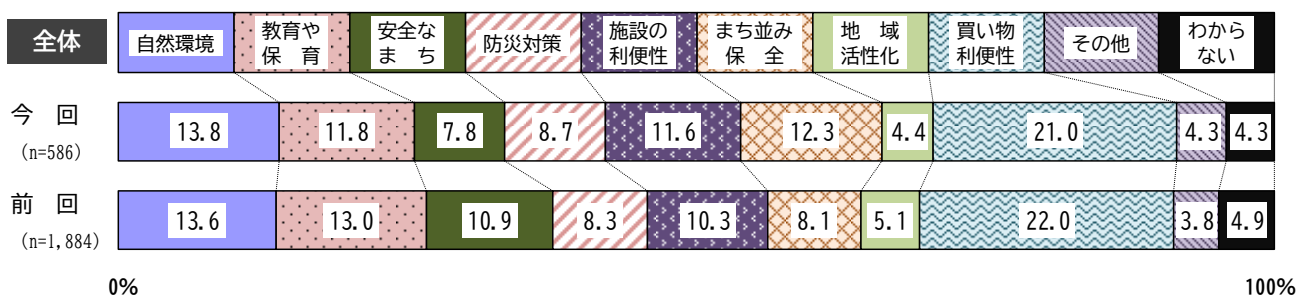
(2) 転出

転出者の施策要望をみると、「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」(21.0%)がもっとも多く、次いで「自然環境をよくすること」(13.8%)、「まち並みやまちの雰囲気を活かすための施策を推進すること」(12.3%)の順となっている。

前回と比較すると、前回第7位の「まち並みやまちの雰囲気を活かすための施策を推進すること」は4.2ポイント増加し、今回第3位に上昇しており、前回第4位の「子どもや高齢者などが安全に暮らせるまちにすること」が3.1ポイント減少し、今回第7位に下降している。

(図Ⅱ-14)

図Ⅱ-14 施策要望【転出】



Ⅲ 人口移動の分析

1. 文京区をめぐる人口の動き

1) 東京都（区部）の人口動向

平成24年から令和4年までの過去10年間の区部の人口は、6.0%（517,200人）増となっているが、前回の10年間（平成19年から平成29年）の6.9%（573,471人）増と比べて、0.9ポイント減少した。

平成24年からの5年間では3.7%（317,084人）増加したが、平成29年からの5年間では2.3%（200,116人）の増加に留まった。

区別にみると、平成24年からの5年間では、中央区（19.3%）、千代田区（17.7%）、港区（10.5%）が10.0%を超える高い増加率を示し、渋谷区（6.5%）と文京区（6.1%）が続いている。平成29年からの5年間では、中央区（13.9%）や千代田区（12.5%）で高い増加率を示し、台東区（5.9%）、文京区（5.8%）、品川区（5.4%）と続いているが、江戸川区（△0.9%）は23区内で唯一人口が減少している。

過去10年間でみると、すべての区で人口が増加しており、特に中央区（35.8%）と千代田区（32.3%）は30.0%を超えて高く、港区（15.3%）、文京区（12.2%）、台東区（11.7%）と続いており、文京区は4番目に高い増加率となっている。（表Ⅲ-1）

表Ⅲ-1 東京都（区部）の人口推移

（各年1月1日現在）

区名	住民基本台帳人口								
	平成24年	H24~H29		平成29年	H29~R4		令和4年	H24~R4	
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率
千代田	48,538	8,585	17.7%	57,123	7,112	12.5%	64,235	15,697	32.3%
中央	120,297	23,167	19.3%	143,464	19,893	13.9%	163,357	43,060	35.8%
港	208,397	21,853	10.5%	230,250	10,004	4.3%	240,254	31,857	15.3%
新宿	284,518	12,735	4.5%	297,253	10,062	3.4%	307,315	22,797	8.0%
文京	192,961	11,834	6.1%	204,795	11,791	5.8%	216,586	23,625	12.2%
台東	169,999	9,223	5.4%	179,222	10,591	5.9%	189,813	19,814	11.7%
墨田	240,691	13,052	5.4%	253,743	10,089	4.0%	263,832	23,141	9.6%
江東	455,366	25,068	5.5%	480,434	16,243	3.4%	496,677	41,311	9.1%
品川	353,502	17,517	5.0%	371,019	20,142	5.4%	391,161	37,659	10.7%
目黒	255,038	10,576	4.1%	265,614	3,868	1.5%	269,482	14,444	5.7%
大田	676,359	19,337	2.9%	695,696	9,905	1.4%	705,601	29,242	4.3%
世田谷	840,522	33,817	4.0%	874,339	20,841	2.4%	895,180	54,658	6.5%
渋谷	199,450	13,003	6.5%	212,453	6,781	3.2%	219,234	19,784	9.9%
中野	298,780	10,987	3.7%	309,767	6,491	2.1%	316,258	17,478	5.8%
杉並	527,675	16,732	3.2%	544,407	10,093	1.9%	554,500	26,825	5.1%
豊島	248,299	8,948	3.6%	257,247	1,895	0.7%	259,142	10,843	4.4%
北	317,227	8,370	2.6%	325,597	4,211	1.3%	329,808	12,581	4.0%
荒川	190,164	5,118	2.7%	195,282	2,691	1.4%	197,973	7,809	4.1%
板橋	518,350	16,292	3.1%	534,642	6,909	1.3%	541,551	23,201	4.5%
練馬	694,886	12,403	1.8%	707,289	12,240	1.7%	719,529	24,643	3.5%
足立	645,671	8,193	1.3%	653,864	2,104	0.3%	655,968	10,297	1.6%
葛飾	434,508	3,617	0.8%	438,125	2,328	0.5%	440,453	5,945	1.4%
江戸川	654,030	6,657	1.0%	660,687	△ 6,168	△ 0.9%	654,519	489	0.1%
区部合計	8,575,228	317,084	3.7%	8,892,312	200,116	2.3%	9,092,428	517,200	6.0%

2) 文京区の人口動向

(1) 人口、世帯数

文京区の人口は、昭和38年の253,336人をピークに減少を続け、平成10年には165,864人と最低となった。その後増加に転じ、令和4年には216,586人となっている。増加数については、平成22年から平成25年まで4年連続で増加数が2,000人を下回っていたが、平成26年から令和2年まで7年連続で増加数が2,000人を超え、特に平成31年と令和2年では増加数が3,000人を超えたが、令和2年の3,798人増をピークに、令和3年は1,762人増、令和4年は345人増と増加のペースは鈍化している。

世帯数は、昭和43年の97,518世帯をピークに減少し、平成7年には79,211世帯まで落ち込んだ。その後平成11年からは10年連続で1,000世帯以上増加し、平成21年に初めて10万世帯を超えた。その後も増加は続き、平成22年から平成25年までの4年間は増加傾向に鈍化がみられたが、平成26年から令和2年までの7年間は再び1,000世帯以上増加し、令和2年には2,072世帯増加したが、人口と同様に令和3年(895世帯増)と令和4年(397世帯増)の世帯増加数は微増に留まっている。

平均世帯人員は、過去10年間で平成30年と令和3年に1.86人になった以外は、1.85人で推移している。(表Ⅲ-2)

(2) 男女別人口

男女別人口は、過去10年間における増加数は女性が男性を上回る傾向が続いているが、平成30年は男性の増加数が女性を上回っている。また、令和3年から令和4年にかけて男女ともに増加数が落ち込んでおり、令和4年では男性102,906人(47.5%)、女性113,680人(52.5%)となっている。男女の構成比は、前回調査時(平成29年)の構成比(男性47.5%、女性52.5%)、10年前(平成24年)の構成比(男性47.7%、女性52.3%)からほぼ変化していない。

(表Ⅲ-2)

(3) 年齢3区分人口

① 年少人口(0~14歳)

年少人口は、過去10年において毎年増加が続いており、令和4年は28,538人となった。前回調査時(平成29年)より3,439人、10年前(平成24年)より7,285人増加している。

令和4年の年少人口の構成比は13.2%であり、前回調査時(平成29年)の12.3%より0.9ポイント、10年前(平成24年)の11.0%より2.2ポイント上昇している。(表Ⅲ-2)

② 生産年齢人口(15~64歳)

生産年齢人口は、過去10年において平成26年から増加に転じ増加傾向が続いたが、令和4年は微減し、144,874人となった。前回調査時(平成29年)より7,270人、10年前(平成24年)より11,108人増加している。

一方で、令和4年生産年齢人口の構成比は66.9%であり、前回調査時(平成29年)の67.2%より0.3ポイント、10年前(平成24年)の69.3%より2.4ポイント下降している。(表Ⅲ-2)

③ 老年人口(65歳以上)

老年人口は、過去10年において毎年増加が続いているものの、平成27年からは増加傾向は緩やかになっており、令和4年は43,174人となった。前回調査時(平成29年)より1,082人、10年前(平成24年)より5,232人増加している。

また、令和4年の老年人口の構成比は19.9%であり、前回調査時(平成29年)の20.6%より0.7ポイント下降しているが、10年前(平成24年)の19.7%より0.2ポイント上昇している。

(表Ⅲ-2)

表Ⅲ－２ 文京区の人口推移（平成24年～令和4年）

(各年1月1日現在)

年次	人 口			年齢3区分別人口			世帯数	平均 世帯人員
	総数	男	女	年少人口	生産年齢人口	老年人口		
平成24年	192,961	91,997	100,964	21,253	133,766	37,942	104,130	1.85
25年	194,322	92,505	101,817	21,778	133,431	39,113	105,023	1.85
26年	197,171	93,905	103,266	22,656	134,336	40,179	106,589	1.85
27年	199,717	95,057	104,660	23,391	135,156	41,170	107,816	1.85
28年	201,979	96,073	105,906	24,201	136,016	41,762	108,926	1.85
29年	204,795	97,283	107,512	25,099	137,604	42,092	110,427	1.85
30年	207,532	98,618	108,914	25,772	139,289	42,471	111,815	1.86
31年	210,681	100,225	110,456	26,653	141,431	42,597	113,593	1.85
令和2年	214,479	102,006	112,473	27,537	144,141	42,801	115,665	1.85
3年	216,241	102,794	113,447	28,355	144,887	42,999	116,560	1.86
4年	216,586	102,906	113,680	28,538	144,874	43,174	116,957	1.85

(4) 人口動態

① 社会動態（転出者－転入者）

社会動態は、平成元年に3,468人減と転入者が転出者を下回る「社会減」がピークに達し、平成9年から転入者が転出者を上回る「社会増」に転じた。その後増加傾向が続き、平成31年には4,797人増と「社会増」のピークに達したが、令和2年には460人増と大きく落ち込み、令和3年は242人減と、32年ぶりに再び「社会減」となった。（表Ⅲ－3）

② 自然動態（出生者数－死亡者数）

自然動態は、平成元年から平成19年まで出生者数が死亡者を下回る「自然減」が続いていたが、平成20年には出生者数が死亡者を上回る「自然増」となり、平成22年を除き、令和3年まで「自然増」となっている（平成25年以降は外国人を含む）。出生者数は増加傾向にあり、平成27年から令和2年までの6年間は2,000人以上増加していたが、令和3年は1,884人となっている。（表Ⅲ－3）

表Ⅲ－3 文京区の人口動態推移（平成23年～令和3年）

(各年1月～12月)

年次	全体の 増減	社会動態			自然動態			その他の 増減
		社会増減	転入	転出	自然増減	出生	死亡	
平成23年	1,767	1,551	17,588	16,037	131	1,715	1,584	85
24年	1,335	1,236	17,514	16,278	115	1,694	1,579	△ 16
25年	3,001	3,368	21,191	17,823	237	1,860	1,623	△ 604
26年	3,155	3,249	21,073	17,824	377	1,917	1,540	△ 471
27年	2,899	3,029	21,714	18,685	414	2,034	1,620	△ 544
28年	3,657	3,428	21,999	18,571	560	2,167	1,607	△ 331
29年	3,450	3,362	22,226	18,864	558	2,074	1,516	△ 470
30年	4,070	4,076	23,616	19,540	469	2,119	1,650	△ 475
31年	4,625	4,797	24,453	19,656	360	2,044	1,684	△ 532
令和2年	460	610	20,555	19,945	470	2,109	1,639	△ 620
3年	△ 242	△ 121	20,517	20,638	158	1,884	1,726	△ 279

「住民基本台帳法の一部を改正する法律」の施行に伴い、平成25年以降の数値には外国人住民を含む

(5) 地域（町丁）別人口

① 全体の変動

文京区の人口は、平成24年からの5年間では6.1%（11,834人）、平成29年からの5年間では5.8%（11,791人）増加し、平成24年から令和4年までの10年間では12.2%（23,625人）増加している。

これを地域（町丁）別にみると、この10年間で人口が増加したのは、68町丁のうち58町丁となっている。このうち増加率が40%を超えているのは湯島2丁目（40.1%）、30%を超えているのは小石川1丁目（38.1%）、関口2丁目（37.3%）、湯島3丁目（36.4%）、水道2丁目（33.2%）、大塚2丁目（30.0%）となっている。反対に減少率が高い地域は、後楽1丁目（△13.8%）、弥生1丁目（△9.7%）、春日1丁目（△8.0%）となっている。平成24年からの5年間では55町丁、平成29年からの5年間では60町丁で人口が増加している。（表Ⅲ-4）

表Ⅲ-4 町丁別人口の推移（平成24年～令和4年）

（各年1月1日現在）

町丁名	平成24年		人口増減 H24～H29	平成29年		人口増減 H29～R4	令和4年		人口増減 H24～R4
	世帯	人口		世帯	人口		世帯	人口	
総数	104,130	192,961	11,834	110,427	204,795	11,791	116,957	216,586	23,625
後楽1丁目	333	608	△104	232	504	20	237	524	△84
2丁目	780	1,401	7	808	1,408	△33	804	1,375	△26
春日1丁目	939	1,509	△46	910	1,463	△74	854	1,389	△120
2丁目	1,904	3,727	226	2,005	3,953	126	2,073	4,079	352
小石川1丁目	1,818	3,396	△41	1,750	3,355	1,334	2,359	4,689	1,293
2丁目	1,858	3,381	398	2,059	3,779	186	2,138	3,965	584
3丁目	2,293	4,644	554	2,507	5,198	190	2,677	5,388	744
4丁目	1,677	3,317	285	1,775	3,602	224	1,869	3,826	509
5丁目	2,659	4,964	558	2,881	5,522	124	2,942	5,646	682
白山1丁目	2,441	4,473	27	2,510	4,500	381	2,676	4,881	408
2丁目	2,076	3,894	209	2,218	4,103	110	2,331	4,213	319
3丁目	511	965	9	503	974	△11	504	963	△2
4丁目	2,182	4,247	△59	2,154	4,188	91	2,238	4,279	32
5丁目	1,939	3,506	137	2,059	3,643	12	2,091	3,655	149
千石1丁目	1,699	3,573	215	1,848	3,788	172	1,937	3,960	387
2丁目	1,894	3,897	339	2,038	4,236	409	2,186	4,645	748
3丁目	1,986	4,070	287	2,136	4,357	22	2,171	4,379	309
4丁目	2,817	4,950	361	3,008	5,311	169	3,170	5,480	530
水道1丁目	1,267	2,348	153	1,367	2,501	85	1,419	2,586	238
2丁目	1,735	2,768	598	2,043	3,366	320	2,217	3,686	918
小日向1丁目	987	2,020	236	1,134	2,256	145	1,190	2,401	381
2丁目	1,082	2,440	△70	1,055	2,370	242	1,149	2,612	172
3丁目	637	1,264	△41	627	1,223	93	667	1,316	52
4丁目	857	1,530	230	937	1,760	82	974	1,842	312
大塚1丁目	526	1,116	△17	515	1,099	94	558	1,193	77
2丁目	899	1,688	205	1,025	1,893	302	1,140	2,195	507
3丁目	1,826	3,087	325	2,015	3,412	473	2,236	3,885	798
4丁目	1,588	2,742	256	1,732	2,998	△48	1,686	2,950	208
5丁目	2,127	3,900	193	2,221	4,093	158	2,314	4,251	351
6丁目	2,004	3,526	207	2,106	3,733	21	2,180	3,754	228

表Ⅲ-4 町丁別人口の推移（平成24年～令和4年）（つづき）

（各年1月1日現在）

町丁名	平成24年		人口増減 H24～H29	平成29年		人口増減 H29～R4	令和4年		人口増減 H24～R4
	世帯	人口		世帯	人口		世帯	人口	
総数	104,130	192,961	11,834	110,427	204,795	11,791	116,957	216,586	23,625
関口 1丁目	2,241	3,943	473	2,569	4,416	659	2,936	5,075	1,132
2丁目	439	877	132	490	1,009	195	568	1,204	327
3丁目	439	913	6	438	919	124	524	1,043	130
目白台 1丁目	1,118	1,992	△ 38	1,040	1,954	△ 74	1,014	1,880	△ 112
2丁目	1,071	2,009	63	1,114	2,072	120	1,160	2,192	183
3丁目	1,230	2,391	116	1,297	2,507	138	1,411	2,645	254
音羽 1丁目	1,988	3,411	496	2,302	3,907	148	2,402	4,055	644
2丁目	935	1,679	22	973	1,701	12	972	1,713	34
本郷 1丁目	1,869	3,598	600	2,153	4,198	380	2,270	4,578	980
2丁目	1,686	2,818	282	1,840	3,100	131	1,952	3,231	413
3丁目	1,599	2,596	240	1,805	2,836	317	2,009	3,153	557
4丁目	2,065	3,747	276	2,172	4,023	224	2,328	4,247	500
5丁目	1,716	3,072	116	1,771	3,188	172	1,885	3,360	288
6丁目	904	1,520	311	1,022	1,831	90	1,058	1,921	401
7丁目	380	436	3	378	439	△ 7	346	432	△ 4
湯島 1丁目	429	641	2	431	643	167	545	810	169
2丁目	1,368	2,267	329	1,589	2,596	580	1,942	3,176	909
3丁目	1,708	2,712	△ 17	1,748	2,695	1,003	2,472	3,698	986
4丁目	1,103	1,995	30	1,128	2,025	146	1,209	2,171	176
西片 1丁目	1,131	2,302	80	1,191	2,382	29	1,229	2,411	109
2丁目	1,369	2,755	△ 1	1,385	2,754	62	1,397	2,816	61
向丘 1丁目	1,572	2,979	162	1,641	3,141	218	1,722	3,359	380
2丁目	1,743	3,128	△ 8	1,786	3,120	△ 14	1,792	3,106	△ 22
弥生 1丁目	244	453	△ 51	221	402	7	227	409	△ 44
2丁目	783	1,476	△ 41	746	1,435	3	765	1,438	△ 38
根津 1丁目	1,258	2,301	217	1,415	2,518	128	1,484	2,646	345
2丁目	2,070	3,607	62	2,118	3,669	15	2,142	3,684	77
千駄木 1丁目	678	1,398	41	690	1,439	158	763	1,597	199
2丁目	2,332	4,172	37	2,385	4,209	224	2,537	4,433	261
3丁目	3,305	6,016	185	3,437	6,201	33	3,515	6,234	218
4丁目	1,494	2,782	115	1,543	2,897	41	1,603	2,938	156
5丁目	2,252	4,467	54	2,226	4,521	226	2,281	4,747	280
本駒込 1丁目	2,106	4,125	384	2,314	4,509	84	2,349	4,593	468
2丁目	2,240	4,301	509	2,440	4,810	261	2,498	5,071	770
3丁目	1,732	3,104	58	1,744	3,162	120	1,817	3,282	178
4丁目	2,010	3,948	47	2,060	3,995	△ 65	2,040	3,930	△ 18
5丁目	2,647	4,972	452	2,845	5,424	94	2,915	5,518	546
6丁目	1,535	3,107	453	1,802	3,560	223	1,891	3,783	676

② 年齢3区分別人口の変動

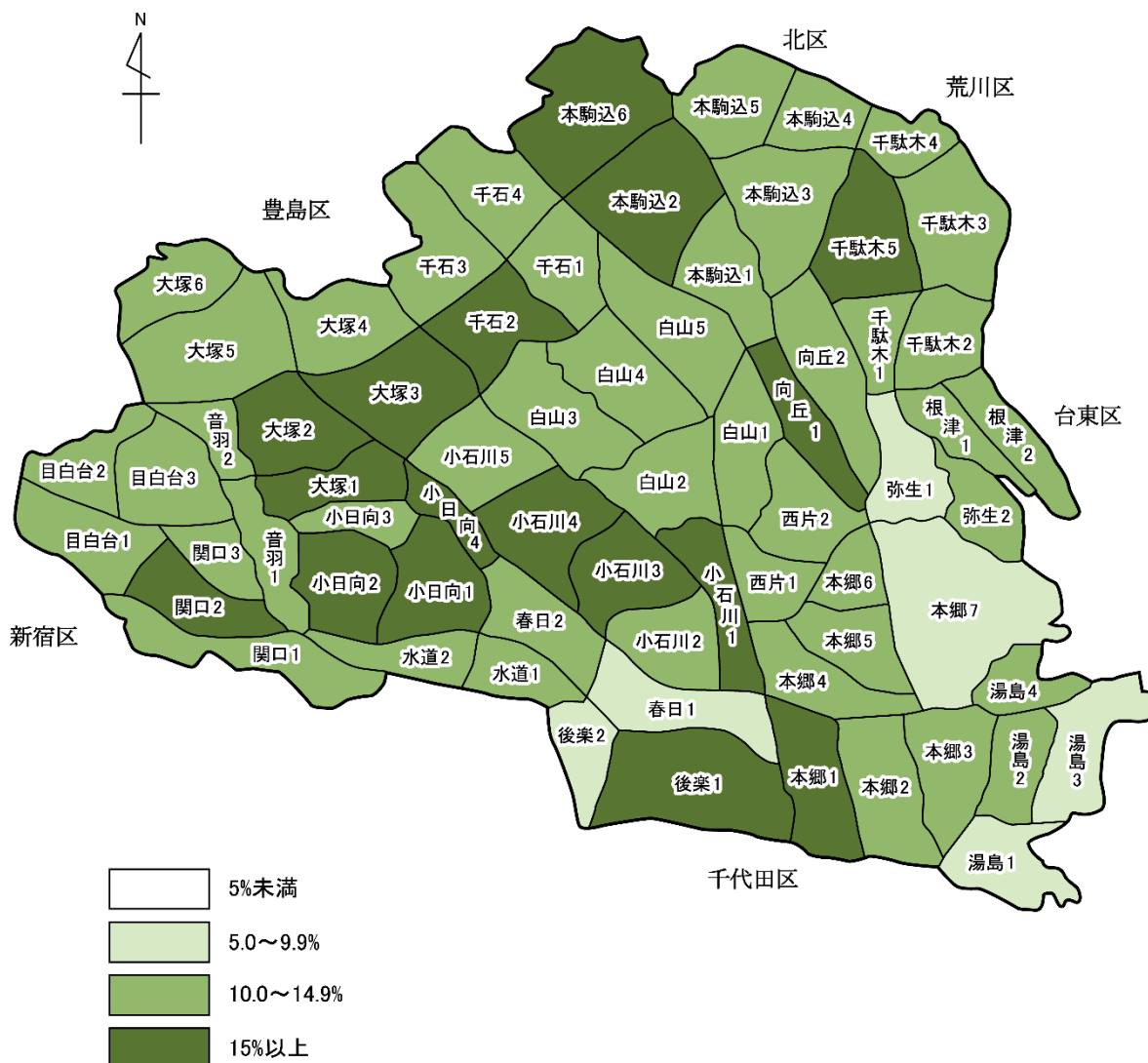
ア. 年少人口

年少人口は、この10年間に64町丁で増加し、区全体では34.3% (7,285人) 増となっており、前回の10年間(平成19年から平成29年)の32.2% (6,115人) 増より、さらに増加している。増加率が100%を超えている地域は、本郷7丁目(138.5%)、本郷6丁目(124.2%)、湯島2丁目(107.6%)、水道2丁目(106.5%)となっている。減少率が10%を超えている地域は後楽1丁目(△15.3%)で、目白台1丁目(△9.0%)、弥生1丁目(△5.0%)が続いている。

(表Ⅲ-5)

また、令和4年1月1日現在の各町丁別人口に占める年少人口の割合をみると、前回と同様に大塚1丁目(17.9%)がもっとも多く、本駒込2丁目(17.5%)、本郷1丁目(17.0%)、小石川1丁目(16.9%)、大塚2丁目(16.6%)の順に続いており、15%を超える地域は前回の7町丁から17町丁と大幅に増加している。(図Ⅲ-1)

図Ⅲ-1 町丁別年少(0~14歳)人口の割合(令和4年1月1日)



表Ⅲ－５ 町丁別年少（０～１４歳）人口の推移

(各年１月１日現在)

町丁名	平成24年	平成29年	令和４年	増減 H24～R4	町丁名	平成24年	平成29年	令和４年	増減 H24～R4
総数	21,253	25,099	28,538	7,285	目白台 1丁目	222	248	202	△ 20
後楽 1丁目	98	91	83	△ 15	2丁目	229	265	294	65
2丁目	106	111	131	25	3丁目	264	321	322	58
計	204	202	214	10	計	715	834	818	103
春日 1丁目	123	145	137	14	音羽 1丁目	353	397	445	92
2丁目	518	553	602	84	2丁目	173	178	172	△ 1
計	641	698	739	98	計	526	575	617	91
小石川 1丁目	416	480	794	378	本郷 1丁目	435	607	780	345
2丁目	354	483	547	193	2丁目	218	308	351	133
3丁目	613	844	856	243	3丁目	199	237	317	118
4丁目	409	539	610	201	4丁目	357	470	528	171
5丁目	611	814	838	227	5丁目	332	361	394	62
計	2,403	3,160	3,645	1,242	6丁目	128	245	287	159
白山 1丁目	466	487	646	180	7丁目	13	19	31	18
2丁目	440	467	477	37	計	1,682	2,247	2,688	1,006
3丁目	109	141	134	25	湯島 1丁目	38	52	74	36
4丁目	490	493	505	15	2丁目	185	245	384	199
5丁目	369	425	412	43	3丁目	212	207	317	105
計	1,874	2,013	2,174	300	4丁目	206	221	237	31
千石 1丁目	527	555	552	25	計	641	725	1,012	371
2丁目	520	611	768	248	西片 1丁目	306	308	318	12
3丁目	514	613	575	61	2丁目	313	348	398	85
4丁目	450	520	571	121	計	619	656	716	97
計	2,011	2,299	2,466	455	向丘 1丁目	384	462	533	149
水道 1丁目	291	349	355	64	2丁目	278	274	316	38
2丁目	232	361	479	247	計	662	736	849	187
計	523	710	834	311	弥生 1丁目	40	35	38	△ 2
小日向 1丁目	204	284	372	168	2丁目	147	143	164	17
2丁目	372	337	402	30	計	187	178	202	15
3丁目	140	129	168	28	根津 1丁目	258	284	326	68
4丁目	205	291	296	91	2丁目	325	370	407	82
計	921	1,041	1,238	317	計	583	654	733	150
大塚 1丁目	189	205	213	24	千駄木 1丁目	164	175	210	46
2丁目	205	242	364	159	2丁目	408	442	505	97
3丁目	345	398	599	254	3丁目	677	712	724	47
4丁目	242	283	305	63	4丁目	323	376	379	56
5丁目	415	491	517	102	5丁目	545	635	746	201
6丁目	278	384	415	137	計	2,117	2,340	2,564	447
計	1,674	2,003	2,413	739	本駒込 1丁目	513	588	619	106
関口 1丁目	325	433	606	281	2丁目	546	744	886	340
2丁目	116	136	190	74	3丁目	264	289	335	71
3丁目	150	148	154	4	4丁目	444	508	508	64
計	591	717	950	359	5丁目	541	686	742	201
					6丁目	371	496	576	205
					計	2,679	3,311	3,666	987

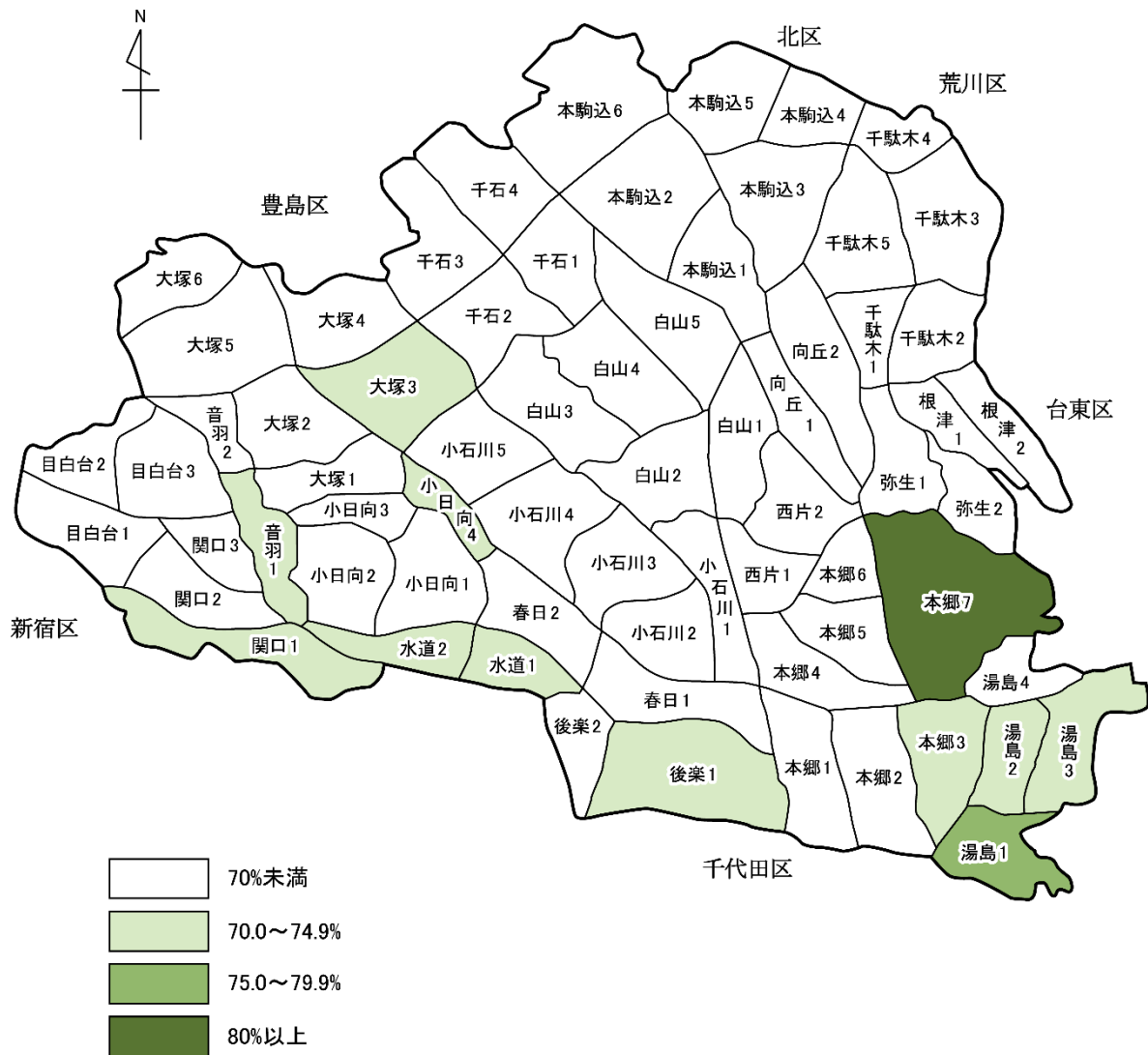
イ. 生産年齢人口

生産年齢人口は、この10年間に52町丁で増加し、区全体では8.3%（11,108人）増となっている。前回の10年間（平成19年から平成29年）の6.8%（10,528人）増より、さらに増加している。増加率が40%を超えている地域は、湯島3丁目（42.8%）と湯島2丁目（40.1%）で、次いで小石川1丁目（29.3%）、大塚2丁目（29.1%）、水道2丁目（28.0%）の順に続いている。減少率が10%を超えている地域は、後楽1丁目（△18.8%）、春日1丁目（△15.9%）、目白台1丁目と弥生1丁目（ともに△10.5%）、弥生2丁目（△10.2%）となっている。

（表Ⅲ-6）

令和4年1月1日現在の各町丁別人口に占める生産年齢人口の割合をみると、前回と同様に本郷7丁目（89.8%）がもっとも多く、次いで湯島1丁目（76.3%）が続いており、70.0~74.9%が前回の15町丁から今回は10町丁に減少している。（図Ⅲ-2）

図Ⅲ-2 町丁別生産年齢（15~64歳）人口の割合（令和4年1月1日）



表Ⅲ－６ 町丁別生産年齢（15～64歳）人口の推移

(各年1月1日現在)

町丁名	平成24年	平成29年	令和4年	増減 H24～R4	町丁名	平成24年	平成29年	令和4年	増減 H24～R4
総数	133,766	137,604	144,874	11,108	目白台 1丁目	1,409	1,300	1,261	△ 148
後楽 1丁目	468	363	380	△ 88	2丁目	1,367	1,329	1,419	52
2丁目	1,020	986	941	△ 79	3丁目	1,607	1,606	1,738	131
計	1,488	1,349	1,321	△ 167	計	4,383	4,235	4,418	35
春日 1丁目	1,091	983	918	△ 173	音羽 1丁目	2,493	2,824	2,871	378
2丁目	2,690	2,789	2,784	94	2丁目	1,222	1,215	1,192	△ 30
計	3,781	3,772	3,702	△ 79	計	3,715	4,039	4,063	348
小石川 1丁目	2,445	2,355	3,162	717	本郷 1丁目	2,493	2,803	3,007	514
2丁目	2,361	2,511	2,613	252	2丁目	2,013	2,159	2,259	246
3丁目	3,214	3,433	3,632	418	3丁目	1,857	2,004	2,232	375
4丁目	2,293	2,322	2,449	156	4丁目	2,512	2,602	2,777	265
5丁目	3,496	3,734	3,792	296	5丁目	2,114	2,162	2,338	224
計	13,809	14,355	15,648	1,839	6丁目	1,108	1,267	1,306	198
白山 1丁目	3,106	3,031	3,272	166	7丁目	412	405	388	△ 24
2丁目	2,655	2,735	2,824	169	計	12,509	13,402	14,307	1,798
3丁目	633	628	624	△ 9	湯島 1丁目	502	481	618	116
4丁目	2,893	2,719	2,783	△ 110	2丁目	1,639	1,852	2,296	657
5丁目	2,484	2,512	2,531	47	3丁目	1,933	1,914	2,761	828
計	11,771	11,625	12,034	263	4丁目	1,299	1,276	1,409	110
千石 1丁目	2,355	2,473	2,630	275	計	5,373	5,523	7,084	1,711
2丁目	2,593	2,790	2,979	386	西片 1丁目	1,563	1,569	1,575	12
3丁目	2,688	2,817	2,869	181	2丁目	1,890	1,816	1,791	△ 99
4丁目	3,458	3,651	3,779	321	計	3,453	3,385	3,366	△ 87
計	11,094	11,731	12,257	1,163	向丘 1丁目	2,029	2,086	2,194	165
水道 1丁目	1,722	1,758	1,820	98	2丁目	2,058	2,037	2,031	△ 27
2丁目	2,110	2,499	2,701	591	計	4,087	4,123	4,225	138
計	3,832	4,257	4,521	689	弥生 1丁目	285	245	255	△ 30
小日向 1丁目	1,349	1,445	1,477	128	2丁目	1,049	966	942	△ 107
2丁目	1,569	1,506	1,653	84	計	1,334	1,211	1,197	△ 137
3丁目	827	773	821	△ 6	根津 1丁目	1,536	1,670	1,743	207
4丁目	1,143	1,244	1,297	154	2丁目	2,494	2,430	2,450	△ 44
計	4,888	4,968	5,248	360	計	4,030	4,100	4,193	163
大塚 1丁目	783	739	815	32	千駄木 1丁目	922	915	1,029	107
2丁目	1,126	1,287	1,454	328	2丁目	2,902	2,812	2,957	55
3丁目	2,280	2,532	2,757	477	3丁目	4,265	4,270	4,241	△ 24
4丁目	1,743	1,954	1,951	208	4丁目	1,973	1,921	1,945	△ 28
5丁目	2,712	2,723	2,856	144	5丁目	2,844	2,802	2,886	42
6丁目	2,549	2,534	2,479	△ 70	計	12,906	12,720	13,058	152
計	11,193	11,769	12,312	1,119	本駒込 1丁目	2,913	3,072	3,085	172
関口 1丁目	2,894	3,114	3,578	684	2丁目	2,877	3,053	3,127	250
2丁目	620	702	791	171	3丁目	2,128	2,113	2,151	23
3丁目	614	597	708	94	4丁目	2,627	2,531	2,458	△ 169
計	4,128	4,413	5,077	949	5丁目	3,401	3,576	3,622	221
					6丁目	2,046	2,282	2,400	354
					計	15,992	16,627	16,843	851

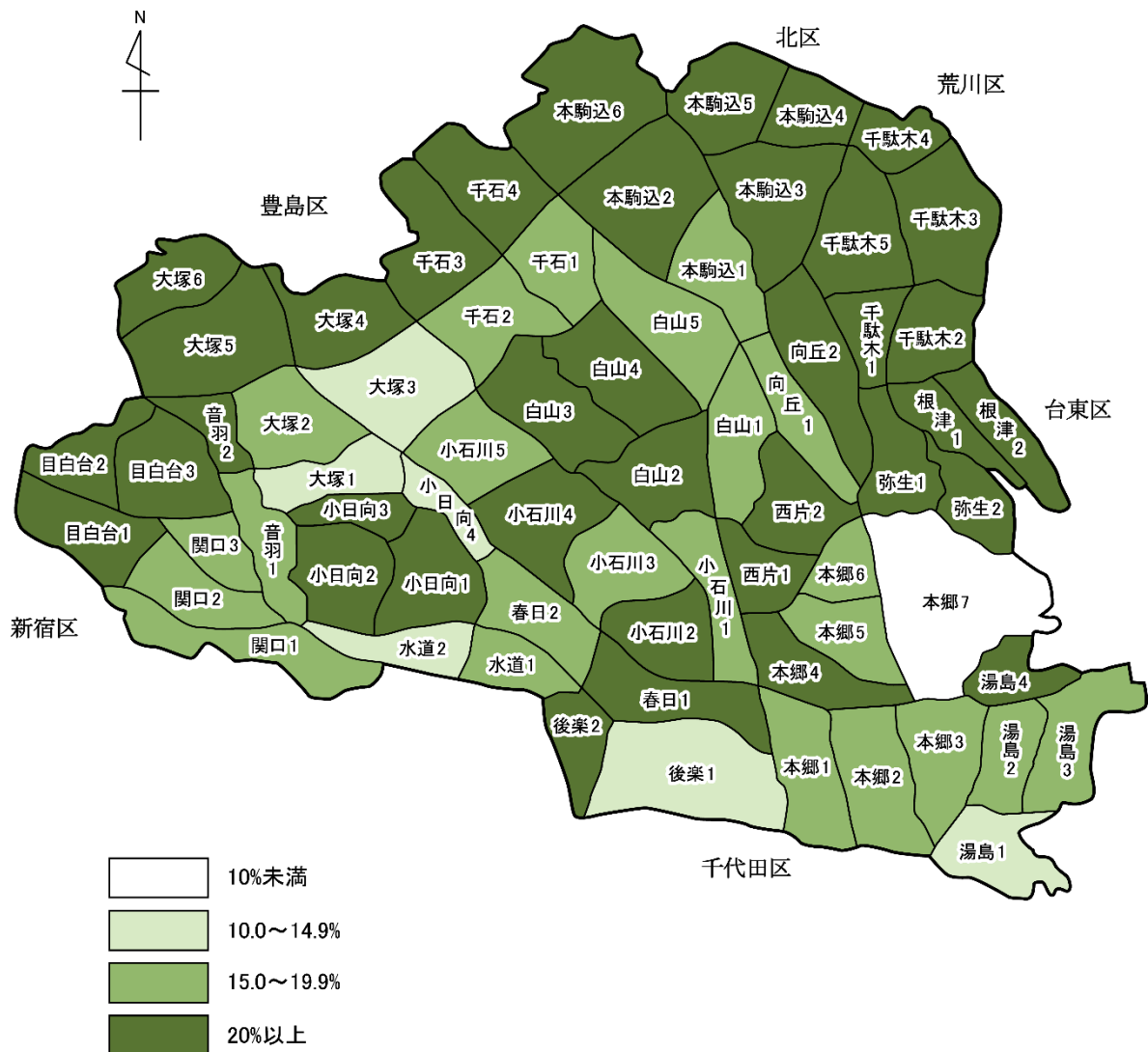
ウ. 老年人口

老年人口は、この10年間に64町丁で増加し、区全体では13.8% (5,232人) 増となっている。前回の10年間(平成19年から平成29年)の18.0% (6,408人) 増に比べると、増加率は4.2ポイント低くなっている。増加率が50%を超えて最も多い地域は、関口2丁目(58.2%)で、次いで湯島2丁目(40.1%)で、次いで後楽1丁目(45.2%)、小石川1丁目(37.0%)、小日向4丁目(36.8%)、春日2丁目(33.5%)、音羽1丁目(30.8%)の順に30%を超えて続いている。反対に減少率が高い地域は、弥生1丁目(△9.4%)、大塚4丁目(△8.3%)、白山3丁目(△8.3%)、向丘2丁目(△4.2%)となっている。(表Ⅲ-7)

令和4年1月1日現在の各町丁別人口に占める老年人口の割合をみると、前回と同様に弥生1丁目(28.4%)がもっとも多く、次いで小日向3丁目(24.8%)、本駒込4丁目(24.5%)、向丘2丁目(24.4%)、本駒込3丁目(24.3%)が続いており、20%を超える地域は前回の42町丁から38町丁に減少している。10%未満の地域は本郷7丁目(3.0%)のみとなっている。

(図Ⅲ-3)

図Ⅲ-3 町丁別老年(65歳以上)人口の割合(令和4年1月1日)



表Ⅲ－７ 町丁別老年（65歳以上）人口の推移

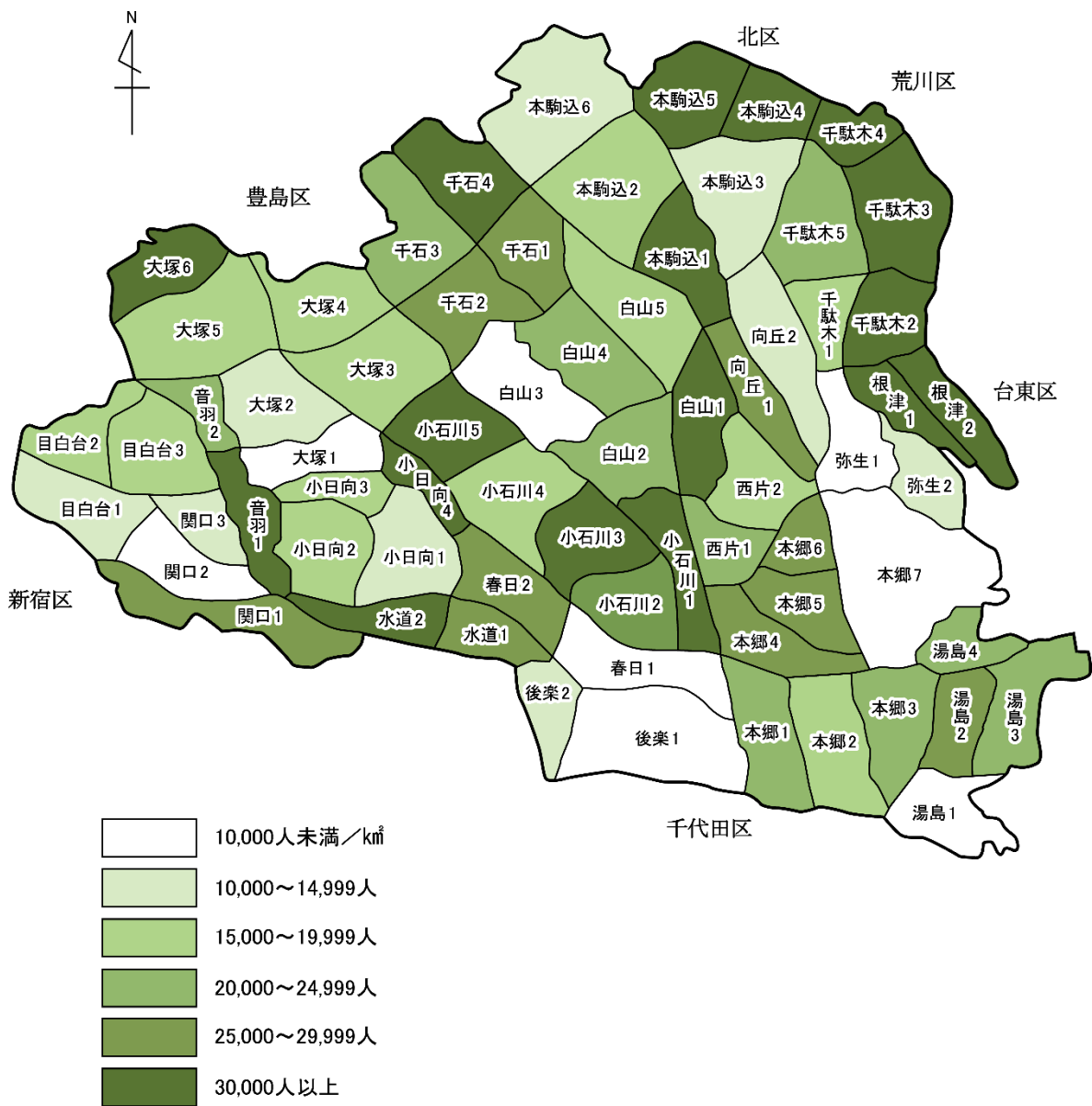
(各年1月1日現在)

町丁名	平成24年	平成29年	令和4年	増減 H24～R4	町丁名	平成24年	平成29年	令和4年	増減 H24～R4
総数	37,942	42,092	43,174	5,232	目白台 1丁目	361	406	417	56
後楽 1丁目	42	50	61	19	2丁目	413	478	479	66
2丁目	275	311	303	28	3丁目	520	580	585	65
計	317	361	364	47	計	1,294	1,464	1,481	187
春日 1丁目	295	335	334	39	音羽 1丁目	565	686	739	174
2丁目	519	611	693	174	2丁目	284	308	349	65
計	814	946	1,027	213	計	849	994	1,088	239
小石川 1丁目	535	520	733	198	本郷 1丁目	670	788	791	121
2丁目	666	785	805	139	2丁目	587	633	621	34
3丁目	817	921	900	83	3丁目	540	595	604	64
4丁目	615	741	767	152	4丁目	878	951	942	64
5丁目	857	974	1,016	159	5丁目	626	665	628	2
計	3,490	3,941	4,221	731	6丁目	284	319	328	44
白山 1丁目	901	982	963	62	7丁目	11	15	13	2
2丁目	799	901	912	113	計	3,596	3,966	3,927	331
3丁目	223	205	205	△ 18	湯島 1丁目	101	110	118	17
4丁目	864	976	991	127	2丁目	443	499	496	53
5丁目	653	706	712	59	3丁目	567	574	620	53
計	3,440	3,770	3,783	343	4丁目	490	528	525	35
千石 1丁目	691	760	778	87	計	1,601	1,711	1,759	158
2丁目	784	835	898	114	西片 1丁目	433	505	518	85
3丁目	868	927	935	67	2丁目	552	590	627	75
4丁目	1,042	1,140	1,130	88	計	985	1,095	1,145	160
計	3,385	3,662	3,741	356	向丘 1丁目	566	593	632	66
水道 1丁目	335	394	411	76	2丁目	792	809	759	△ 33
2丁目	426	506	506	80	計	1,358	1,402	1,391	33
計	761	900	917	156	弥生 1丁目	128	122	116	△ 12
小日向 1丁目	467	527	552	85	2丁目	280	326	332	52
2丁目	499	527	557	58	計	408	448	448	40
3丁目	297	321	327	30	根津 1丁目	507	564	577	70
4丁目	182	225	249	67	2丁目	788	869	827	39
計	1,445	1,600	1,685	240	計	1,295	1,433	1,404	109
大塚 1丁目	144	155	165	21	千駄木 1丁目	312	349	358	46
2丁目	357	364	377	20	2丁目	862	955	971	109
3丁目	462	482	529	67	3丁目	1,074	1,219	1,269	195
4丁目	757	761	694	△ 63	4丁目	486	600	614	128
5丁目	773	879	878	105	5丁目	1,078	1,084	1,115	37
6丁目	699	815	860	161	計	3,812	4,207	4,327	515
計	3,192	3,456	3,503	311	本駒込 1丁目	699	849	889	190
関口 1丁目	724	869	891	167	2丁目	878	1,013	1,058	180
2丁目	141	171	223	82	3丁目	712	760	796	84
3丁目	149	174	181	32	4丁目	877	956	964	87
計	1,014	1,214	1,295	281	5丁目	1,030	1,162	1,154	124
					6丁目	690	782	807	117
					計	4,886	5,522	5,668	782

③ 人口密度

令和4年1月1日現在の人口密度（外国人を含む）は、20,047人/㎢で、前回調査時（平成29年）の18,952人/㎢と比べると5.8%増となっている。町丁ごとにみると、前回調査と同様に、千駄木4丁目（49,444人/㎢）がもっとも高く、次いで小石川1丁目（42,272人/㎢）、水道2丁目（37,757人/㎢）、音羽1丁目（37,167人/㎢）、本駒込5丁目（34,191人/㎢）の順となっており、人口密度が30,000人を超える地域は前回調査（平成29年）の14町丁から17町丁に増えている。反対に人口密度が低い地域は、本郷7丁目（1,019人/㎢）、後楽1丁目（1,849人/㎢）、弥生1丁目（2,671人/㎢）の順となっている。（図Ⅲ-4）

図Ⅲ-4 人口密度（令和4年1月1日）

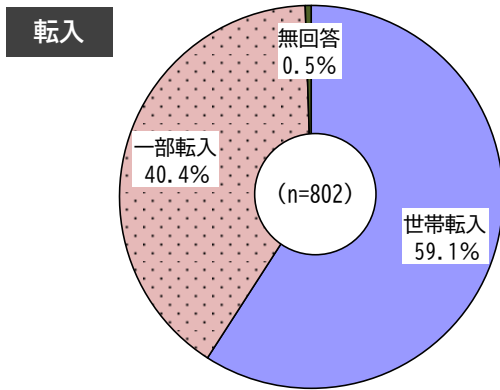


2. 調査結果の分析

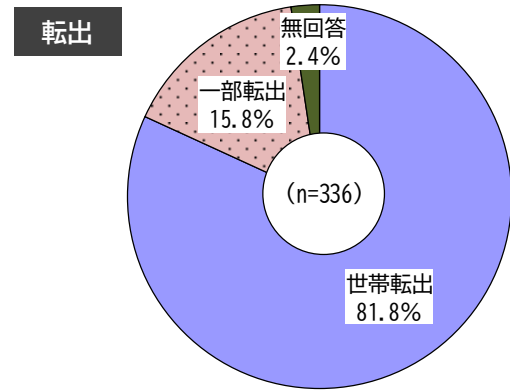
1) 調査回答者属性

(1) 世帯構成

図Ⅲ-5 世帯構成【転入】

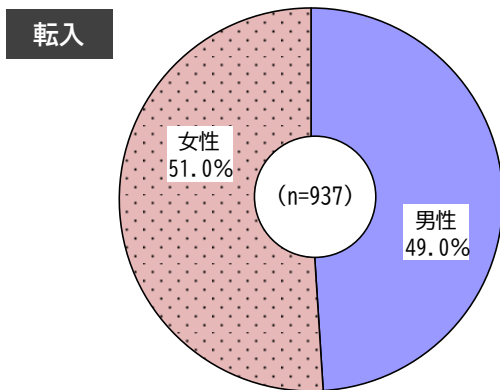


図Ⅲ-6 世帯構成【転出】

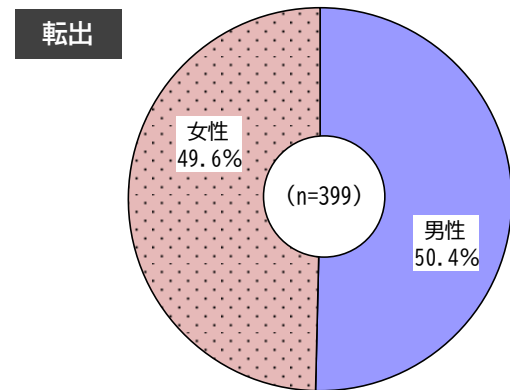


(2) 男女別人員 (移動実人員)

図Ⅲ-7 男女別人員【転入】

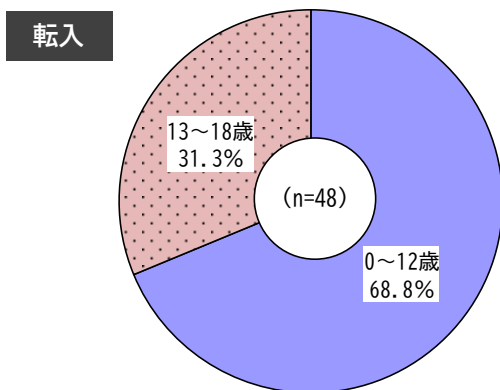


図Ⅲ-8 男女別人員【転出】

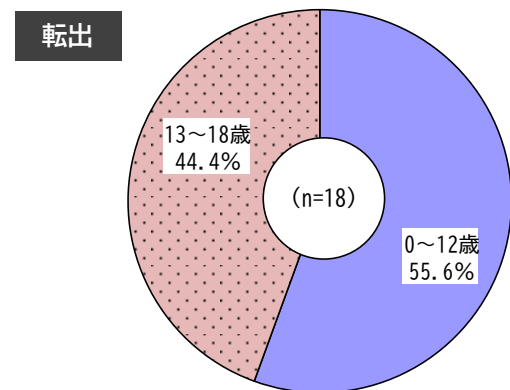


(3) 18歳以下人員 (移動実人員)

図Ⅲ-9 18歳以下人員【転入】

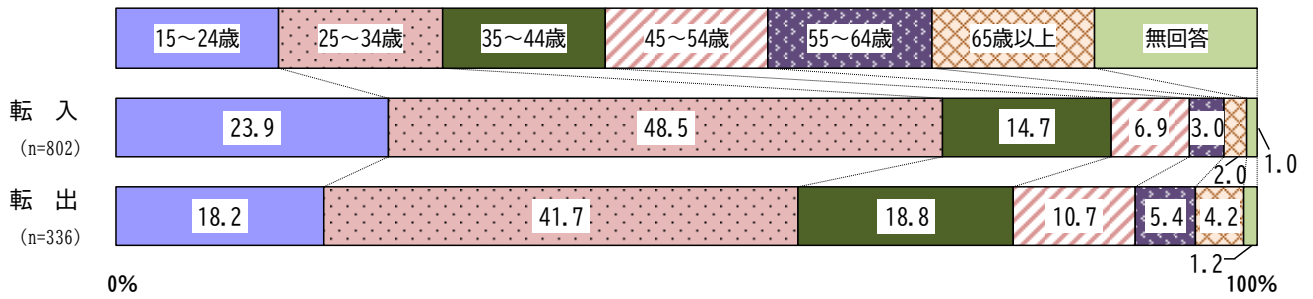


図Ⅲ-10 18歳以下人員【転出】



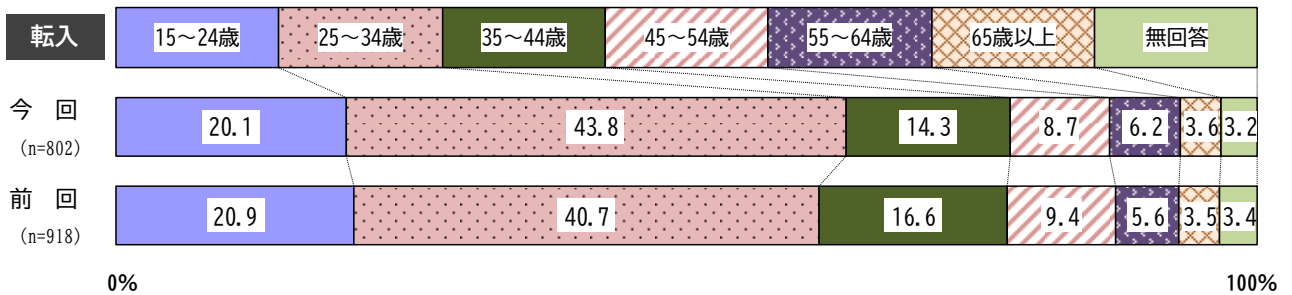
(4) 回答者の年齢構成

図Ⅲ－11 回答者の年齢構成

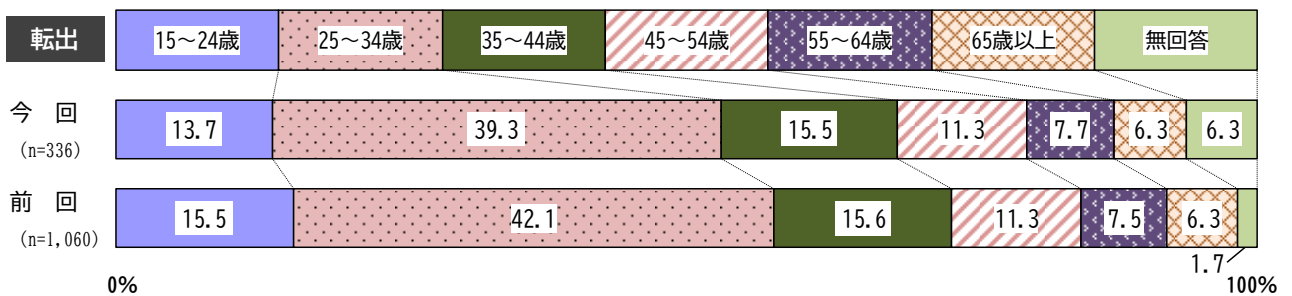


(5) 世帯主又は代表者の年齢構成

図Ⅲ－12 世帯主又は代表者の年齢構成【 転入 】



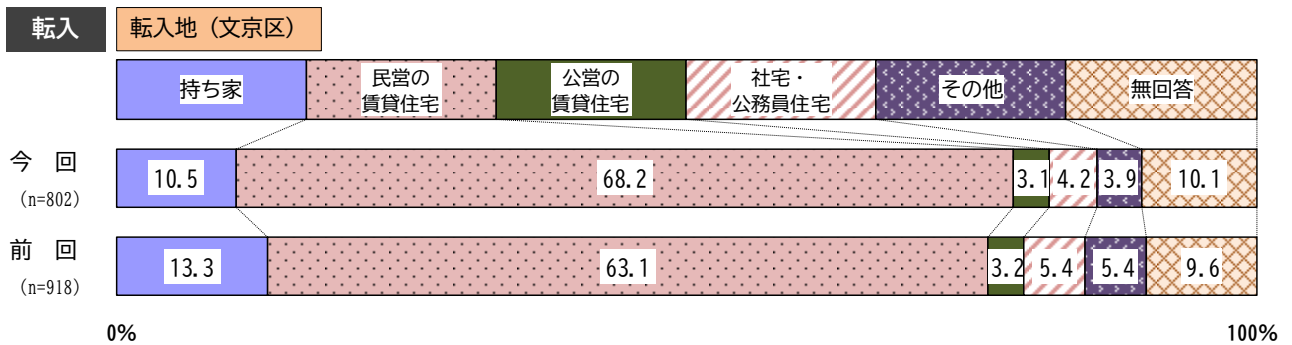
図Ⅲ－13 世帯主又は代表者の年齢構成【 転出 】



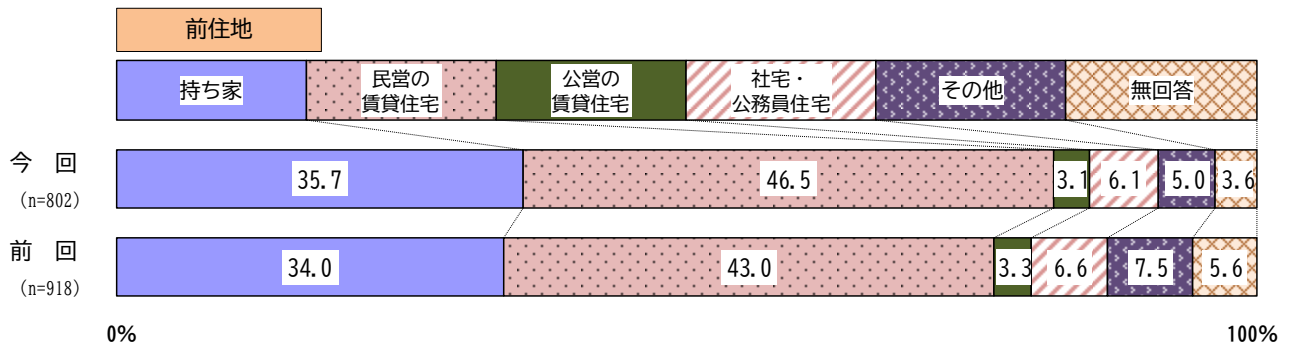
(6) 住宅の種類

① 転入

図Ⅲ-14 住宅の種類【転入地（文京区）】

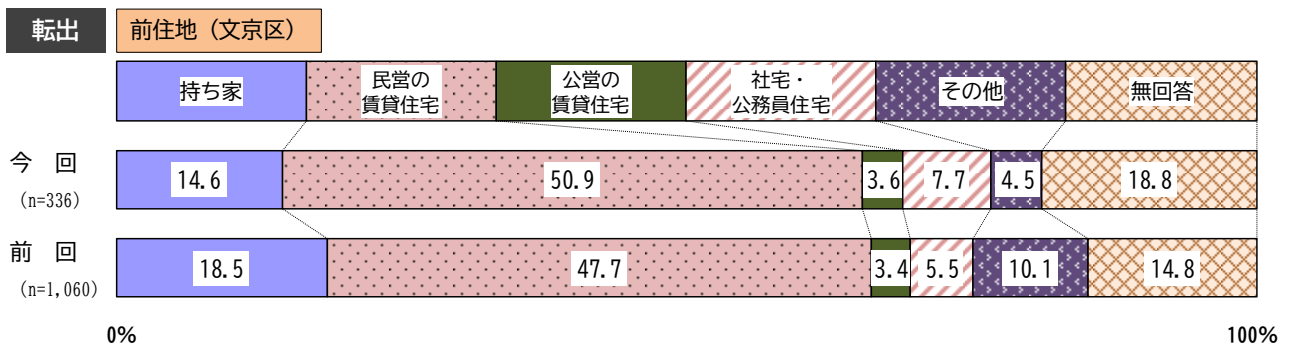


図Ⅲ-15 住宅の種類【前住地】

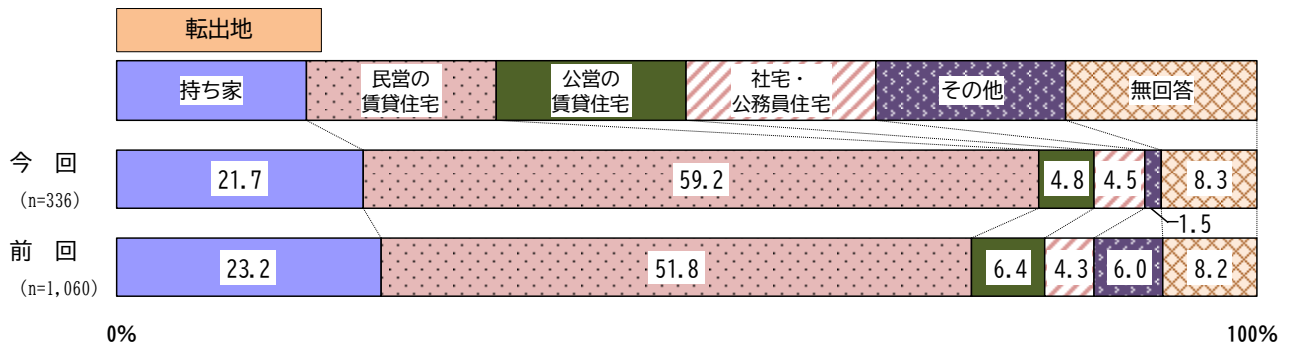


② 転出

図Ⅲ-16 住宅の種類【前住地（文京区）】

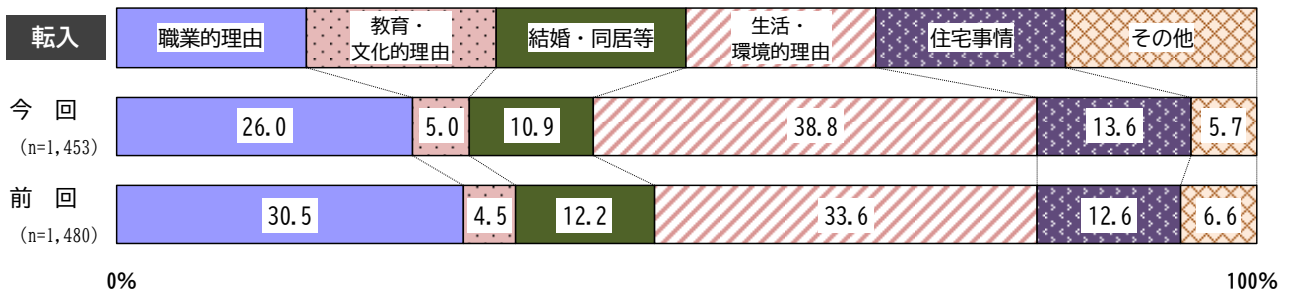


図Ⅲ-17 住宅の種類【転出地】

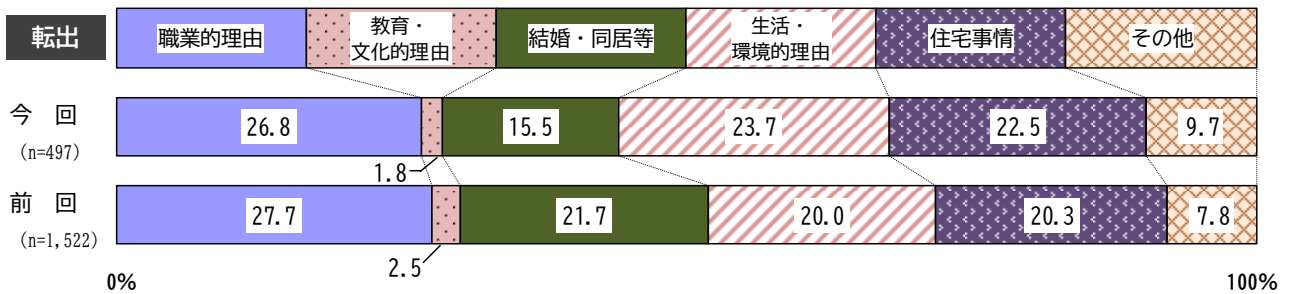


(7) 移動理由

図Ⅲ-18 移動理由【転入】

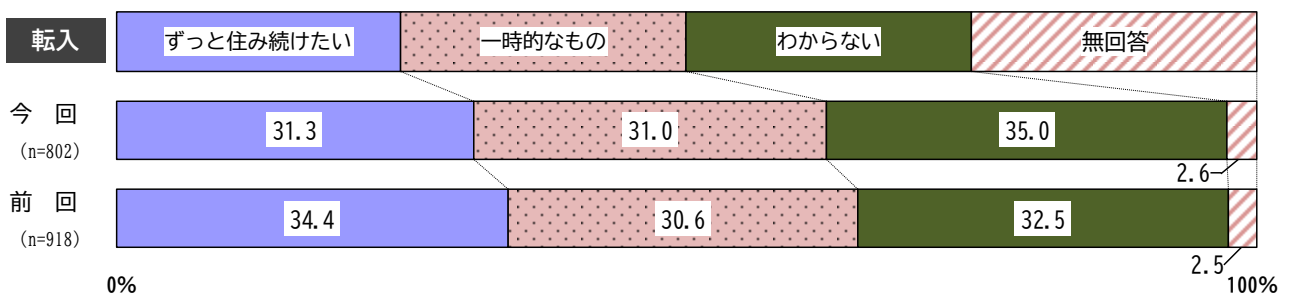


図Ⅲ-19 移動理由【転出】

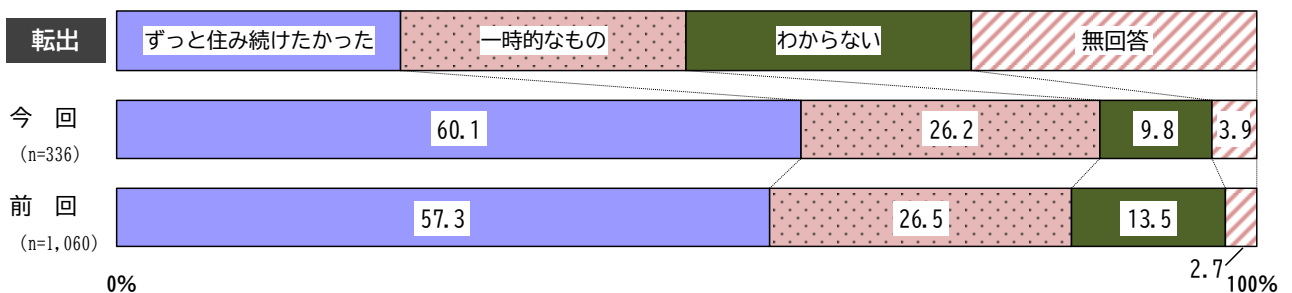


(8) 定住志向

図Ⅲ-20 定住志向【転入】



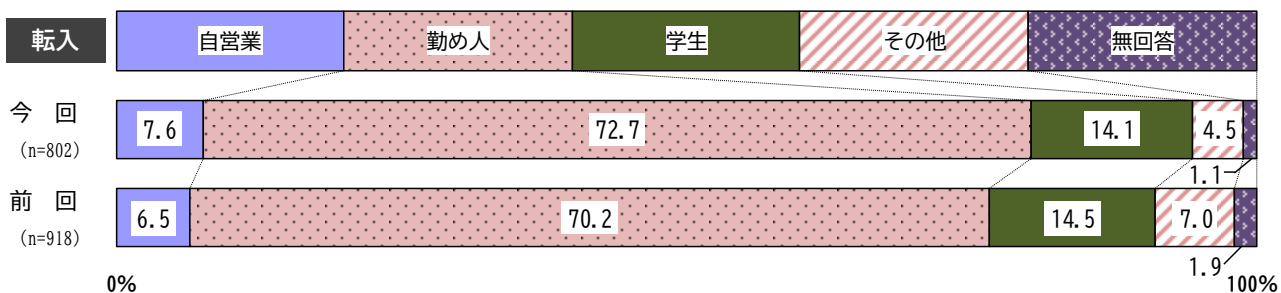
図Ⅲ-21 定住志向【転出】



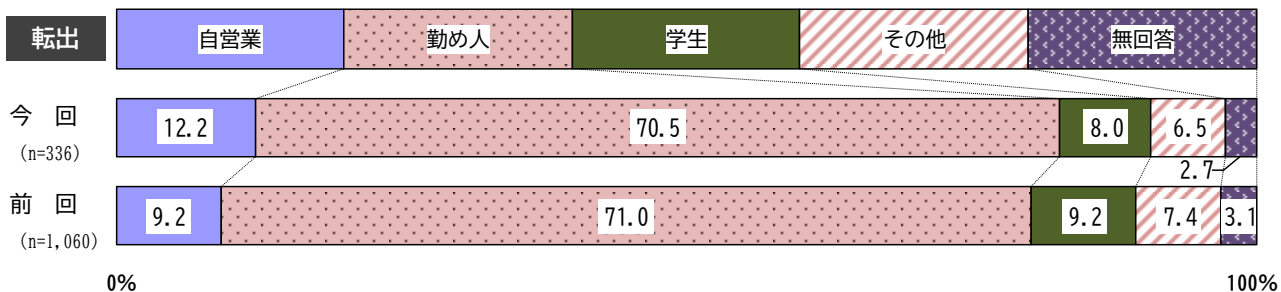
(9) 世帯主又は代表者の就労状況

① 職業

図Ⅲ-22 職業【転入】

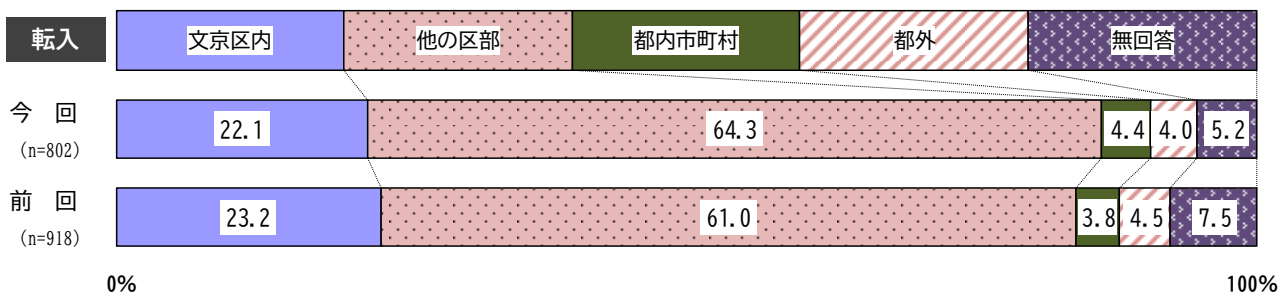


図Ⅲ-23 職業【転出】

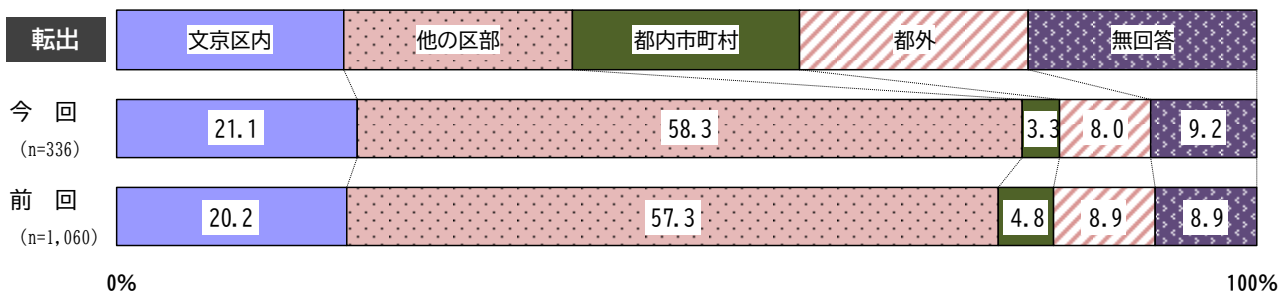


② 就業地・通学先

図Ⅲ-24 就業地・通学先【転入】

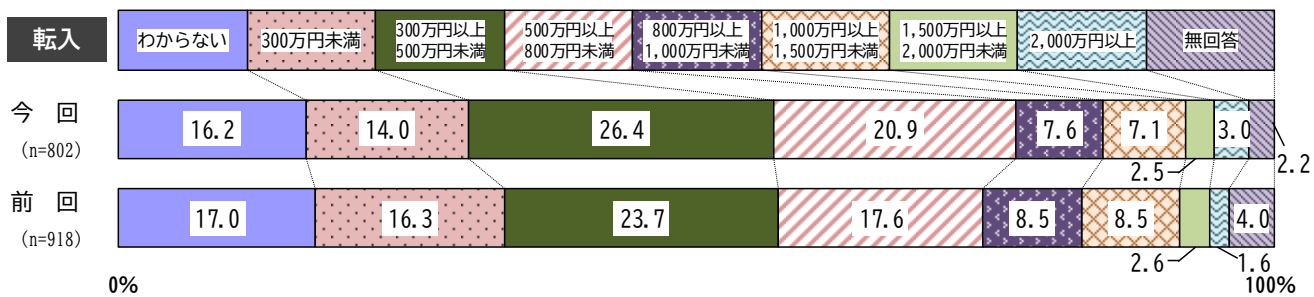


図Ⅲ-25 就業地・通学先【転出】

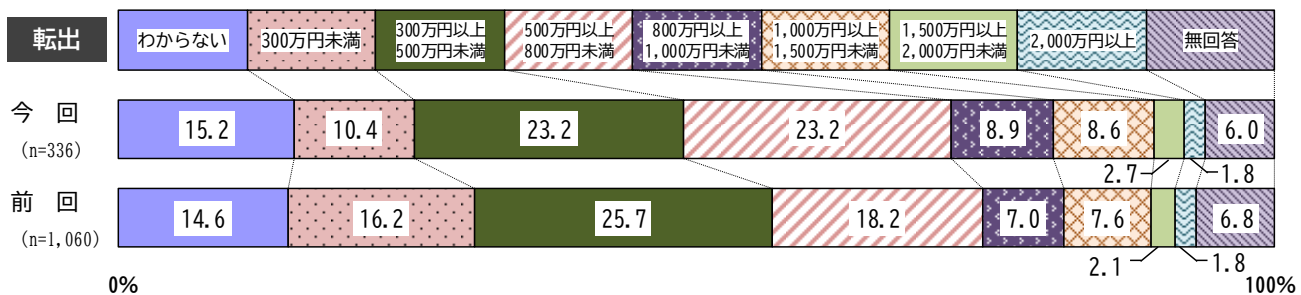


(10) 世帯収入

図Ⅲ-26 世帯収入【転入】



図Ⅲ-27 世帯収入【転出】



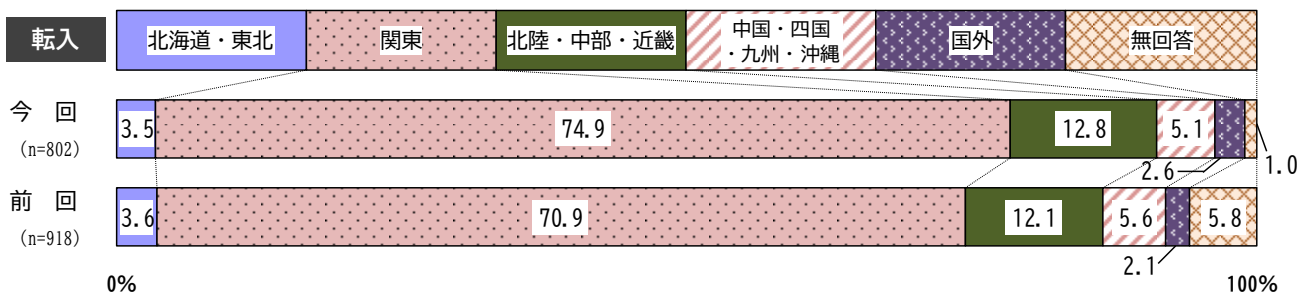
2) 人口移動の内訳

(1) 地方別移動

① 転入

地方別移動状況をみると、転入については、関東（74.9%）がもっとも多く、次いで北陸・中部・近畿（12.8%）、中国・四国・九州・沖縄（5.1%）、北海道・東北（3.5%）、国外（2.6%）の順となっている。前回と比較すると、関東が4.0ポイント増加している。（図Ⅲ-28）

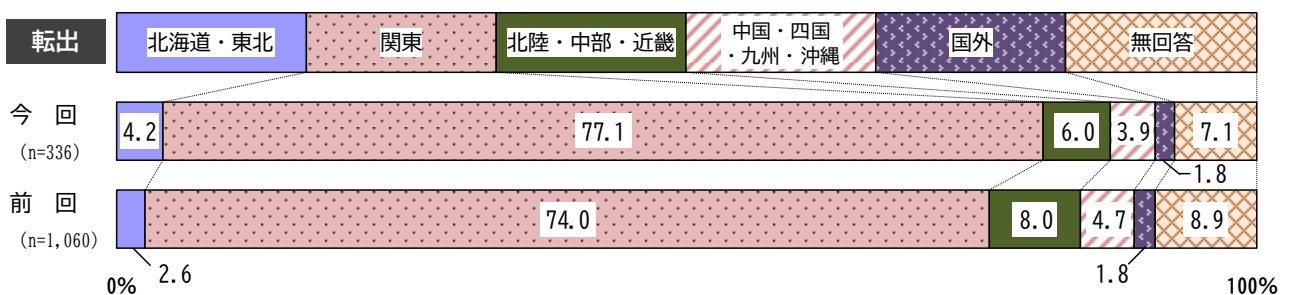
図Ⅲ-28 地方別移動状況【転入】



② 転出

転出については、関東（77.1%）がもっとも多く、次いで北陸・中部・近畿（6.0%）、北海道・東北（4.2%）、中国・四国・九州・沖縄（3.9%）、国外（1.8%）の順となっている。前回と比較すると、関東が3.1ポイント、北海道・東北が1.6ポイント増加しており、反対に北陸・中部・近畿が2.0ポイント減少している。（図Ⅲ-29）

図Ⅲ-29 地方別移動状況【転出】

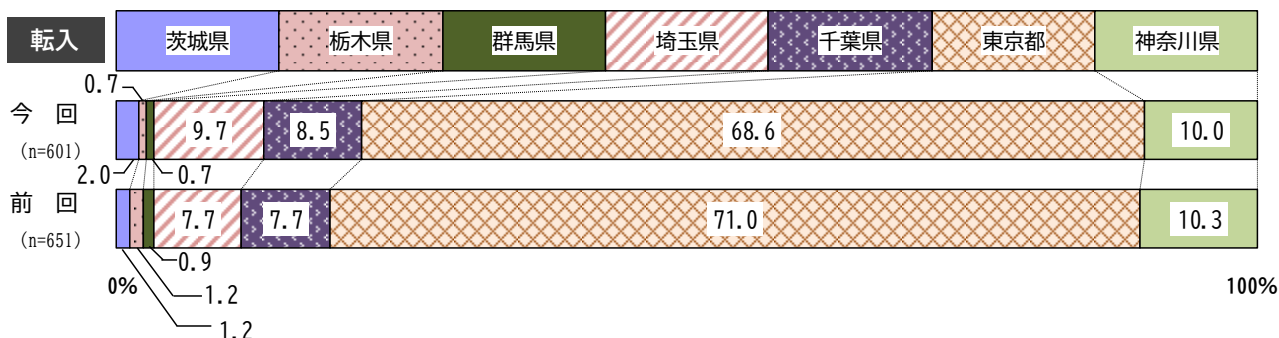


(2) 関東圏移動

① 転入

文京区の転入・転出の大半を占める関東圏の移動のうち、転入をみると、東京都（68.6%）からの転入がもっとも多く、次いで神奈川県（10.0%）、埼玉県（9.7%）、千葉県（8.5%）の順となっている。前回と比較すると、埼玉県が2.0ポイント増加し、反対に東京都が2.4ポイント減少している。（図Ⅲ-30）

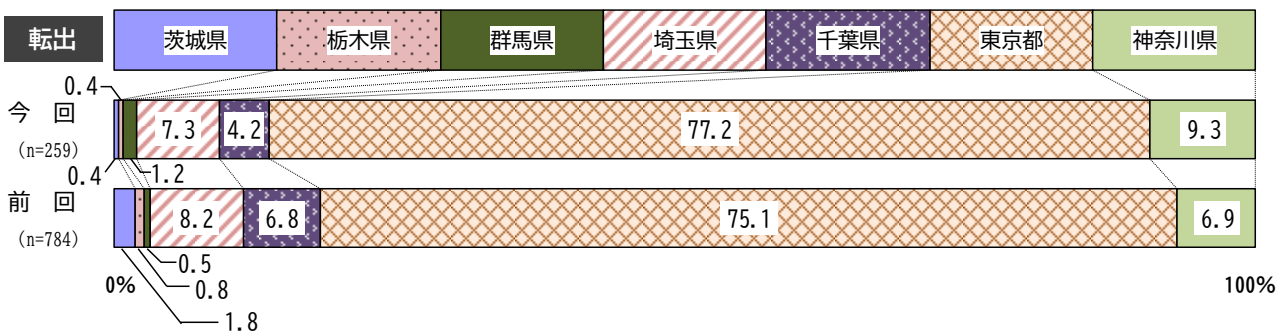
図Ⅲ-30 関東圏移動状況【転入】



② 転出

転出においても、東京（77.2%）への転出がもっとも多く、次いで神奈川県（9.3%）、埼玉県（7.3%）、千葉県（4.2%）の順となっている。前回と比較すると、神奈川県が2.4ポイント、東京都が2.1ポイント増加し、千葉県が2.6ポイント、茨城県が1.4ポイント減少している。（図Ⅲ-31）

図Ⅲ-31 関東圏移動状況【転出】



(3) 都内間移動

都内間移動では、転入は区部間移動（90.5%）が90%を超え、前回よりも3.1ポイント増加しており、転出も区部間移動（92.0%）も90%を超え、前回と同じ割合になっている。

区別にみると、転入では新宿区（10.2%）からがもっとも多く、次いで豊島区（8.8%）、北区（7.1%）、世田谷区と板橋区（ともに5.1%）の順となっている。転出は北区（10.5%）への転出がもっとも多く、次いで豊島区（8.5%）、新宿区（7.5%）、板橋区（6.5%）、江東区（5.5%）の順となっている。転入は、前回第9位の北区が第3位、前回19位の足立区が第6位と順位が大きく上がっている。転出は前回第2位の北区が今回第1位となっており、順位は異なるが上位5位の区は前回と同様になっている。

また、隣接6区（千代田区・新宿区・台東区・豊島区・北区・荒川区）との移動についてみると、転入では前回より1.8ポイント増加し35.3%、転出では3.1ポイント減少して36.5%となっている。

区部以外（市・群・島部）との移動は、転入では前回より3.1ポイント減少して9.5%、転出では前回と同様の8.0%となっている。（表Ⅲ－8）

表Ⅲ－8 都内地区別転入・転出件数

区 分	転 入						転 出					
	前回			今回			前回			今回		
	件 数 (件)	構成比 (%)	順位	件 数 (件)	構成比 (%)	順位	件 数 (件)	構成比 (%)	順位	件 数 (件)	構成比 (%)	順位
千代田区	20	4.3%	8	10	2.4%	16	14	2.4%	18	10	5.0%	7
中央区	10	2.2%	19	14	3.4%	14	21	3.6%	11	5	2.5%	17
港区	23	5.0%	7	16	3.9%	10	11	1.9%	20	6	3.0%	16
新宿区	37	8.0%	2	42	10.2%	1	37	6.3%	4	15	7.5%	3
台東区	25	5.4%	6	18	4.4%	7	28	4.8%	6	4	2.0%	20
墨田区	11	2.4%	16	10	2.4%	16	13	2.2%	19	8	4.0%	8
江東区	13	2.8%	14	15	3.6%	12	29	4.9%	5	11	5.5%	5
品川区	11	2.4%	16	10	2.4%	16	18	3.1%	13	6	3.0%	15
目黒区	14	3.0%	11	12	2.9%	15	14	2.4%	17	4	2.0%	22
大田区	11	2.4%	16	16	3.9%	10	18	3.1%	12	4	2.0%	21
世田谷区	30	6.5%	3	21	5.1%	4	27	4.6%	7	7	3.5%	9
渋谷区	9	1.9%	21	9	2.2%	20	8	1.4%	22	5	2.5%	19
中野区	19	4.1%	9	15	3.6%	12	16	2.7%	15	7	3.5%	12
杉並区	14	3.0%	11	17	4.1%	8	27	4.6%	8	7	3.5%	10
豊島区	41	8.9%	1	36	8.8%	2	82	13.9%	1	17	8.5%	2
北区	19	4.1%	9	29	7.1%	3	46	7.8%	2	21	10.5%	1
荒川区	13	2.8%	14	10	2.4%	16	26	4.4%	9	6	3.0%	13
板橋区	28	6.1%	4	21	5.1%	4	40	6.8%	3	13	6.5%	4
練馬区	26	5.6%	5	17	4.1%	8	25	4.2%	10	6	3.0%	14
足立区	10	2.2%	19	20	4.9%	6	14	2.4%	16	10	5.0%	6
葛飾区	6	1.3%	22	9	2.2%	20	11	1.9%	21	5	2.5%	18
江戸川区	14	3.0%	11	5	1.2%	22	17	2.9%	14	7	3.5%	11
22区計	404	87.4%		372	90.5%		542	92.0%		184	92.0%	
区部以外 (市・郡・島部)	58	12.6%		39	9.5%		47	8.0%		16	8.0%	
合計	462	100.0%		411	100.0%		589	100.0%		200	100.0%	

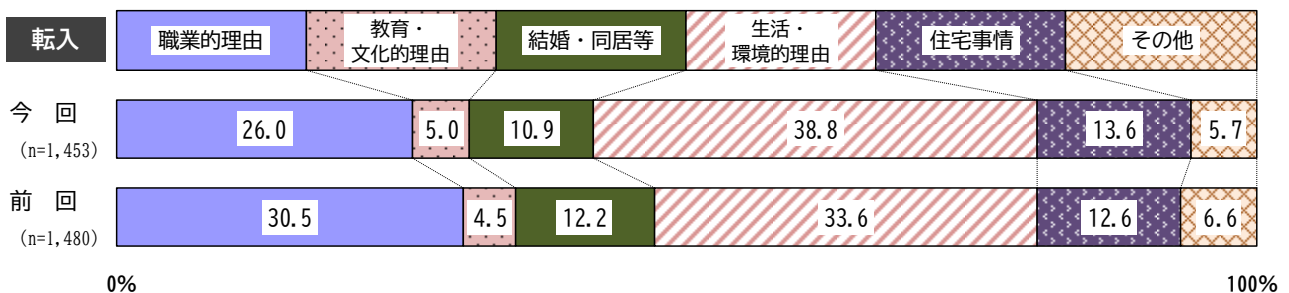
3) 理由別移動状況

(1) 世帯主等移動理由 (全体)

① 転入

転入理由をみると、「生活・環境的理由」(38.8%)がもっとも多く、次いで「職業的理由」(26.0%)、「住宅事情」(13.6%)の順となっている。前回と比較すると、「生活・環境的理由」が5.2ポイント、「住宅事情」が1.0ポイント増加し、「職業的理由」が4.5ポイント、「結婚・同居等」が1.3ポイント減少している。(図Ⅲ-32)

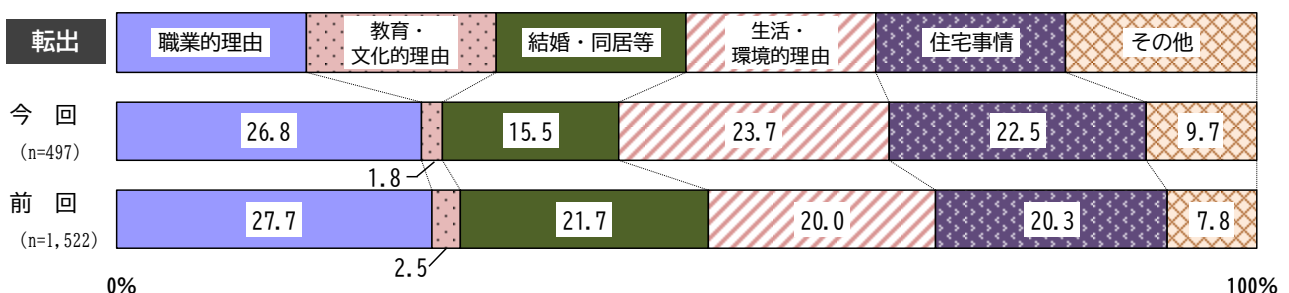
図Ⅲ-32 世帯主等移動理由 (全体) 【 転入 】



② 転出

転出理由をみると、「職業的理由」(26.8%)がもっとも多く、次いで「生活・環境的理由」(23.7%)、「住宅事情」(22.5%)の順となっている。前回と比較すると、「生活・環境的理由」が3.7ポイント、「住宅事情」が2.2ポイント増加し、「結婚・同居等」が6.2ポイント減少している。(図Ⅲ-33)

図Ⅲ-33 世帯主等移動理由 (全体) 【 転出 】



③ 転入・転出別移動理由構成比の比較

移動理由別に転入と転出の割合を比較すると、「教育・文化的理由」「生活・環境的理由」は転入の割合が転出を上回り、「職業的理由」「結婚・同居等」「住宅事情」は、転出が転入を上回っている。転入－転出について前回と比較すると、「結婚・同居等」は前回（△9.5%）から4.9ポイント増加し△4.6%となっており、一方で、「職業的理由」は前回（2.8%）から3.6ポイント減少し△0.8%となっている。（表Ⅲ－9）

表Ⅲ－9 転入・転出別移動理由構成比の比較（全体）

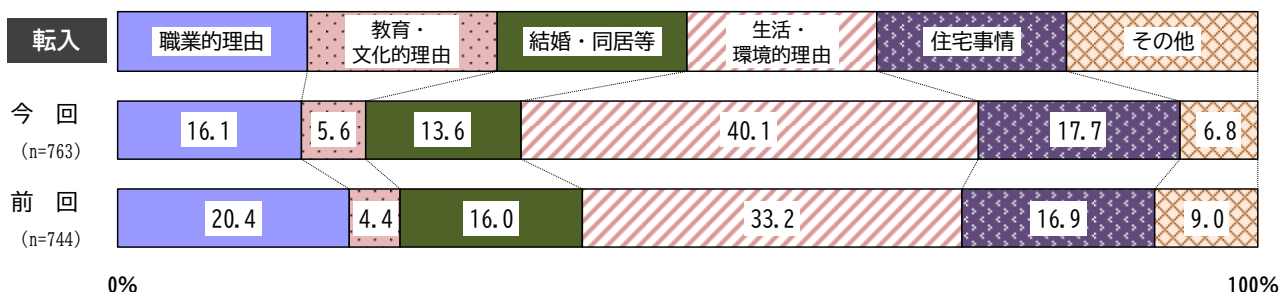
区 分	転 入		転 出		転入－転出	
	前回	今回	前回	今回	前回	今回
	(n=1,480)	(n=1,453)	(n=1,522)	(n=497)		
職 業 的 理 由	30.5%	26.0%	27.7%	26.8%	2.8	△ 0.8
教 育 ・ 文 化 的 理 由	4.5%	5.0%	2.5%	1.8%	2.0	3.2
結 婚 ・ 同 居 等	12.2%	10.9%	21.7%	15.5%	△ 9.5	△ 4.6
生 活 ・ 環 境 的 理 由	33.6%	38.8%	20.0%	23.7%	13.6	15.1
住 宅 事 情	12.6%	13.6%	20.3%	22.5%	△ 7.7	△ 8.9
そ の 他	6.6%	5.7%	7.8%	9.7%	△ 1.2	△ 4.0
合 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

(2) 世帯主等移動理由（都内）

① 転入

都内から文京区への転入理由をみると、「生活・環境的理由」（40.1%）がもっとも多く、次いで「住宅事情」（17.7%）、「職業的理由」（16.1%）の順となっている。前回と比較すると、「生活・環境的理由」が6.9ポイント、「教育・文化的理由」が1.2ポイント増加し、「職業的理由」が4.3ポイント、「結婚・同居等」が2.4ポイント減少している。（図Ⅲ－34）

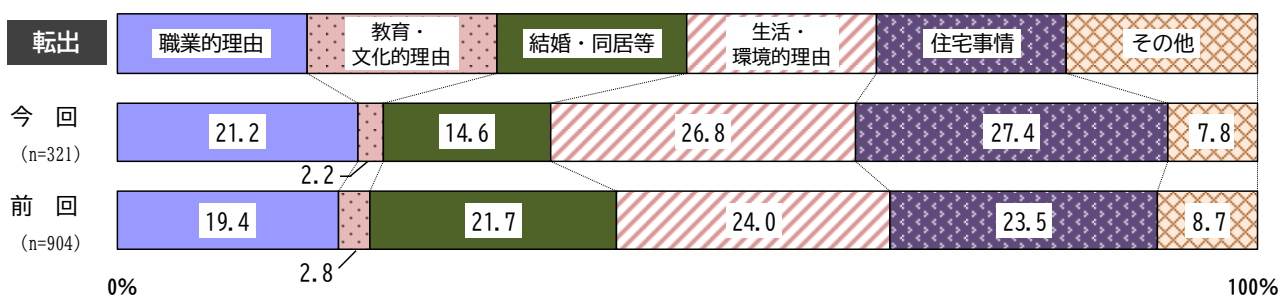
図Ⅲ－34 世帯主等移動理由（都内）【 転入 】



② 転出

文京区から都内への転出理由をみると、「住宅事情」(27.4%)がもっとも多く、次いで「生活・環境的理由」(26.8%)、「職業的理由」(21.2%)の順となっている。前回と比較すると、「住宅事情」が3.9ポイント、「生活・環境的理由」が2.8ポイント、「職業的理由」が1.8ポイント増加し、「結婚・同居等」が7.1ポイント減少している。(図Ⅲ-35)

図Ⅲ-35 世帯主等移動理由(都内)【転出】



③ 転入・転出別移動理由構成比の比較

移動理由別に転入と転出の割合を比較すると、「教育・文化的理由」「生活・環境的理由」は転入の割合が転出を上回り、「職業的理由」「結婚・同居等」「住宅事情」は、転出が転入を上回っている。転入-転出について前回と比較すると、「結婚・同居等」は前回(△5.7%)から4.7ポイント増加し△1.0%、「生活・環境的理由」は前回(9.2%)から4.1ポイント増加し13.3%となっており、一方で、「職業的理由」は前回(1.0%)から6.1ポイント減少し△5.1%となっている。(表Ⅲ-10)

表Ⅲ-10 転入・転出別移動理由構成比の比較(都内)

区分	転入		転出		転入-転出	
	前回 (n=744)	今回 (n=763)	前回 (n=904)	今回 (n=321)	前回	今回
職業的理由	20.4%	16.1%	19.4%	21.2%	1.0	△5.1
教育・文化的理由	4.4%	5.6%	2.8%	2.2%	1.6	3.4
結婚・同居等	16.0%	13.6%	21.7%	14.6%	△5.7	△1.0
生活・環境的理由	33.2%	40.1%	24.0%	26.8%	9.2	13.3
住宅事情	16.9%	17.7%	23.5%	27.4%	△6.6	△9.7
その他	9.0%	6.8%	8.7%	7.8%	0.3	△1.0
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

(3) 町名別移動理由

① 転入

転入理由を町名別にみると、19 地区中 13 地区で「生活・環境的理由」、3 地区で「職業的理由」、弥生の 1 地区で「結婚・同居等」がもっとも多く、また、目白台の 1 地区では「職業的理由」「生活・環境的理由」「住宅事情」、向丘の 1 地区で「職業的理由」と「生活・環境的理由」が同率でもっとも多くなっている。

項目別では、「職業的理由」は本郷（38.0%）、後楽（35.7%）、小日向（34.4%）の順となっている。

「教育・文化的理由」は根津（14.0%）、目白台（13.2%）、西片（13.0%）の順となっている。

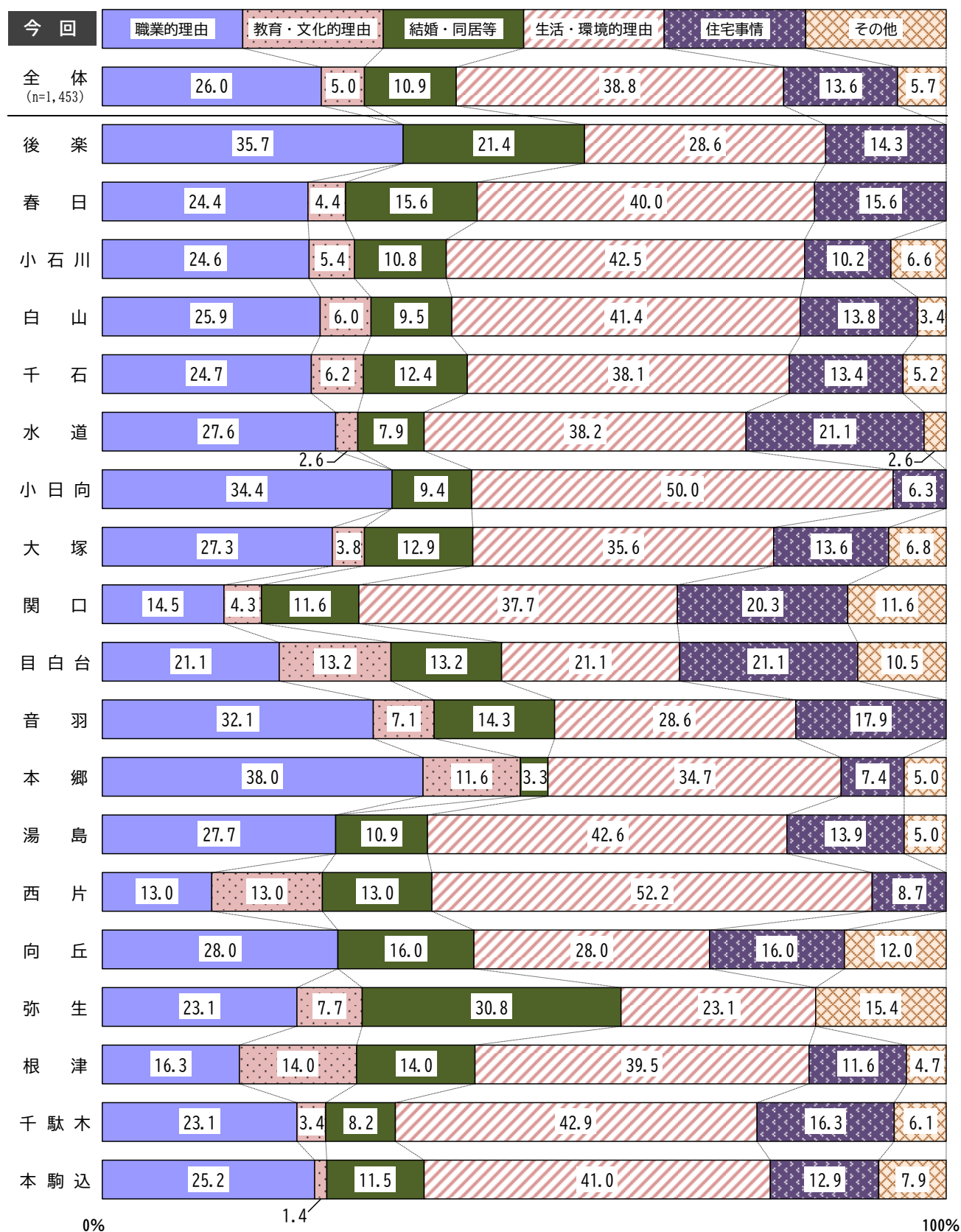
「結婚・同居等」は弥生（30.8%）、後楽（21.4%）、向丘（16.0%）の順となっている。

「生活・環境的理由」は西片（52.2%）、小日向（50.0%）、千駄木（42.9%）の順となっている。

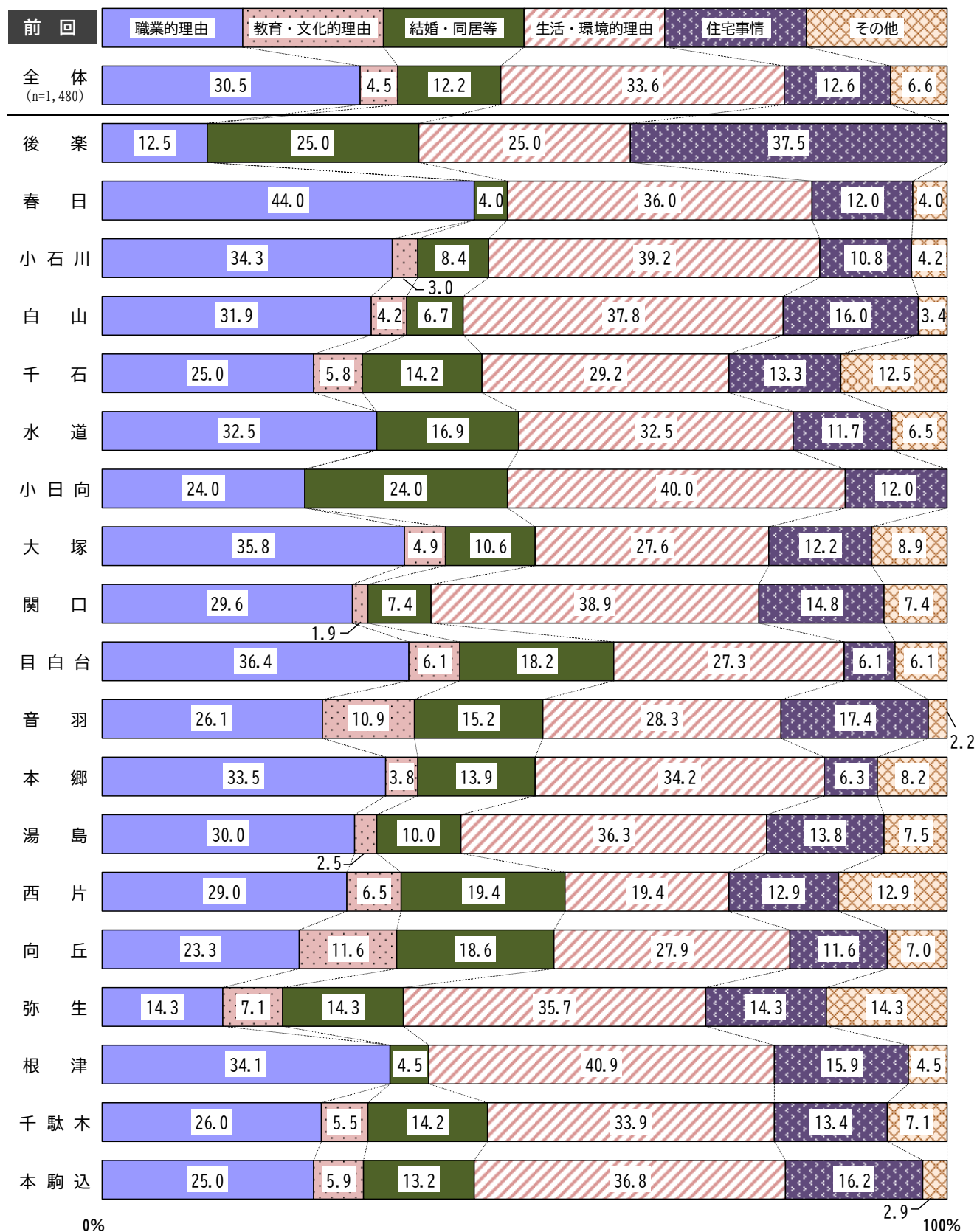
「住宅事情」は水道と目白台（ともに 21.1%）、関口（20.3%）、音羽（17.9%）の順となっている。

(図Ⅲ-36)

図Ⅲ-36 転入地（町名）別転入理由【今回】



図Ⅲ-37 転入地（町名）別転入理由【前回】



② 転出

転出理由を町名別にみると、19 地区中 5 地区で「職業的理由」、3 地区で「住宅事情」、2 地区で「生活・環境的理由」がもっとも多くなっている。また、4 地区で「職業的理由」と「生活・環境的理由」、水道の 1 地区では「職業的理由」「結婚・同居等」「住宅事情」が同率でもっとも多くなっている。(後楽、春日、小日向、弥生は回答数が 10 未満のため、コメントを省略している。)

項目別では、「職業的理由」は向丘 (40.0%)、根津 (35.7%)、目白台と西片 (ともに 30.8%) の順となっている。

「教育・文化的理由」は目白台 (7.7%)、向丘 (6.7%)、関口 (6.3%) の順となっている。

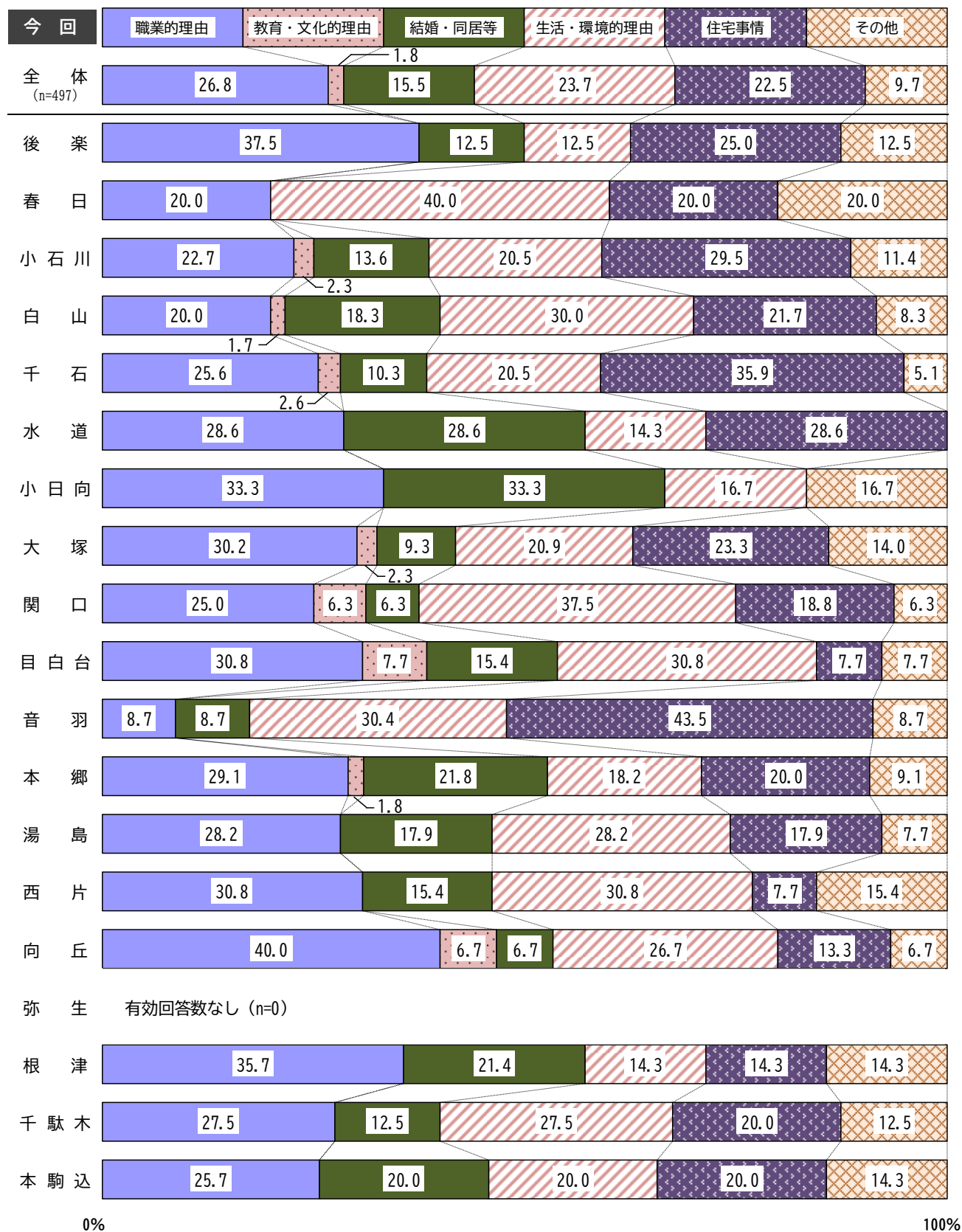
「結婚・同居等」は水道 (28.6%)、本郷 (21.8%)、根津 (21.4%) の順となっている。

「生活・環境的理由」は関口 (37.5%)、目白台と西片 (ともに 30.8%)、音羽 (30.4%) の順となっている。

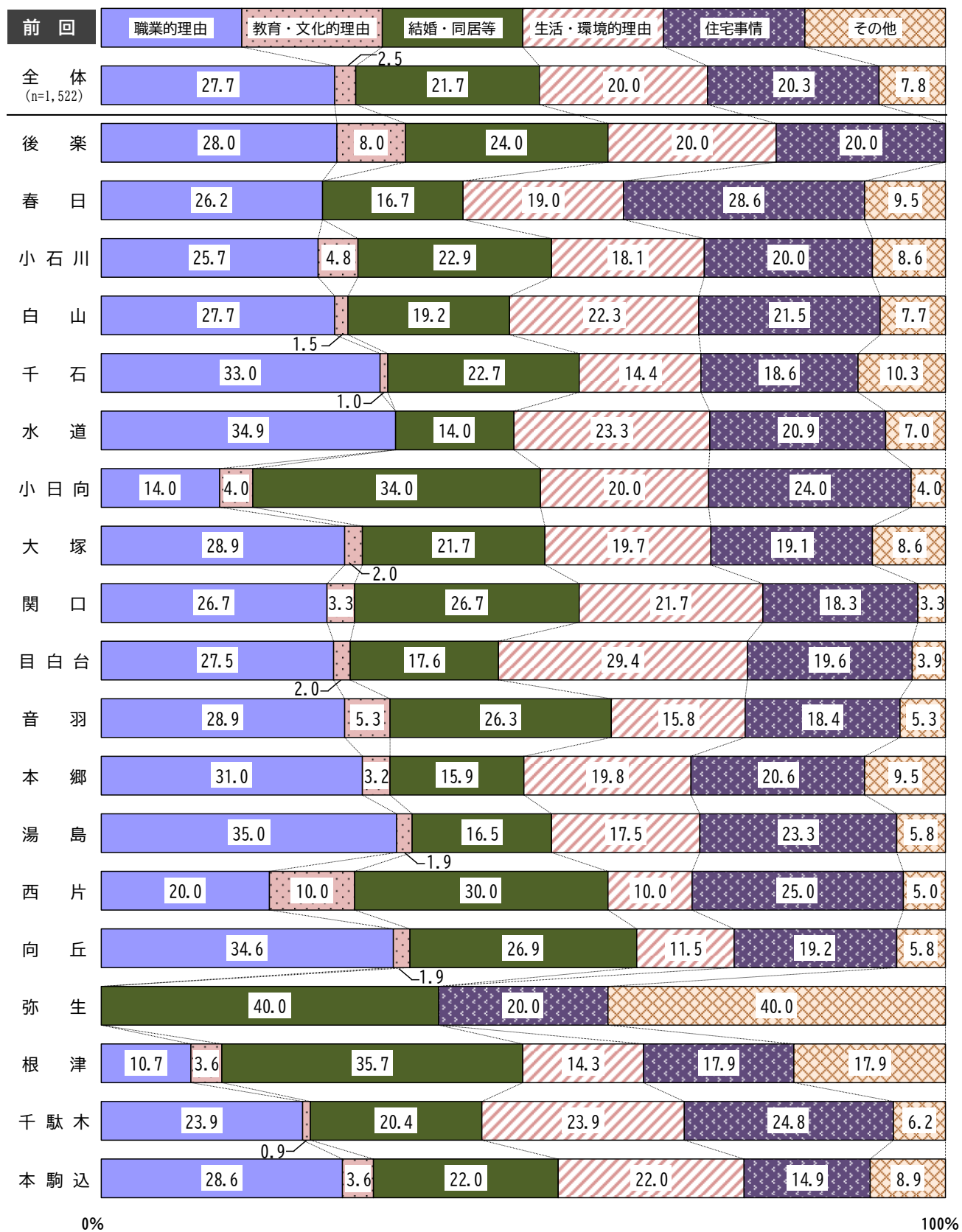
「住宅事情」は音羽 (43.5%)、千石 (35.9%)、小石川 (29.5%) の順となっている。

(図Ⅲ-38)

図Ⅲ-38 前住地（町名）別転出理由【今回】



図Ⅲ-39 前住地（町名）別転出理由【前回】



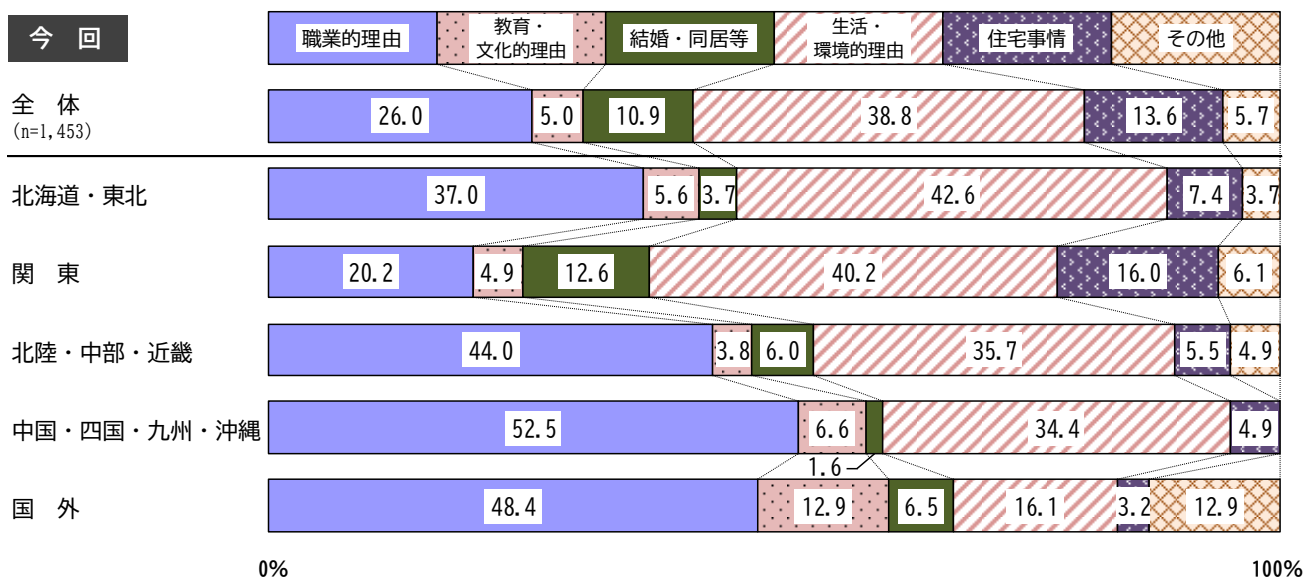
(4) 地方別移動理由 (全国)

① 転入

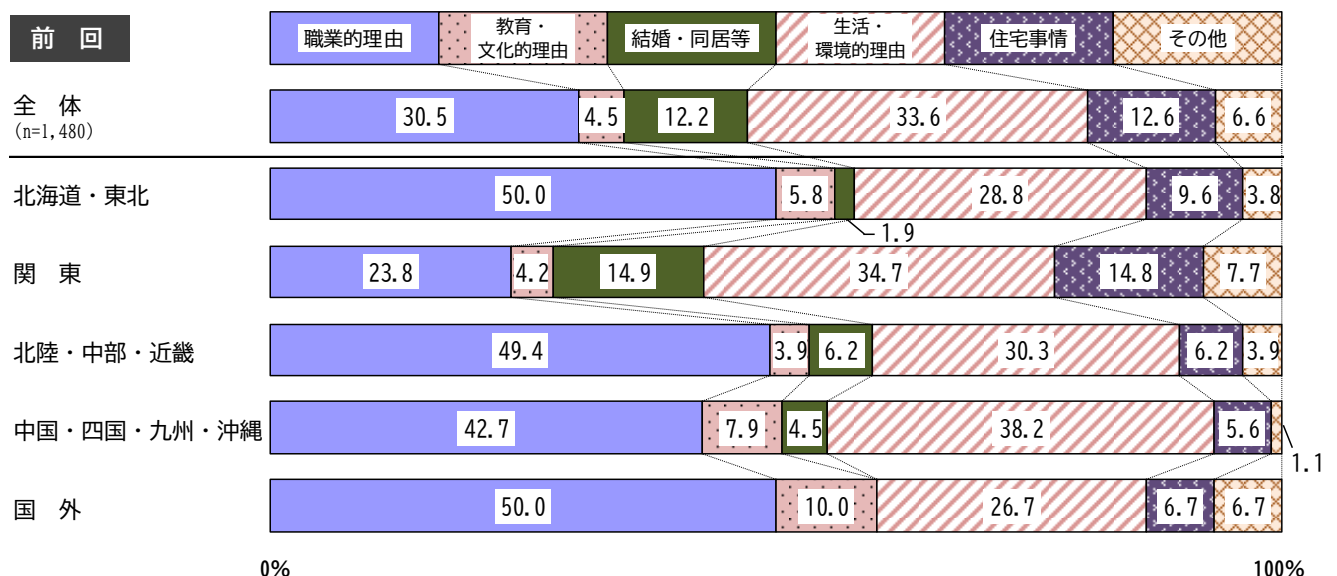
前住地(地方)別に転入理由をみると、北陸・中部・近畿、中国・四国・九州・沖縄、国外では「職業的理由」が40%を超えてもっとも多く、北海道・東北と関東では「生活・環境的理由」が40%を超えてもっとも多くなっている。前回と比較すると、中国・四国・九州・沖縄以外の各地方では「職業的理由」の割合は減少している。

関東では、「生活・環境的理由」(40.2%)がもっとも多く、次いで「職業的理由」(20.2%)、「住宅事情」(16.0%)の順となっている。前回と比較して「生活・環境的理由」が5.5ポイント、「住宅事情」が1.2ポイント増加し、「職業的理由」が3.6ポイント、「結婚・同居等」が2.3ポイント減少している。(図Ⅲ-40、41)

図Ⅲ-40 前住地(地方)別転入理由【今回】



図Ⅲ-41 前住地(地方)別転入理由【前回】



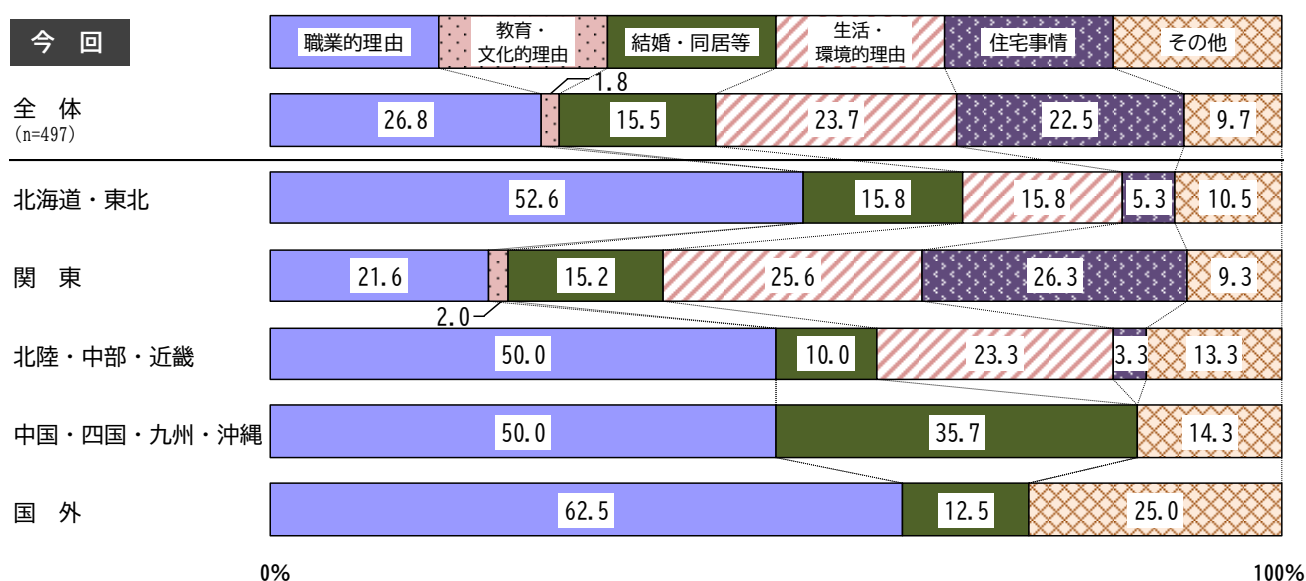
② 転出

転出地（地方）別に転出理由をみると、関東以外の各地方では「職業的理由」が50%以上でもっとも多く、北海道・東北では「結婚・同居等」と「生活・環境的理由」が同率、北陸・中部・近畿では「生活・環境的理由」、中国・四国・九州・沖縄では「結婚・同居等」が次いで多くなっている。前回と比較すると、中国・四国・九州・沖縄で「結婚・同居等」が17.6ポイント増加している。（国外は回答数が10未満のため、コメントを省略している。）

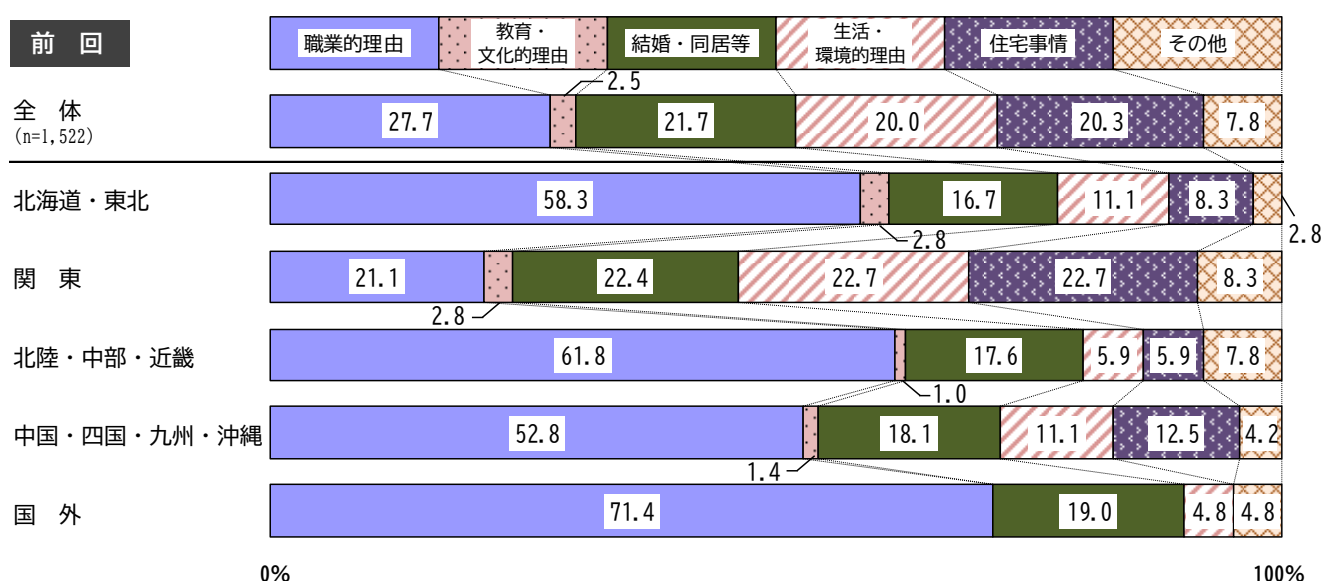
関東では、「住宅事情」（26.3%）がもっとも多く、次いで「生活・環境的理由」（25.6%）、「職業的理由」（21.6%）の順となっている。前回と比較して「住宅事情」が3.6ポイント、「生活・環境的理由」が2.9ポイント増加し、「結婚・同居等」が7.2ポイント減少している。

（図Ⅲ-42、43）

図Ⅲ-42 転出地（地方）別転出理由【今回】



図Ⅲ-43 転出地（地方）別転出理由【前回】



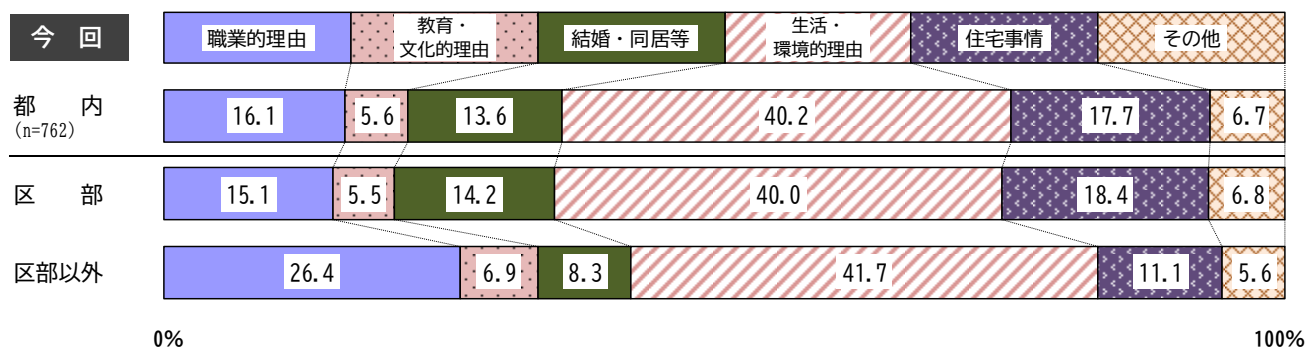
(5) 地方別移動理由（都内）

① 転入

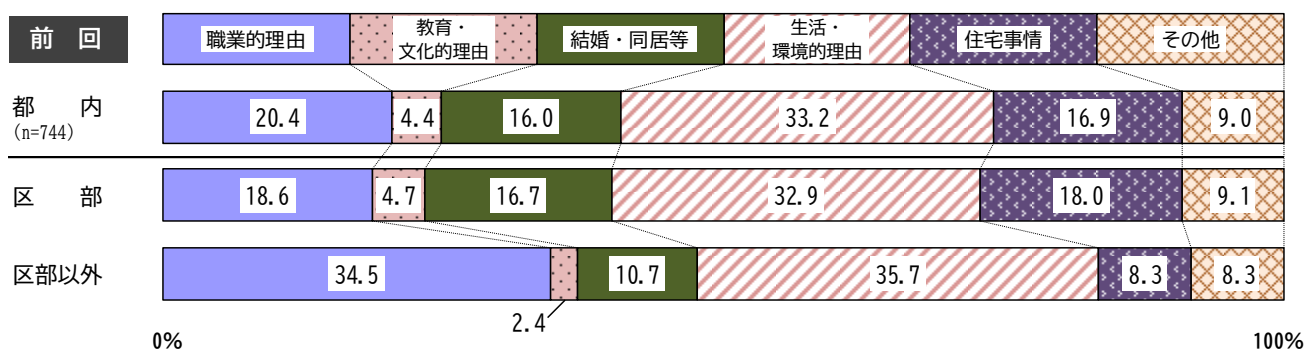
前住地（都内）別に転入理由をみると、区部と区部以外（市・郡・島部）ともに「生活・環境的理由」が40%以上でもっとも多く（区部40.0%、区部以外41.7%）、次いで、区部では「住宅事情」（18.4%）、「職業的理由」（15.1%）、「結婚・同居等」（14.2%）の順、区部以外では「職業的理由」（26.4%）、「住宅事情」（11.1%）、「結婚・同居等」（8.3%）の順となっている。

前回と比較すると、区部では「生活・環境的理由」が7.1ポイント増加し、「職業的理由」が3.5ポイント、「結婚・同居等」が2.5ポイント減少している。区部以外では「生活・環境的理由」が6.0ポイント、「教育・文化的理由」が4.5ポイント、「住宅事情」が2.8ポイント増加し、「職業的理由」が8.1ポイント、「結婚・同居等」が2.4ポイント減少している。（図Ⅲ-44、45）

図Ⅲ-44 前住地（都内）別転入理由【今回】



図Ⅲ-45 前住地（都内）別転入理由【前回】

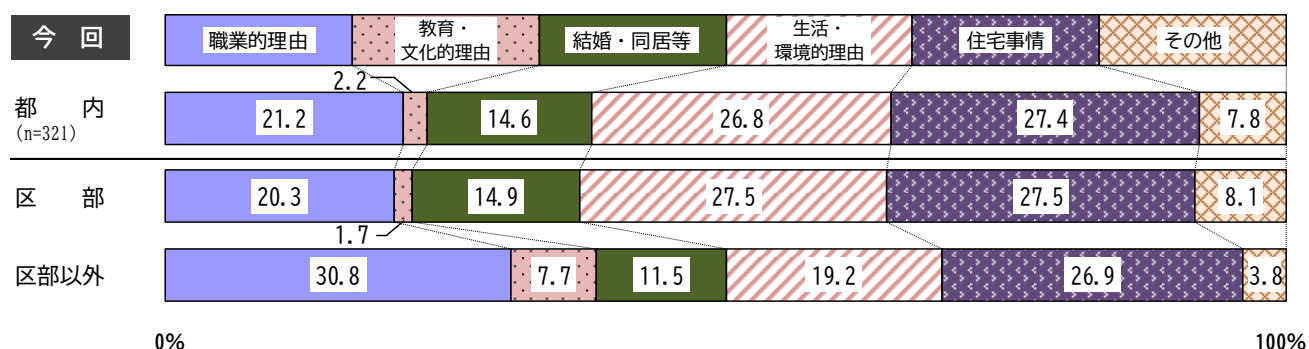


② 転出

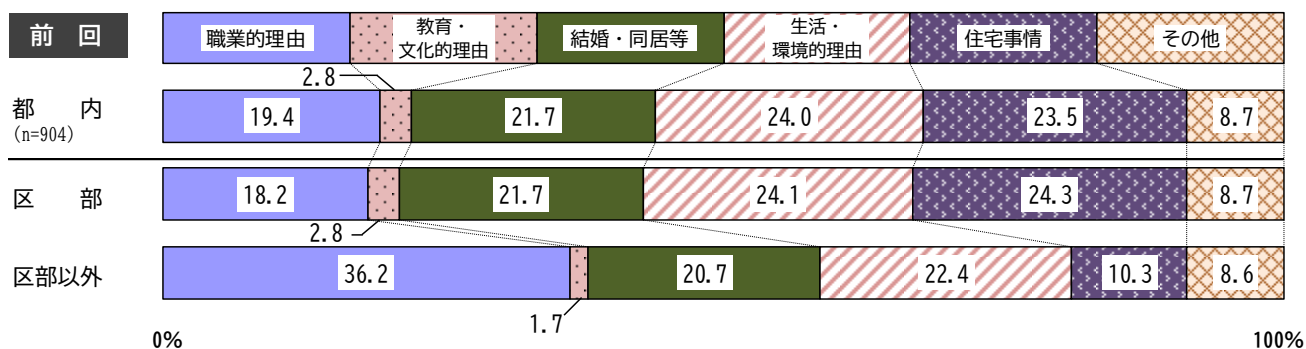
転出地（都内）別に転出理由をみると、区部では「生活・環境的理由」と「住宅事情」（ともに27.5%）が、区部以外では「職業的理由」（30.8%）が、それぞれもっとも多くなっている。次いで、区部では「職業的理由」（20.3%）、「結婚・同居等」（14.9%）の順、区部以外では「住宅事情」（26.9%）、「生活・環境的理由」（19.2%）、「結婚・同居等」（11.5%）の順となっている。

前回と比較すると、区部では「生活・環境的理由」が3.4ポイント、「住宅事情」が3.2ポイント、「職業的理由」が2.1ポイント増加し、「結婚・同居等」が6.8ポイント、「教育・文化的理由」が1.1ポイント減少している。区部以外では「住宅事情」が16.6ポイント、「教育・文化的理由」が6.0ポイント増加し、「結婚・同居等」が9.2ポイント、「職業的理由」5.4ポイント、「生活・環境的理由」が3.2ポイント減少している。（図Ⅲ-46、47）

図Ⅲ-46 転出地（都内）別転出理由【今回】



図Ⅲ-47 転出地（都内）別転出理由【前回】

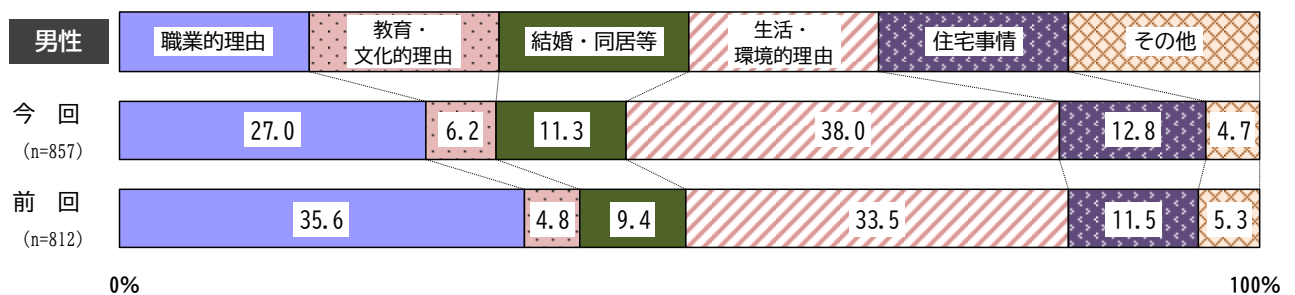


(6) 男女別移動理由

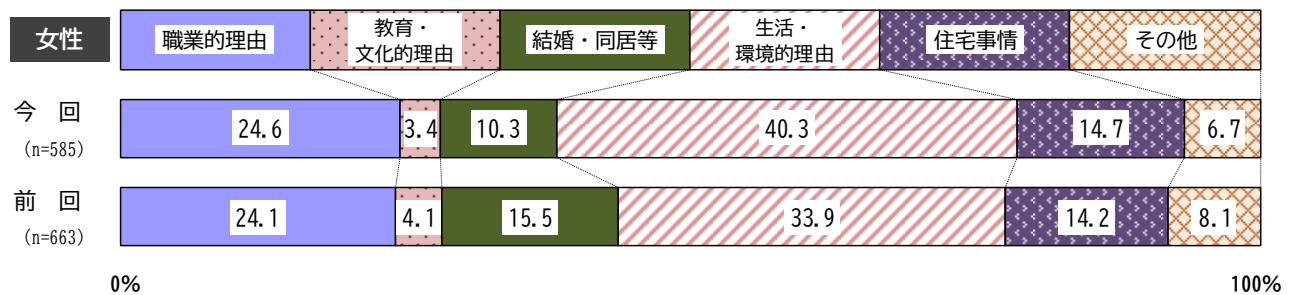
① 転入

転入世帯主等の男女別に転入理由をみると、男女ともに「生活・環境的理由」の割合が最も多く（男性 38.0%、女性 40.3%）、次いで「職業的理由」（男性 27.0%、女性 24.6%）、「住宅事情」（男性 12.8%、女性 14.7%）、「結婚・同居等」（男性 11.3%、女性 10.3%）の順となっている。前回と比較すると、男女ともに「生活・環境的理由」が増加（男性 4.5 ポイント、女性 6.4 ポイント）しているが、男性は「職業的理由」が 8.6 ポイント、女性は「結婚・同居等」が 5.2 ポイント減少している。（図Ⅲ-48、49）

図Ⅲ-48 男女別転入理由【男性】



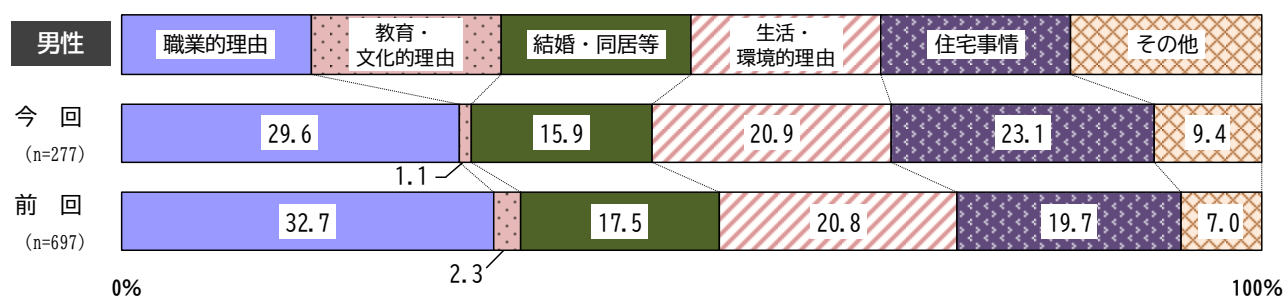
図Ⅲ-49 男女別転入理由【女性】



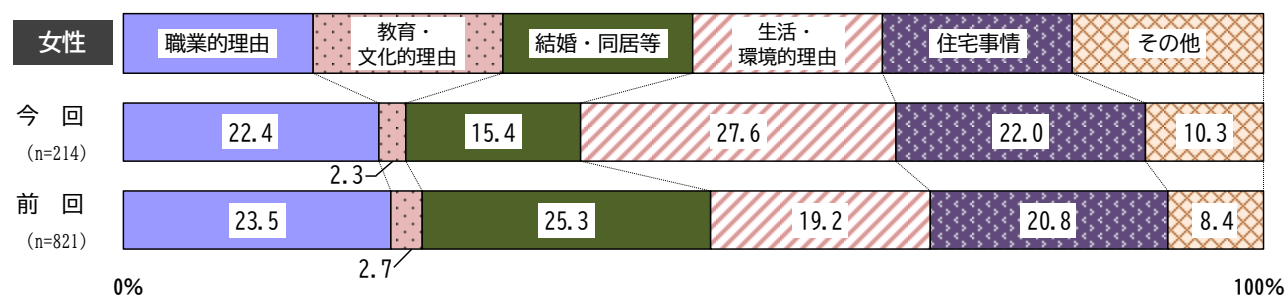
② 転出

転出世帯主等の男女別に転出理由をみると、男性は「職業的理由」(29.6%)がもっとも多く、次いで「住宅事情」(23.1%)、「生活・環境的理由」(20.9%)の順となっている。前回と比較すると「住宅事情」が3.4ポイント増加し、「職業的理由」が3.1ポイント、「結婚・同居等」が1.6ポイント、「教育・文化的理由」が1.2ポイント減少している。女性は「生活・環境的理由」(27.6%)がもっとも多く、次いで「住宅事情」(22.0%)、「職業的理由」(22.4%)の順となっている。前回と比較すると「生活・環境的理由」が8.4ポイント、「住宅事情」が1.2ポイント増加し、「結婚・同居等」が9.9ポイント、「職業的理由」が1.1ポイント減少している。(図Ⅲ-50、51)

図Ⅲ-50 男女別転出理由【男性】



図Ⅲ-51 男女別転出理由【女性】



(7) 年齢階層別移動理由

① 転入

回答者の年齢構成をみると、25～34歳(48.5%)がもっとも多く、次いで15～24歳(23.9%)、35～44歳(14.7%)と45歳未満で85%を超えている。(図Ⅲ-11)

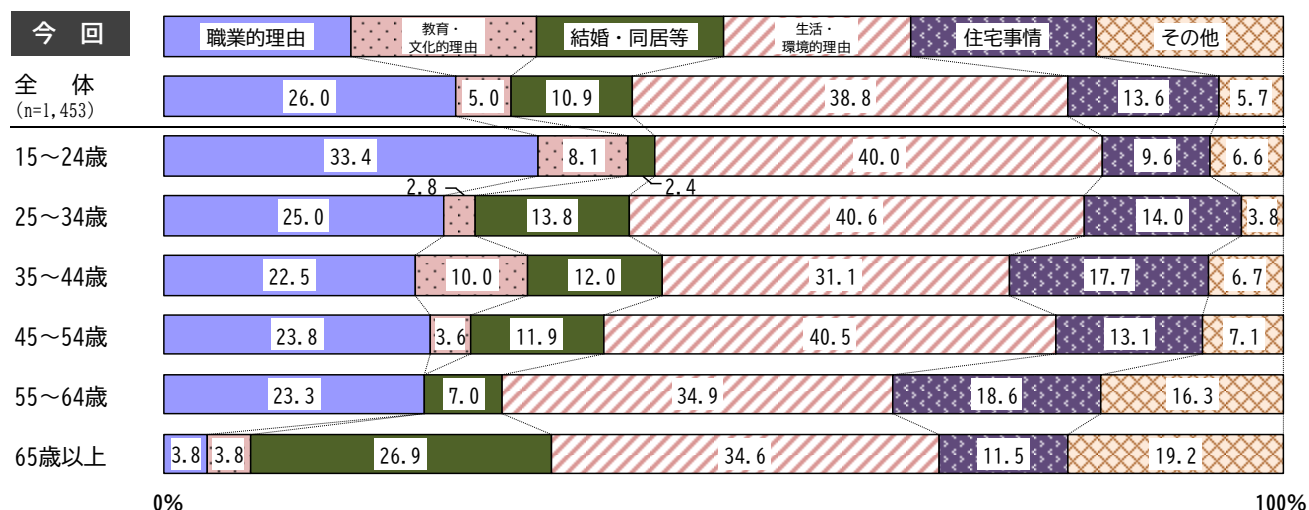
年齢階層別に転入理由をみると、「生活・環境的理由」は25～34歳(40.6%)、45～54歳(40.5%)、15～24歳(40.0%)で40%以上を占めている。前回と比較すると25～34歳で6.2ポイント、65歳以上で15.4ポイント増加している。

「職業的理由」は15～24歳(33.4%)がもっとも多くなっているが、前回と比較すると7.4ポイント減少している。

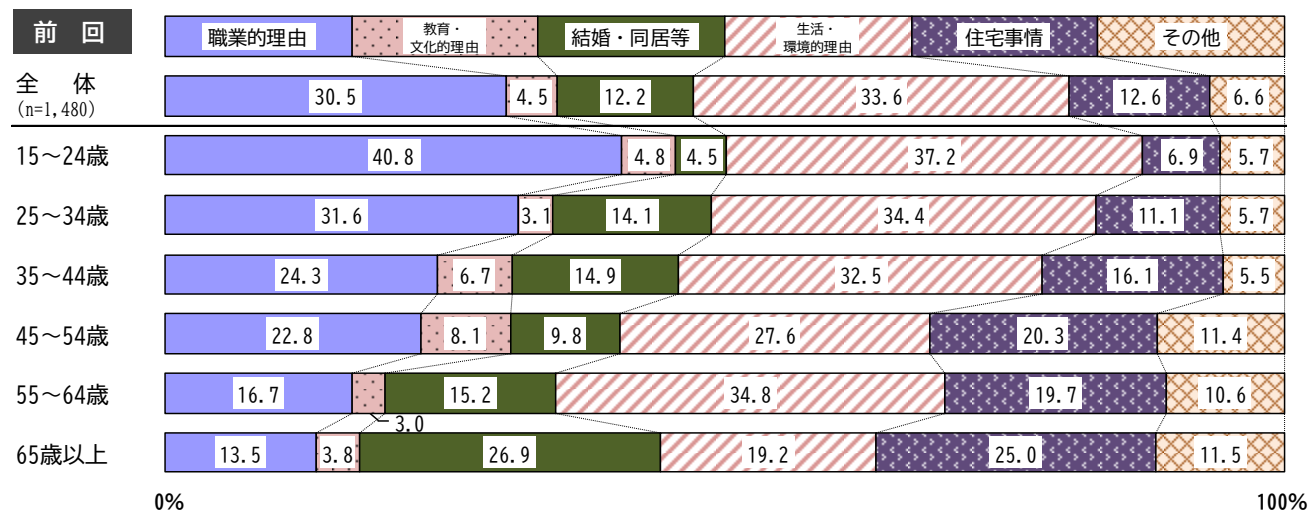
「住宅事情」は15～44歳の各階層では前回よりも増加しているが、45歳以上の各階層では減少している。

「結婚・同居等」は65歳以上(26.9%)が前回と同様の割合でもっとも多くなっている。前回と比較すると55～64歳で8.2ポイント減少している。(図Ⅲ-52、53)

図Ⅲ-52 年齢階層別転入理由【今回】



図Ⅲ-53 年齢階層別転入理由【前回】



② 転出

回答者の年齢構成をみると、25～34歳(41.7%)がもっとも多く、次いで15～24歳(18.2%)、35～44歳(18.8%)となっている。(図Ⅲ-11)

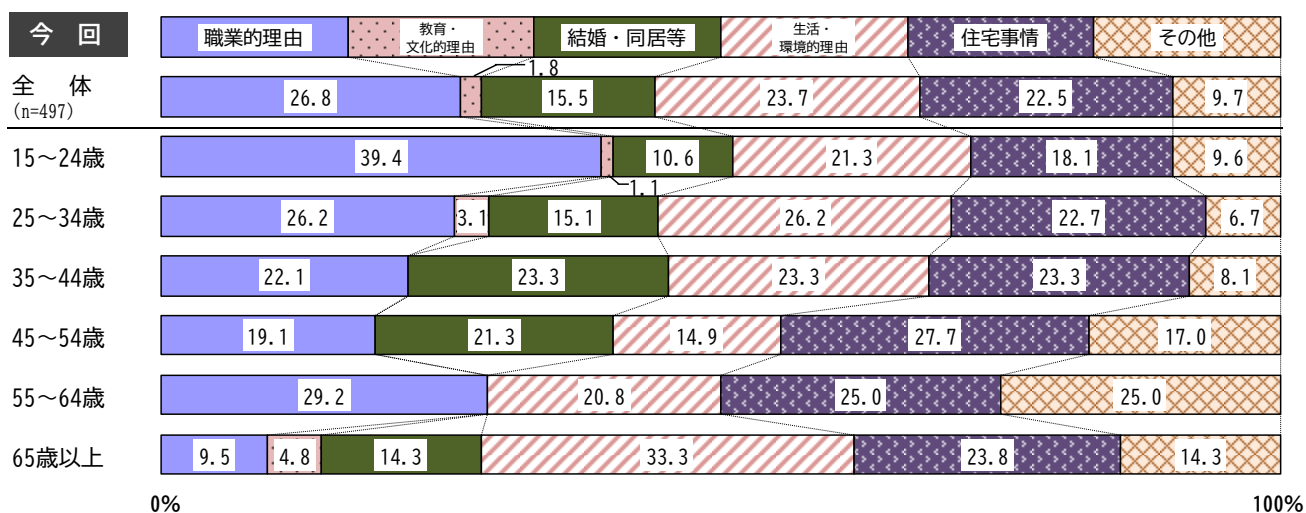
年齢階層別に転出理由をみると、「職業的理由」は15～24歳(39.4%)がもっとも多く、前回と比較すると2.3ポイント増加している。

「生活・環境的理由」は65歳以上(33.3%)がもっとも多く、前回と比較すると8.3ポイント増加している。

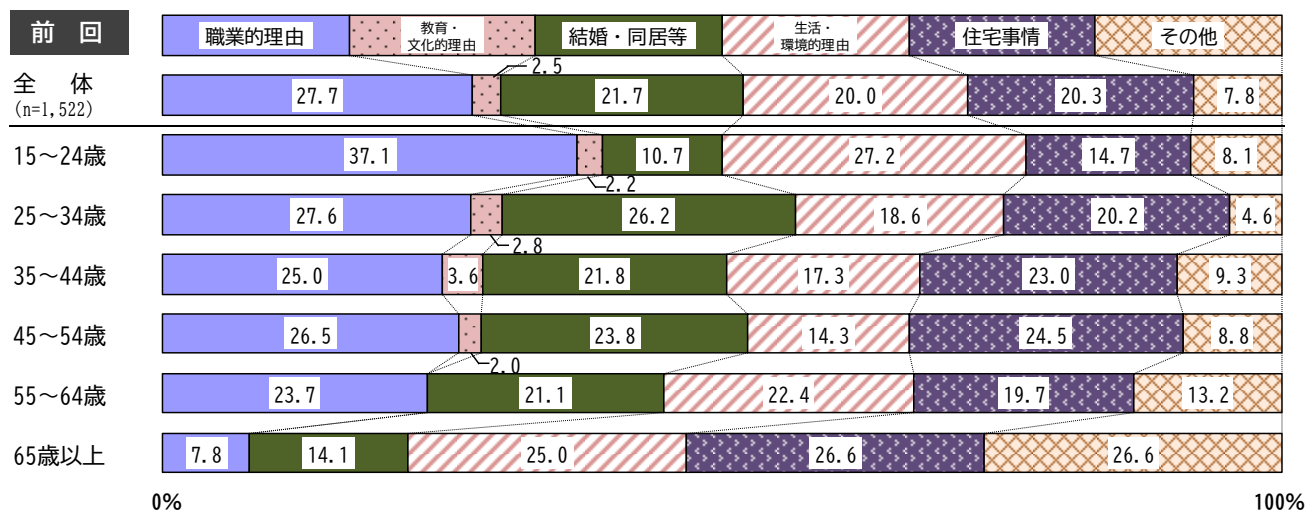
「住宅事情」は45～54歳(27.7%)がもっとも多く、25歳以上の各階層で20%を超えている。前回と比較すると、55～64歳で5.3ポイント増加している。

「結婚・同居等」は35～44歳(23.3%)でもっとも多くなっている。前回と比較すると、55～64歳で21.1ポイント減少している。(図Ⅲ-54、55)

図Ⅲ-54 年齢階層別転出理由【今回】



図Ⅲ-55 年齢階層別転出理由【前回】

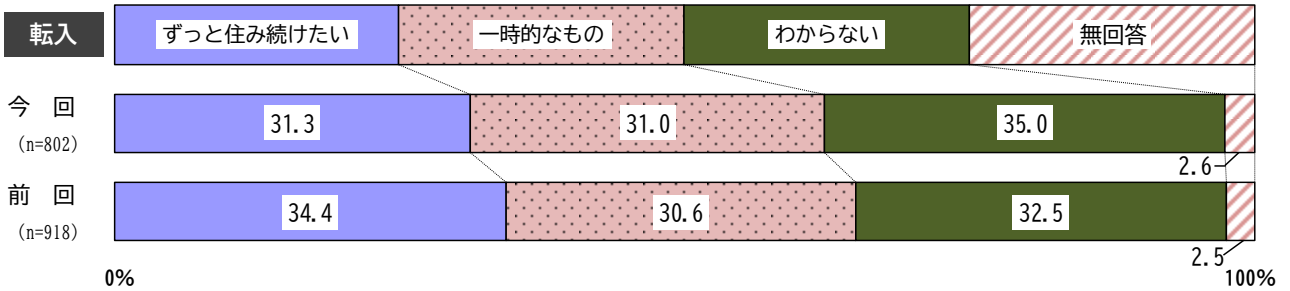


4) 定住志向

(1) 転入・転出別定住志向

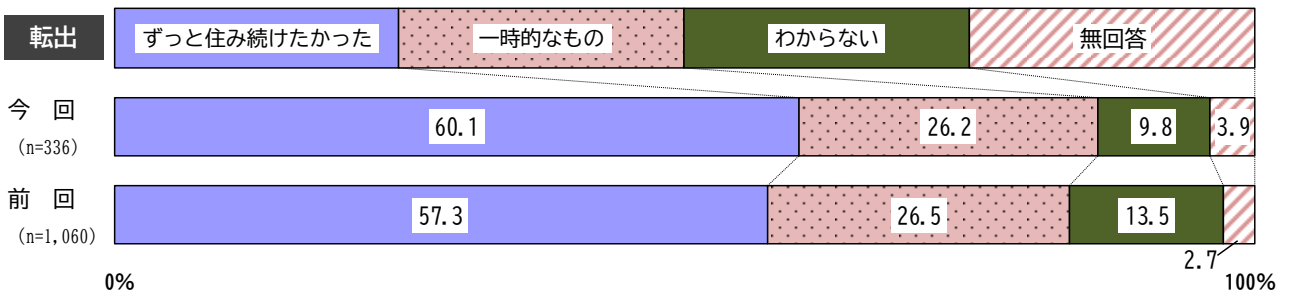
① 転入

図Ⅲ-56 定住志向【転入】



② 転出

図Ⅲ-57 定住志向【転出】

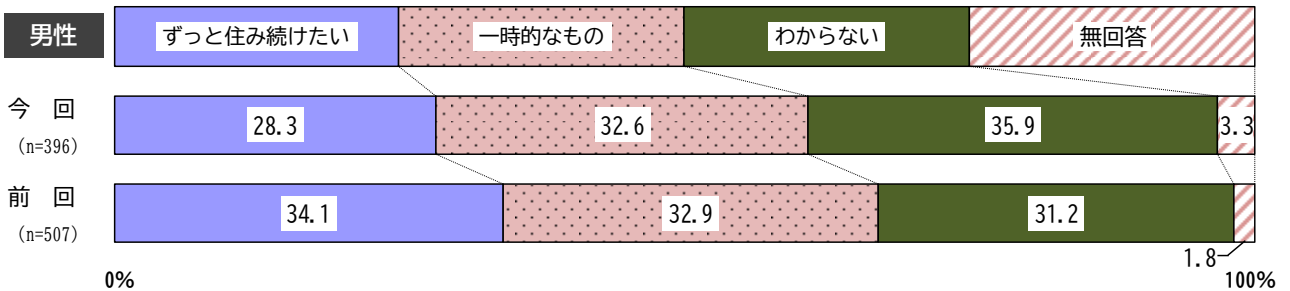


(2) 男女別定住志向

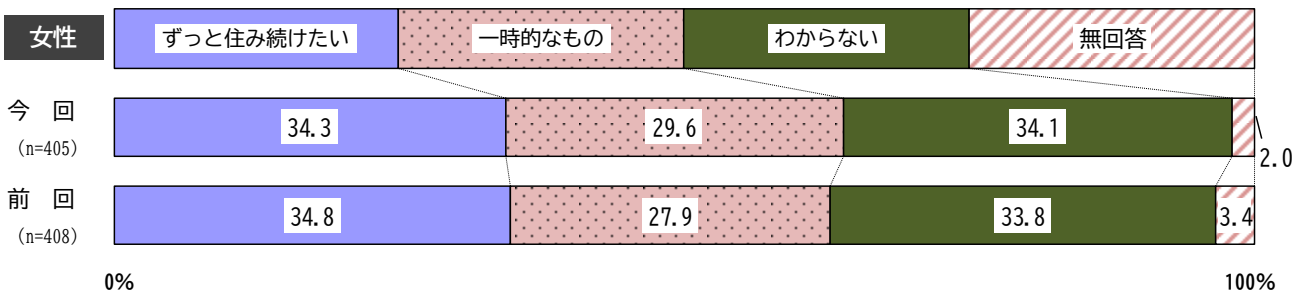
① 転入

転入者の定住志向を男女別にみると、男性は「わからない」、「一時的なもの」、「ずっと住みたい」の順となっており、女性は「ずっと住みたい」、「わからない」、「一時的なもの」の順となっている。前回と比較すると、女性にあまり変化はないが、男性は「ずっと住みたい」が5.8ポイント減少している。(図Ⅲ-58、59)

図Ⅲ-58 男女別定住志向【転入】【男性】



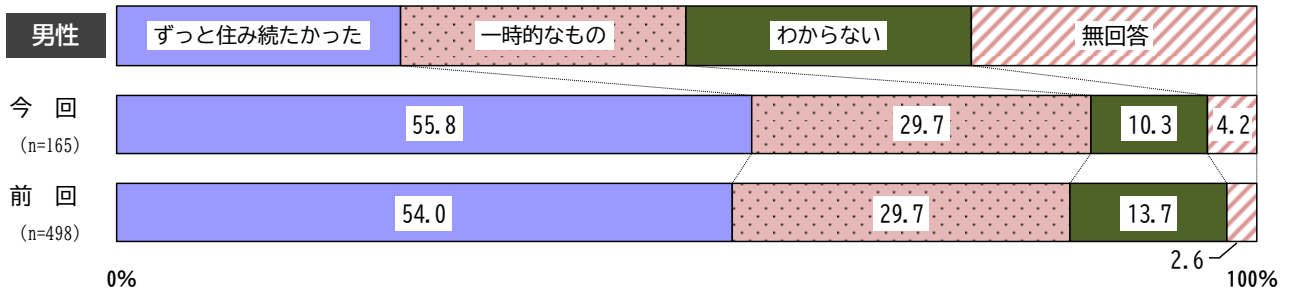
図Ⅲ-59 男女別定住志向【転入】【女性】



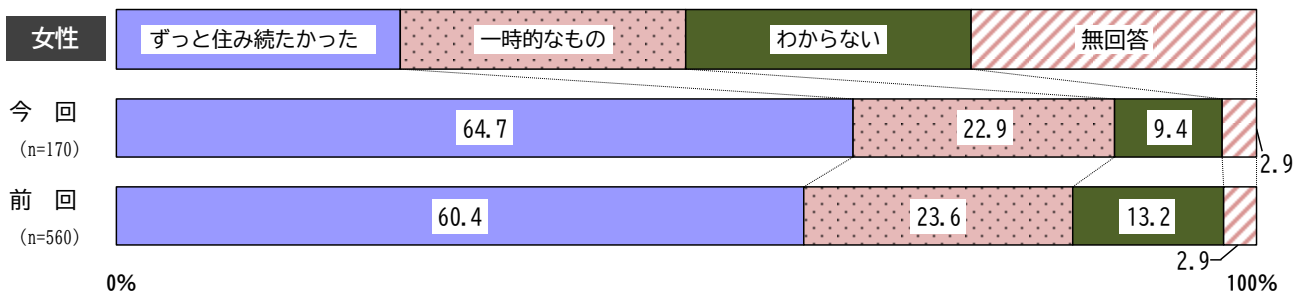
② 転出

転出者の定住志向を男女別にみると、男女ともに「ずっと住み続たかった」、「一時的なもの」、「わからない」の順となっており、前回と同様の傾向となっている。前回と比較すると、「ずっと住み続たかった」は、男性で1.8ポイント、女性で4.3ポイント増加している。(図Ⅲ-60、61)

図Ⅲ-60 男女別定住志向【転出】【男性】



図Ⅲ-61 男女別定住志向【転出】【女性】

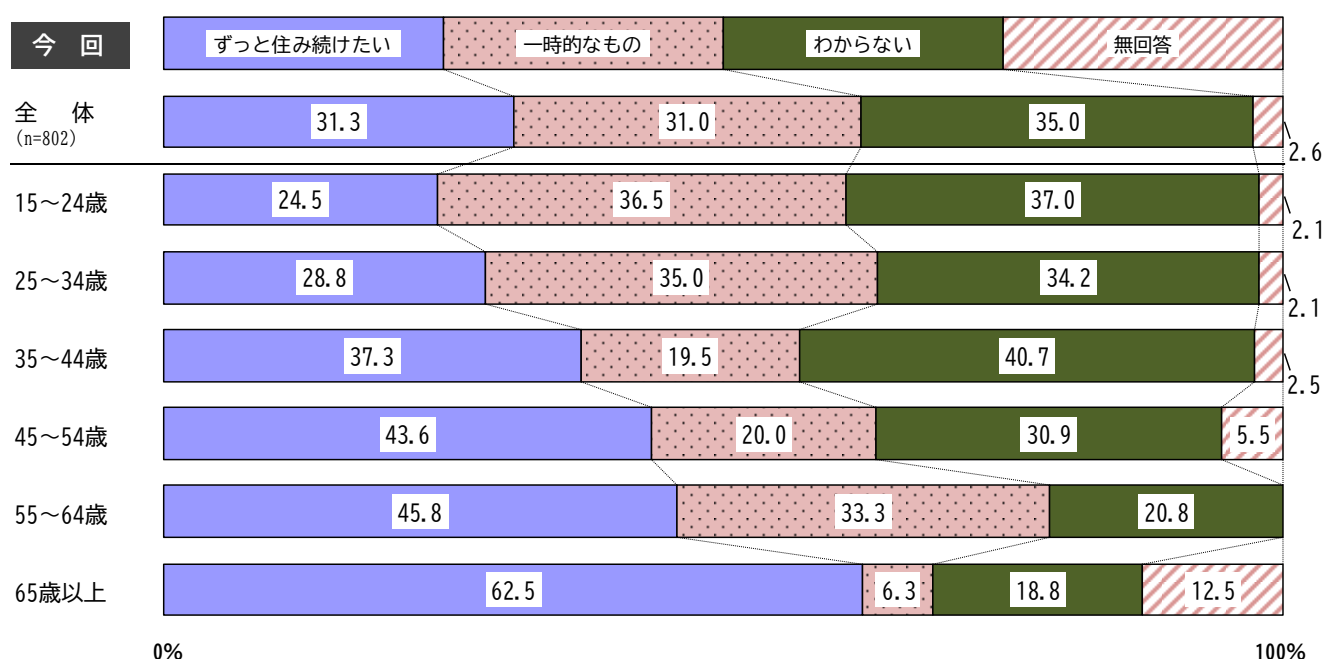


(3) 年齢階層別定住志向

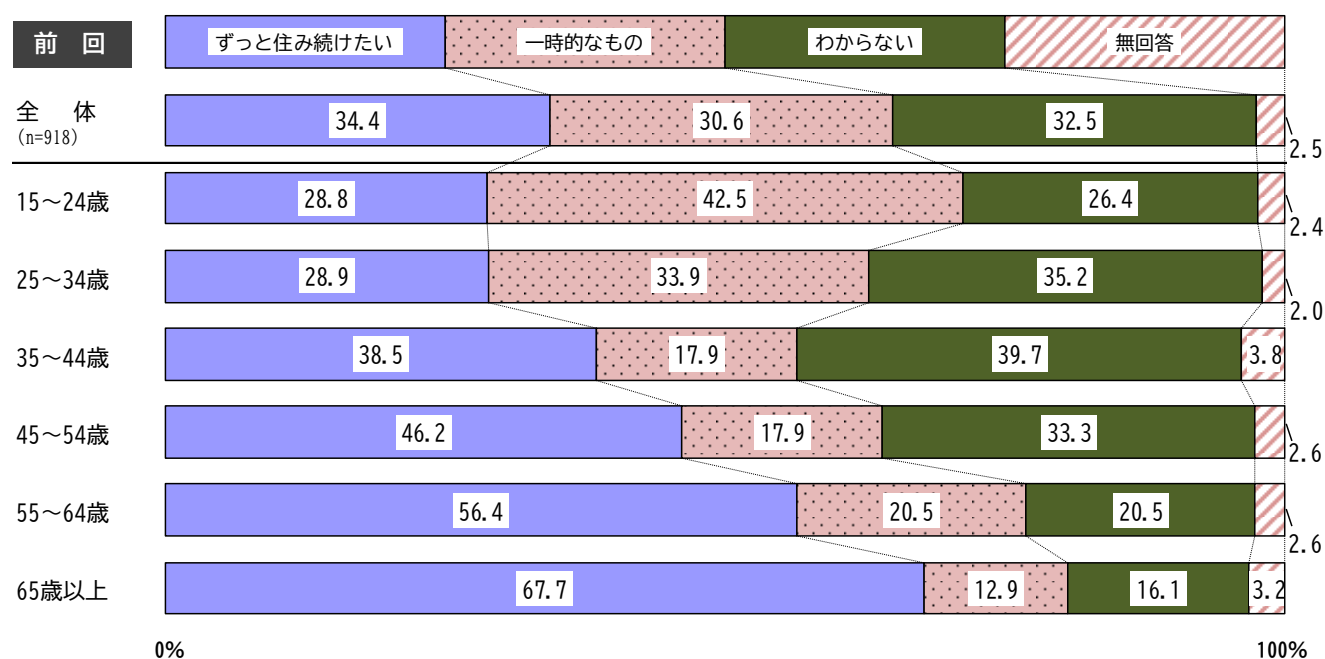
① 転入

転入者の定住志向を年齢階層別にみると、「ずっと住みたい」は65歳以上(62.5%)がもっとも多く、年齢が高くなるほど定住志向も高まる傾向にある。前回と比較すると、「ずっと住みたい」の割合は、すべての階層で減少しており、特に55～64歳で10.6ポイント、65歳以上で5.2ポイント、15～24歳で4.3ポイント減少している。(図Ⅲ-62、63)

図Ⅲ-62 年齢階層別定住志向【転入】【今回】



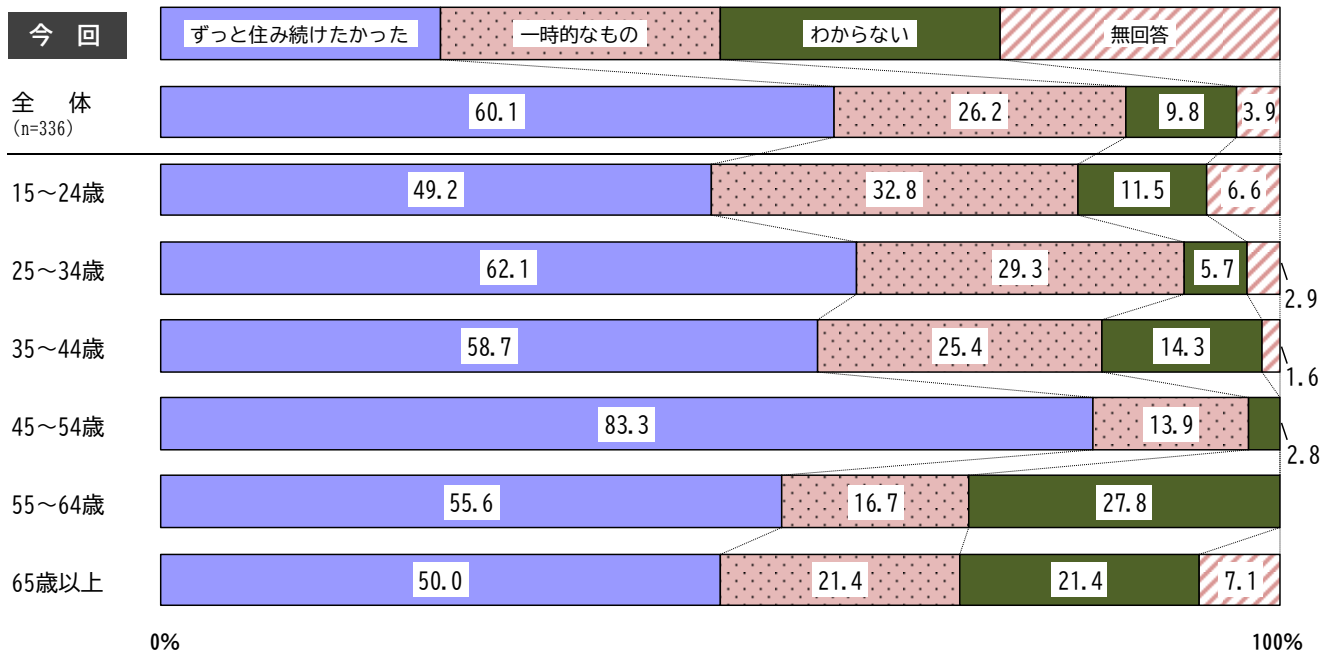
図Ⅲ-63 年齢階層別定住志向【転入】【前回】



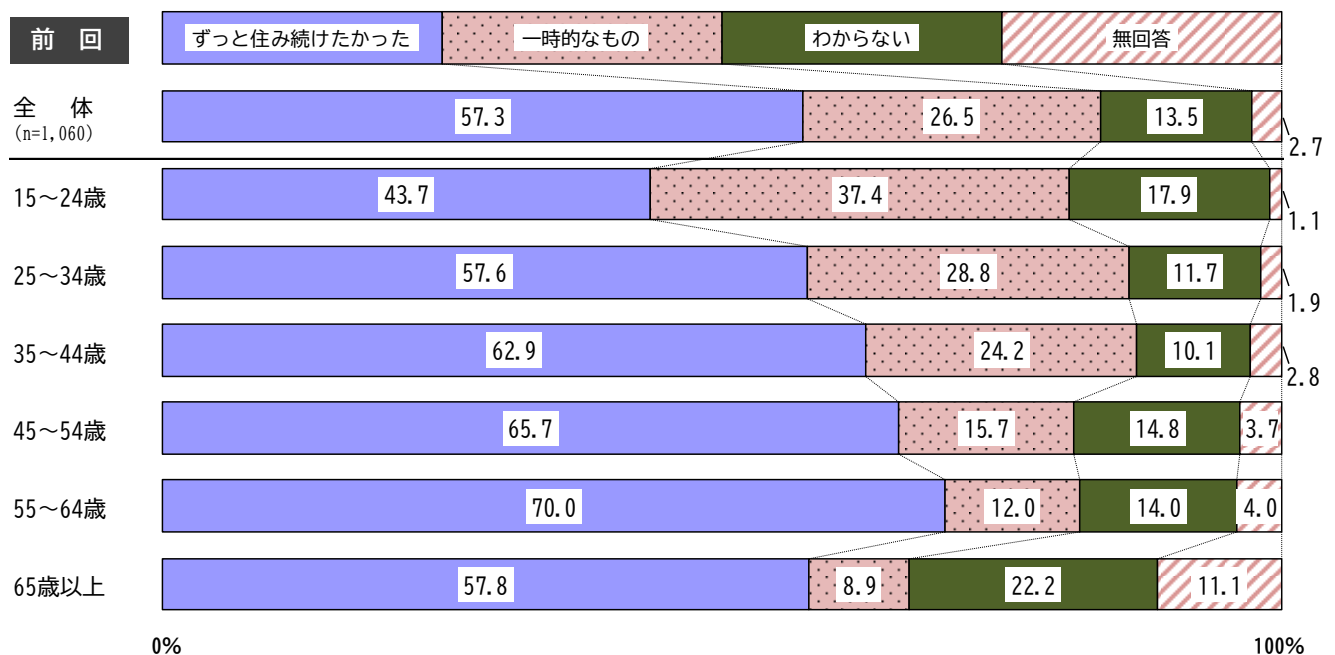
② 転出

転出者の定住志向を年齢階層別にみると、「ずっと住み続けたかった」は45～54歳（83.3%）がもっとも多くなっている。前回と比較すると、「ずっと住み続けたかった」の割合は、45～54歳で17.6ポイント、15～24歳で5.5ポイント、25～34歳で4.5ポイント増加しており、反対に55～64歳で14.4ポイント、65歳以上で7.8ポイント、35～44歳で4.2ポイント減少している。（図Ⅲ-64、65）

図Ⅲ-64 年齢階層別定住志向【転出】【今回】



図Ⅲ-65 年齢階層別定住志向【転出】【前回】

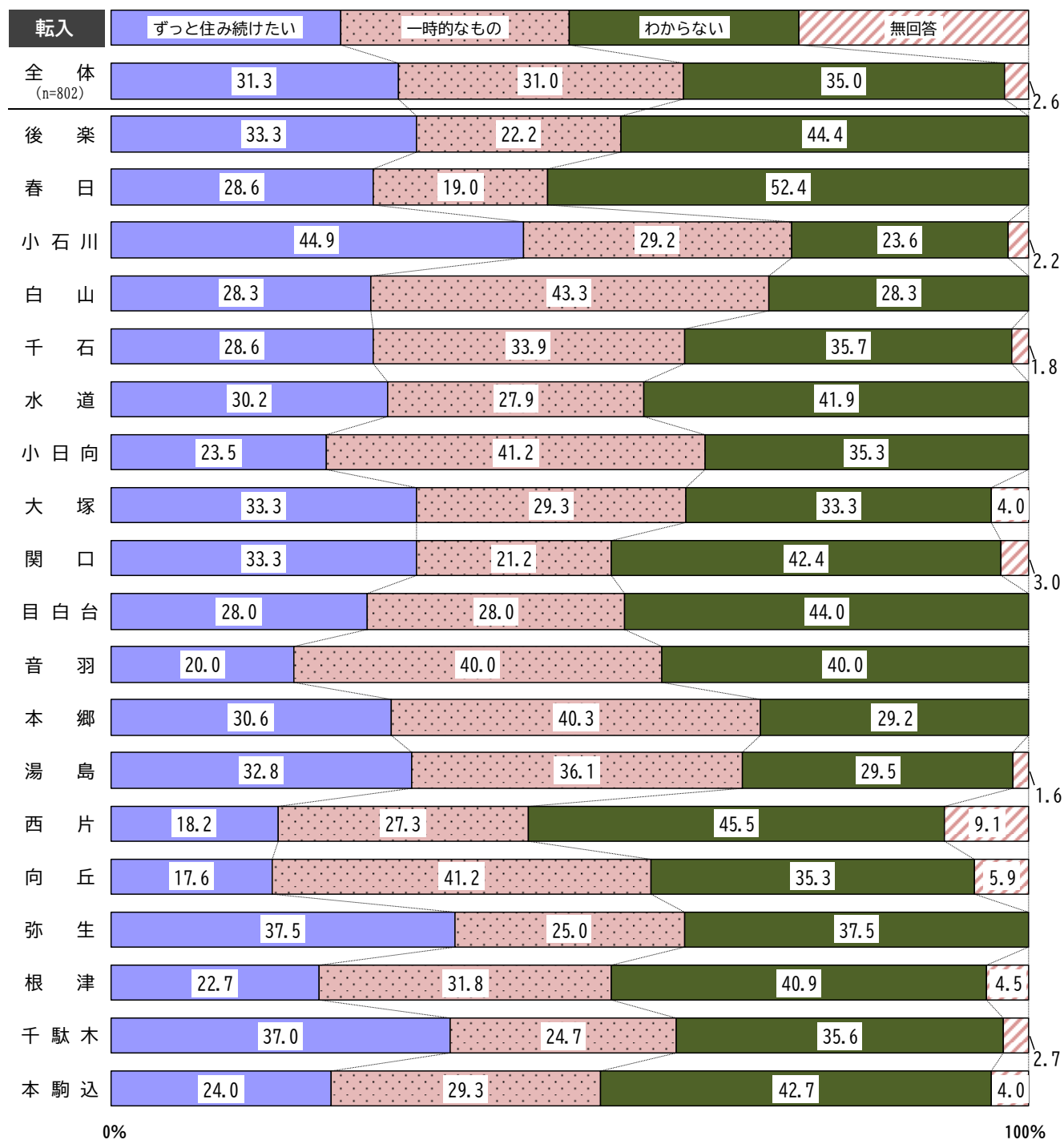


(4) 町名別定住志向

① 転入

転入者の定住志向を転入地（町名）別にみると、「ずっと住みたい」は小石川（44.9%）がもっとも多く、次いで千駄木（37.0%）、大塚と関口（ともに33.3%）の順となっている。「一時的なものと考えている」は白山（43.3%）がもっとも多く、次いで小日向と向丘（ともに41.2%）、本郷（40.3%）の順となっている。（後楽、弥生は回答数が10未満のため、コメントを省略している。）（図Ⅲ-66）

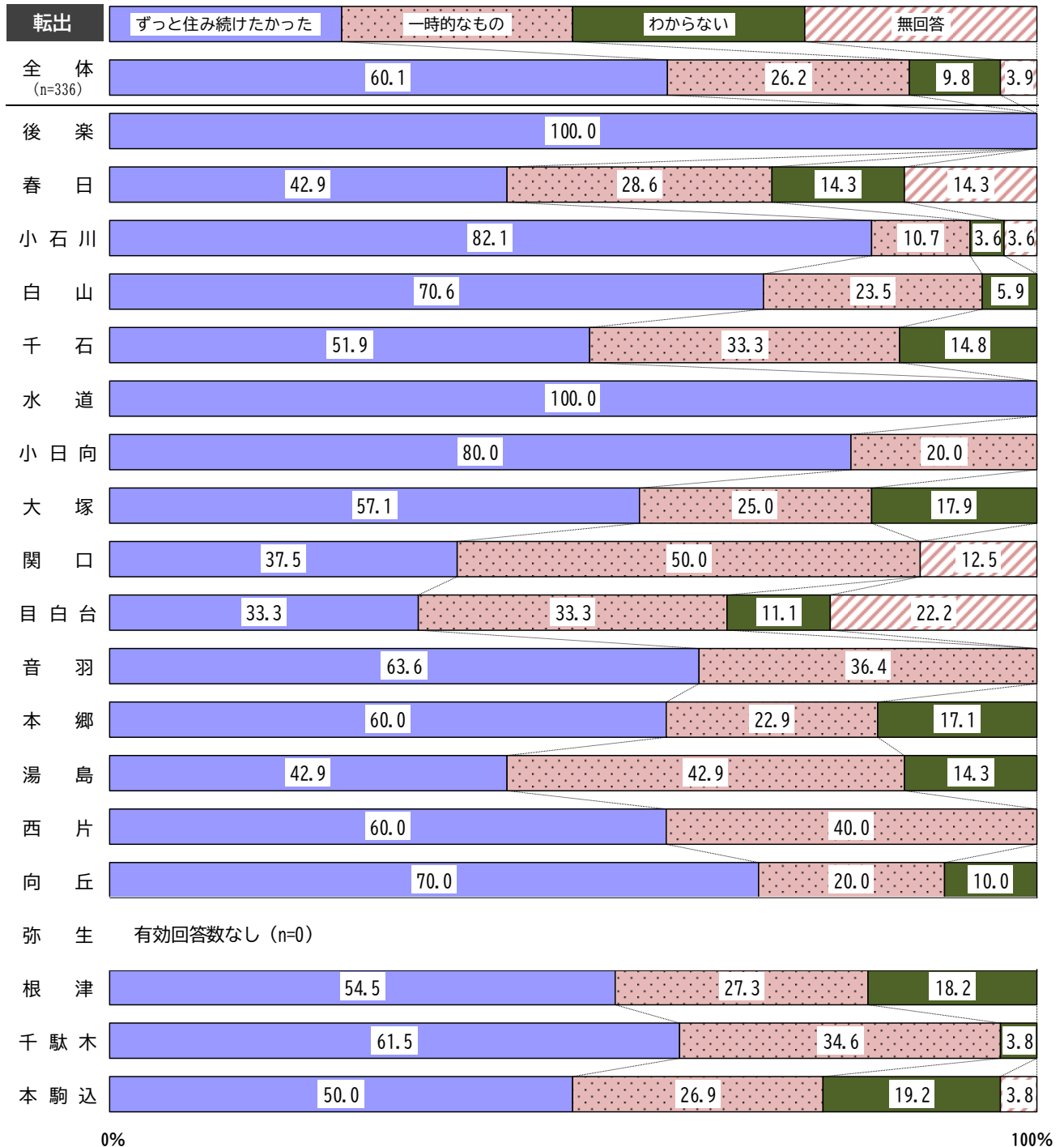
図Ⅲ-66 転入地（町名）別定住志向【転入】



② 転出

転出者の定住志向を前住地（町名）別にみると、「ずっと住み続けたかった」の割合は、水道（100.0%）、小石川（82.1%）、白山（70.6%）の順となっている。「一時的なものと考えていた」の割合は、湯島（42.9%）、西片（40.0%）、音羽（36.4%）の順となっている。（後楽、春日、小日向、関口、目白台、弥生は回答数が10未満のため、コメントを省略している。）（図Ⅲ-67）

図Ⅲ-67 前住地（町名）別定住志向【転出】



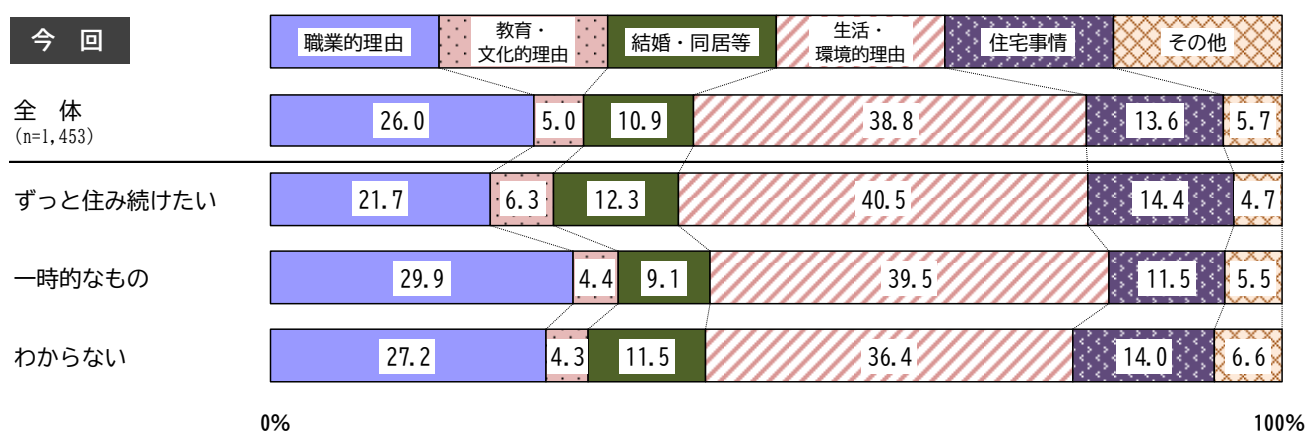
(5) 定住志向別移動理由

① 転入

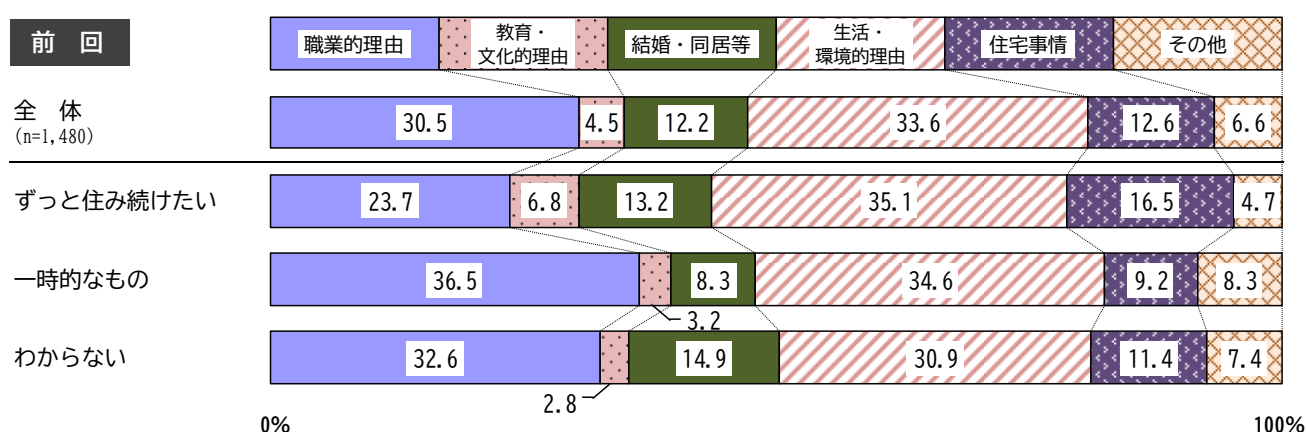
「ずっと住みたい」と回答した転入者の移動理由をみると、「生活・環境的理由」(40.5%)がもっとも多く、次いで「職業的理由」(21.7%)、「住宅事情」(14.4%)の順となっており、前回と比較すると、「生活・環境的理由」が5.4ポイント増加し、「住宅事情」が2.1ポイント、「職業的理由」が2.0ポイント減少している。

「一時的なものと考えている」と回答した人の転入理由をみると、「生活・環境的理由」(39.5%)がもっとも多く、次いで「職業的理由」(29.9%)、「住宅事情」(11.5%)の順となっており、前回と比較すると、「生活・環境的理由」が4.9ポイント、「住宅事情」が2.3ポイント、「教育・文化的理由」が1.2ポイント増加し、「職業的理由」が6.6ポイント減少している。(図Ⅲ-68、69)

図Ⅲ-68 定住志向別転入理由【今回】



図Ⅲ-69 定住志向別転入理由【前回】

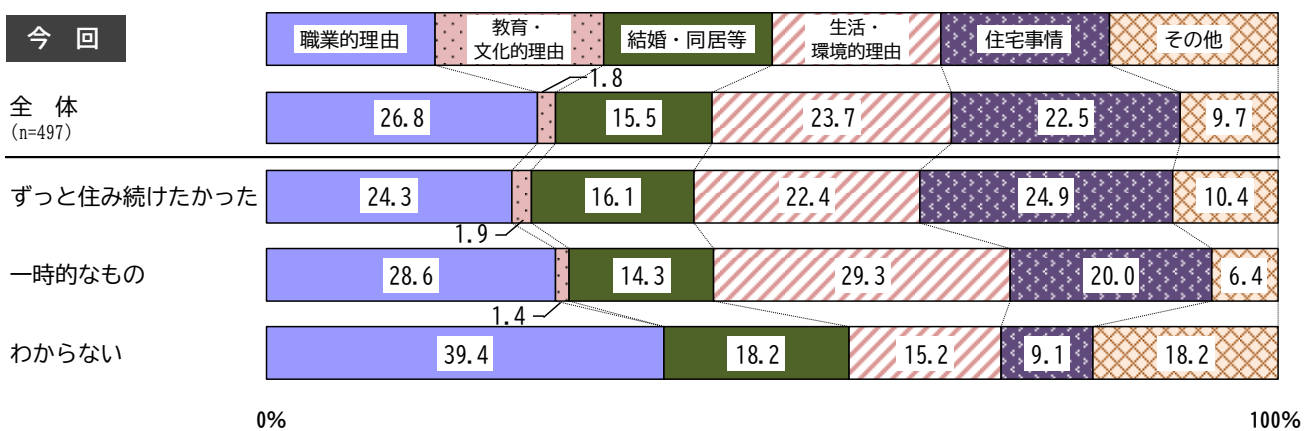


② 転出

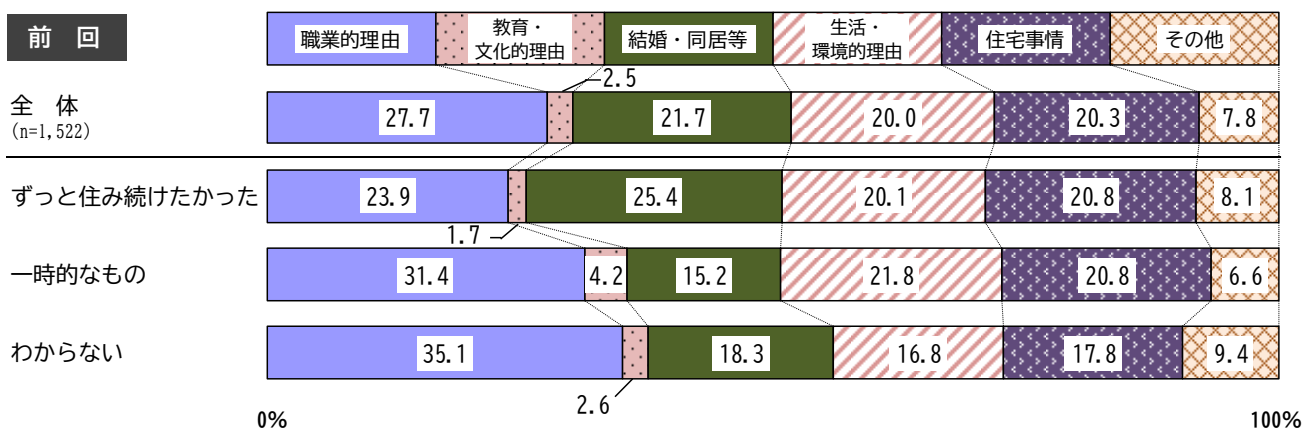
「ずっと住み続けたかった」と回答した転出者の移動理由をみると、「住宅事情」(24.9%)がもっとも多く、次いで「職業的理由」(24.3%)、「生活・環境的理由」(22.4%)の順となっており、前回と比較すると、「住宅事情」が4.1ポイント、「生活・環境的理由」が2.3ポイント増加し、「結婚・同居等」が9.3ポイント減少している。

「一時的なものと考えていた」と回答した人の転出理由をみると、「生活・環境的理由」(29.3%)がもっとも多く、次いで「職業的理由」(28.6%)、「住宅事情」(20.0%)の順となっており、前回と比較すると、「生活・環境的理由」が7.5ポイント増加し、「職業的理由」と「教育・文化的理由」がともに2.8ポイント減少している。(図Ⅲ-70、71)

図Ⅲ-70 定住志向別転出理由【今回】



図Ⅲ-71 定住志向別転出理由【前回】



5) 居住環境と移動状況

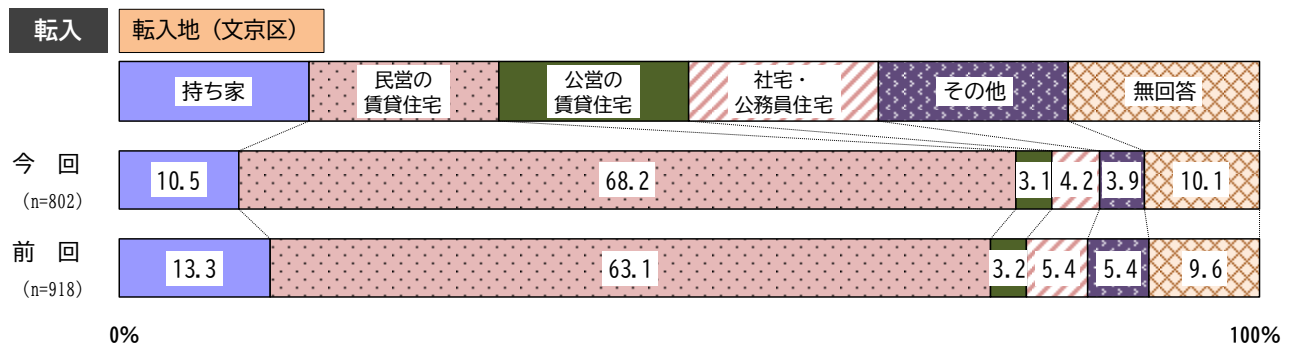
(1) 住宅の種類

① 転入

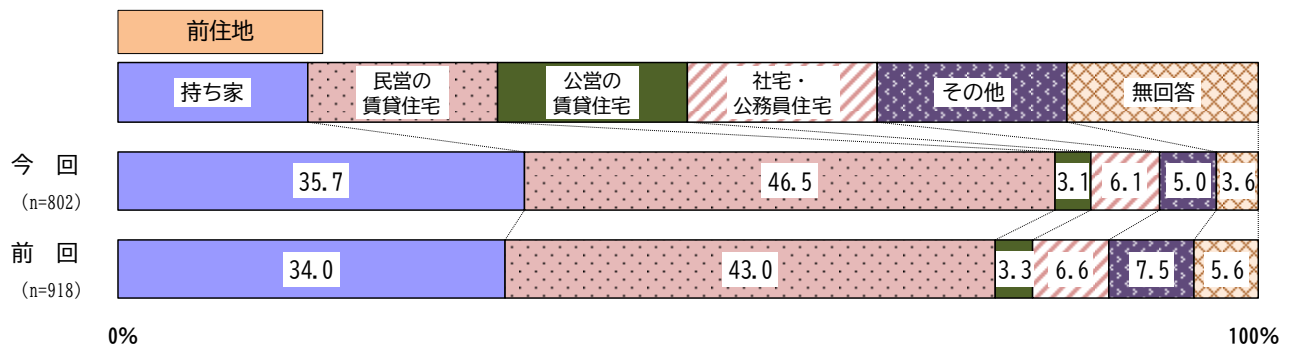
転入者の転入地（文京区）での住宅の種類をみると、「民営の賃貸住宅」（68.2%）がもっとも多く、次いで「持ち家」（10.5%）、「社宅・公務員住宅」（4.2%）、「その他（寮・間借り・下宿等）」（3.9%）の順となっており、前回と比較すると「民営の賃貸住宅」が5.1ポイント増加している。

前住地での住宅の種類でも、「民営の賃貸住宅」（46.5%）がもっとも多く、次いで「持ち家」（35.7%）、「社宅・公務員住宅」（6.1%）、「その他（寮・間借り・下宿等）」（5.0%）の順となっている。前回と比較すると「民営の賃貸住宅」が3.5ポイント増加している。（図Ⅲ-72、73）

図Ⅲ-72 転入地（文京区）の住宅の種類【 転入 】



図Ⅲ-73 前住地の住宅の種類【 転入 】

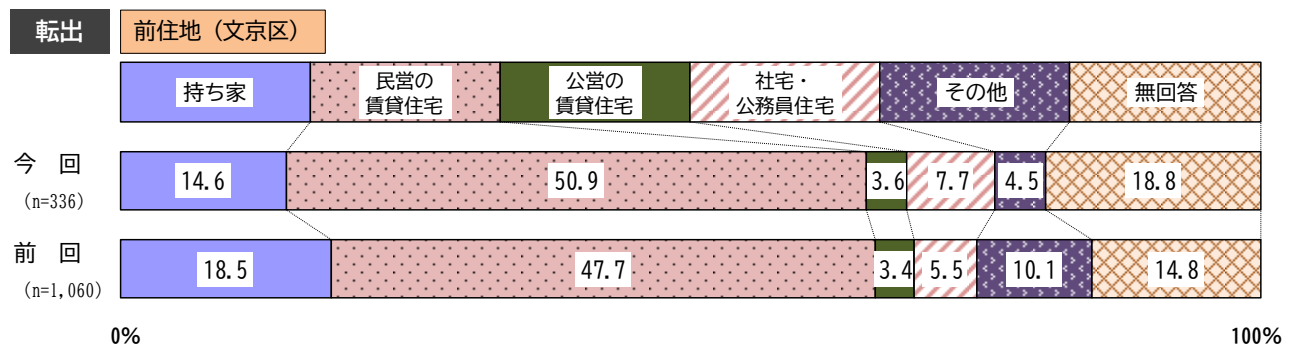


② 転出

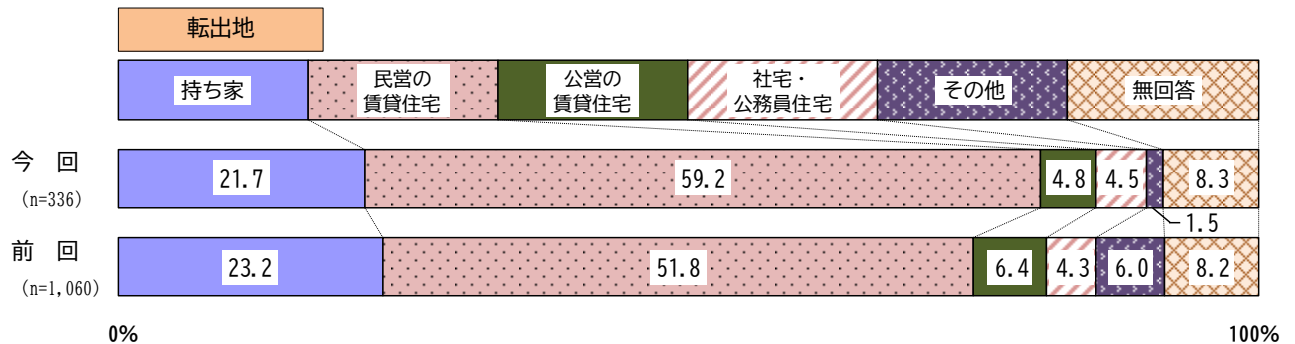
転出者の前住地（文京区）での住宅の種類をみると、「民営の賃貸住宅」（50.9%）がもっとも多く、次いで「持ち家」（14.6%）、「社宅・公務員住宅」（7.7%）、「その他（寮・間借り・下宿等）」（4.5%）の順となっており、前回と比較すると「民営の賃貸住宅」が3.2ポイント増加し、「その他（寮・間借り・下宿等）」が5.6ポイント、「持ち家」が3.9ポイント減少している。

転出地での住宅の種類では、「民営の賃貸住宅」（59.2%）がもっとも多く、次いで「持ち家」（21.7%）、「公営の賃貸住宅」（4.8%）、「社宅・公務員住宅」（4.5%）の順となっている。前回と比較すると「民営の賃貸住宅」が7.4ポイント増加し、「その他（寮・間借り・下宿等）」が4.5ポイント減少している。（図Ⅲ-74、75）

図Ⅲ-74 前住地（文京区）の住宅の種類【転出】



図Ⅲ-75 転出地の住宅の種類【転出】



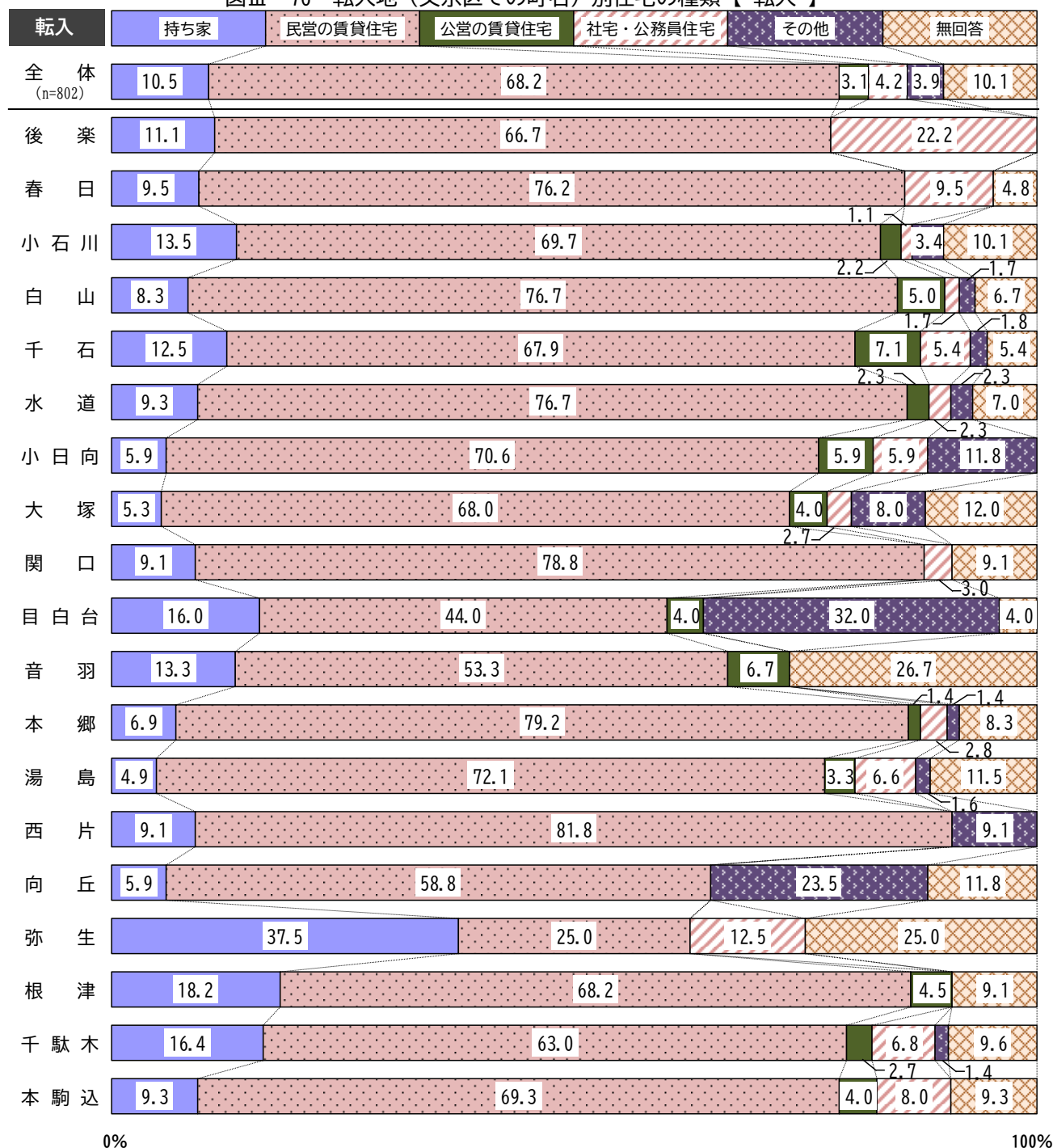
(2) 町名別住宅の種類

① 転入

転入者の文京区での住宅の種類を転入地(町名)別にみると、「民営の賃貸住宅」は西片(81.8%)がもっとも多く、次いで本郷(79.2%)、関口(78.8%)、水道と白山(ともに76.7%)の順となっている。「持ち家」は根津(18.2%)がもっとも多く、次いで千駄木(16.4%)、目白台(16.0%)の順となっている。(後楽、弥生は回答数が10未満のため、コメントを省略している。)

(図Ⅲ-76)

図Ⅲ-76 転入地(文京区での町名)別住宅の種類【転入】



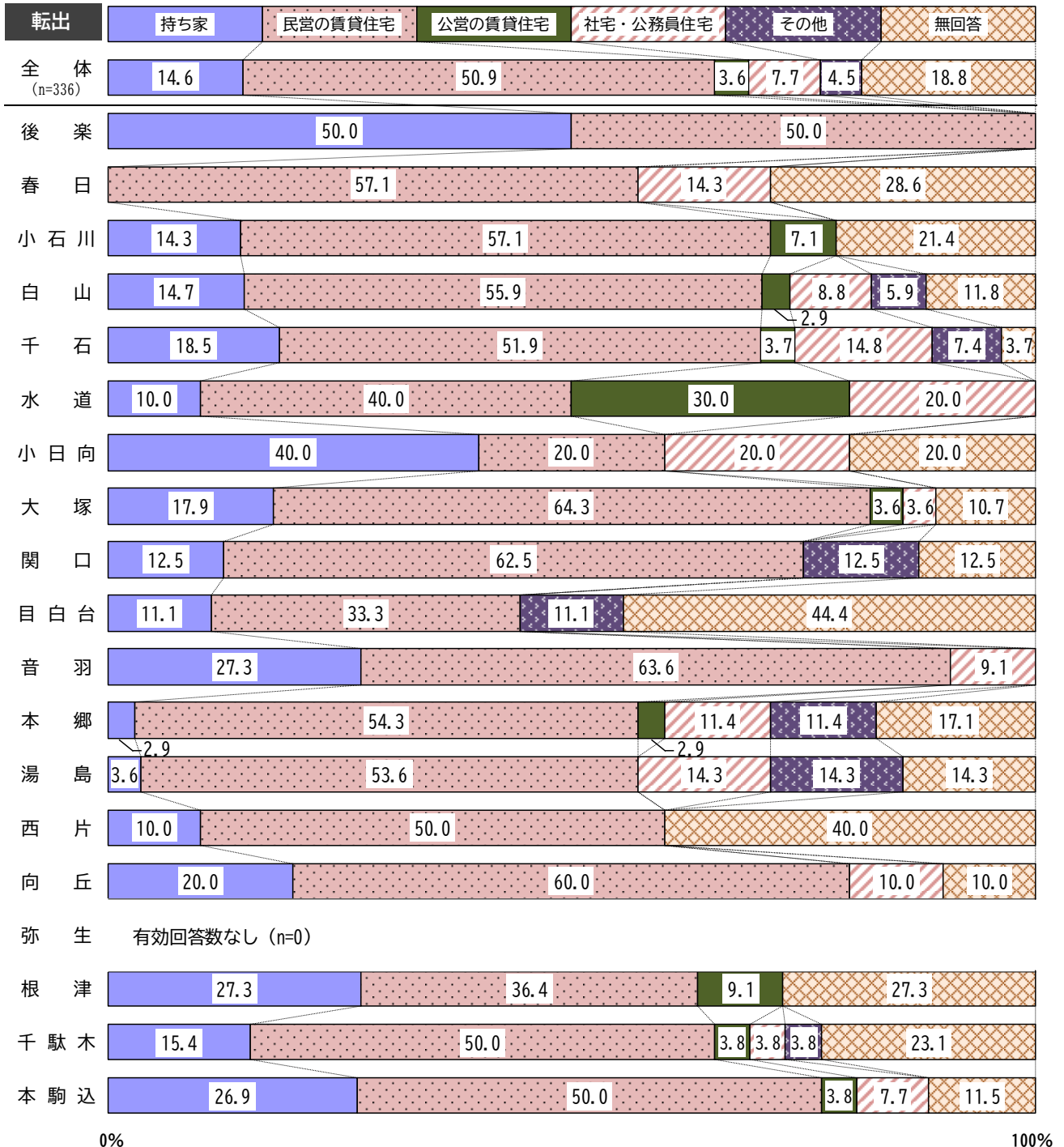
0%

100%

② 転出

転出者の文京区での住宅の種類を転出地(町名)別にみると、「民営の賃貸住宅」は大塚(64.3%)がもっとも多く、次いで音羽(63.6%)、向丘(60.0%)の順となっている。「持ち家」は音羽と根津(ともに27.3%)がもっとも多く、次いで本駒込(26.9%)、向丘(20.0%)の順となっている。(後楽、春日、小日向、関口、目白台、弥生は回答数が10未満のため、コメントを省略している。)(図Ⅲ-77)

図Ⅲ-77 前住地(文京区での町名)別住宅の種類【転出】



0%

100%

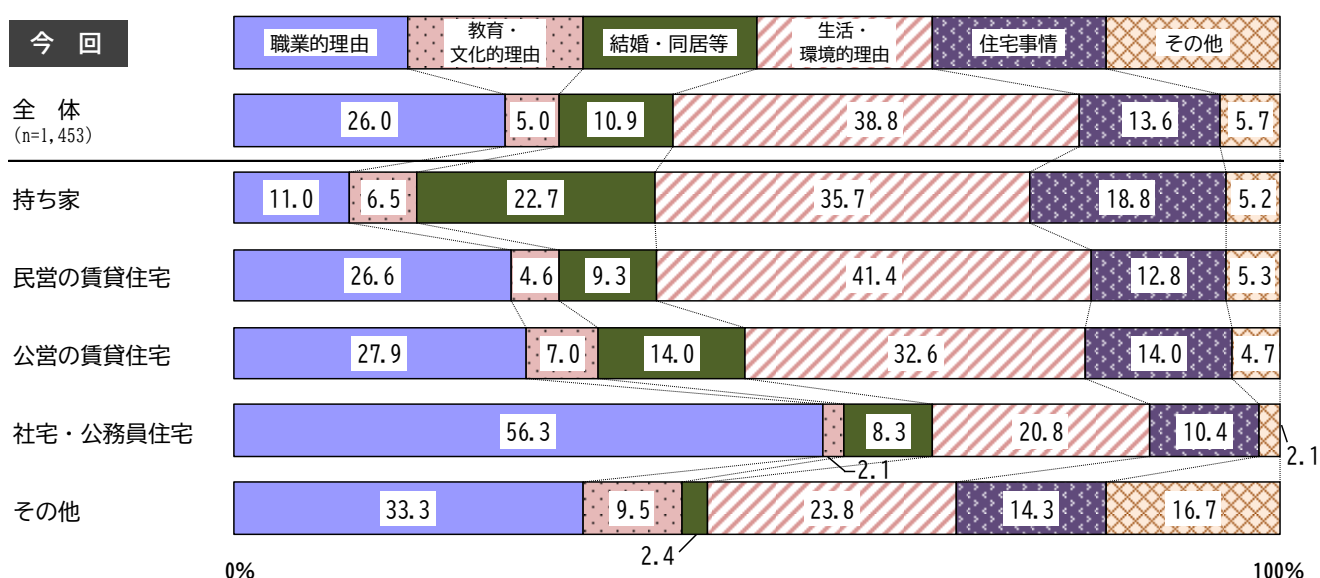
(3) 住宅の種類別移動理由

① 転入

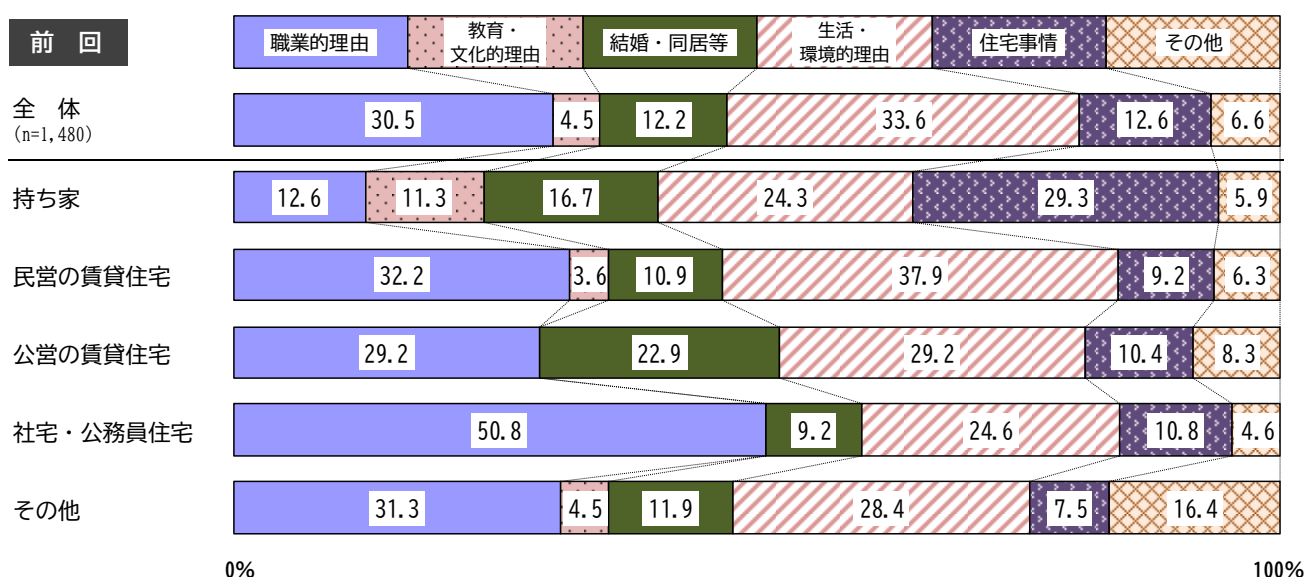
転入地（文京区）での住宅の種類と転入理由の関係をみると、「持ち家」については、「生活・環境的理由」（35.7%）がもっとも多く、次いで「結婚・同居等」（22.7%）、「住宅事情」（18.8%）の順となっている。前回と比較すると、「生活・環境的理由」が11.4ポイント、「結婚・同居等」が6.0ポイント増加し、「住宅事情」が10.5ポイント、「教育・文化的理由」が4.8ポイント減少しており、前回第1位の「住宅事情」が今回は第3位に下降している。

「民営の賃貸住宅」については、「生活・環境的理由」（41.4%）がもっとも多く、次いで「職業的理由」（26.6%）、「住宅事情」（12.8%）の順となっており、前回と比較すると、「住宅事情」が3.6ポイント、「生活・環境的理由」が3.5ポイント増加し、「職業的理由」が5.6ポイント減少している。（図Ⅲ-78、79）

図Ⅲ-78 住宅の種類別転入理由【今回】



図Ⅲ-79 住宅の種類別転入理由【前回】

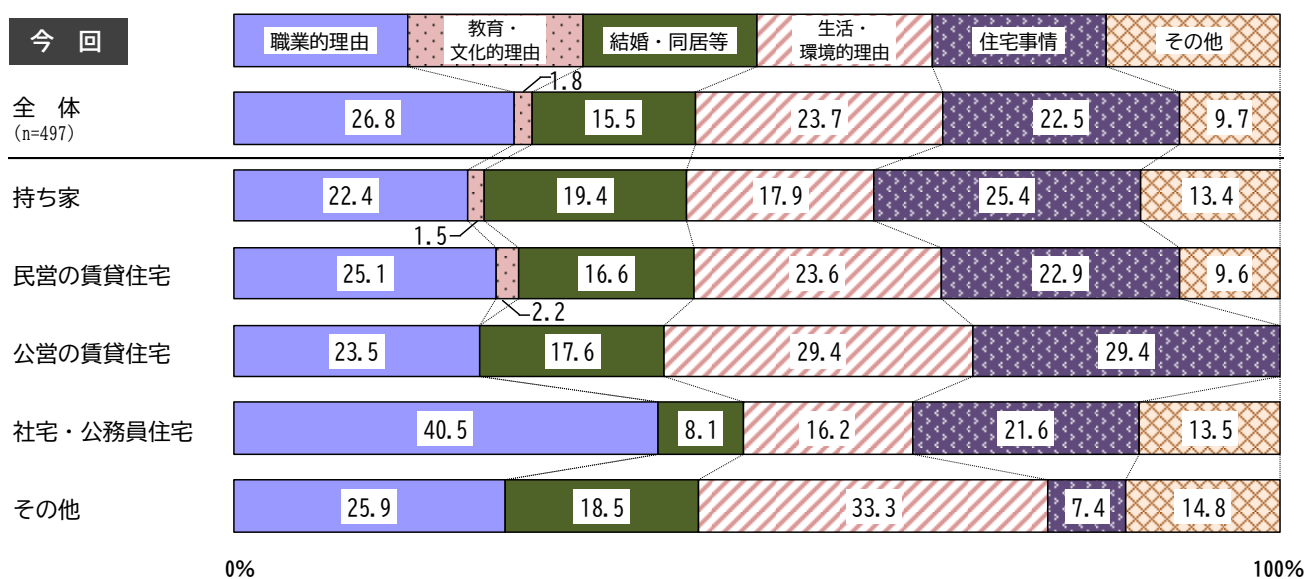


② 転出

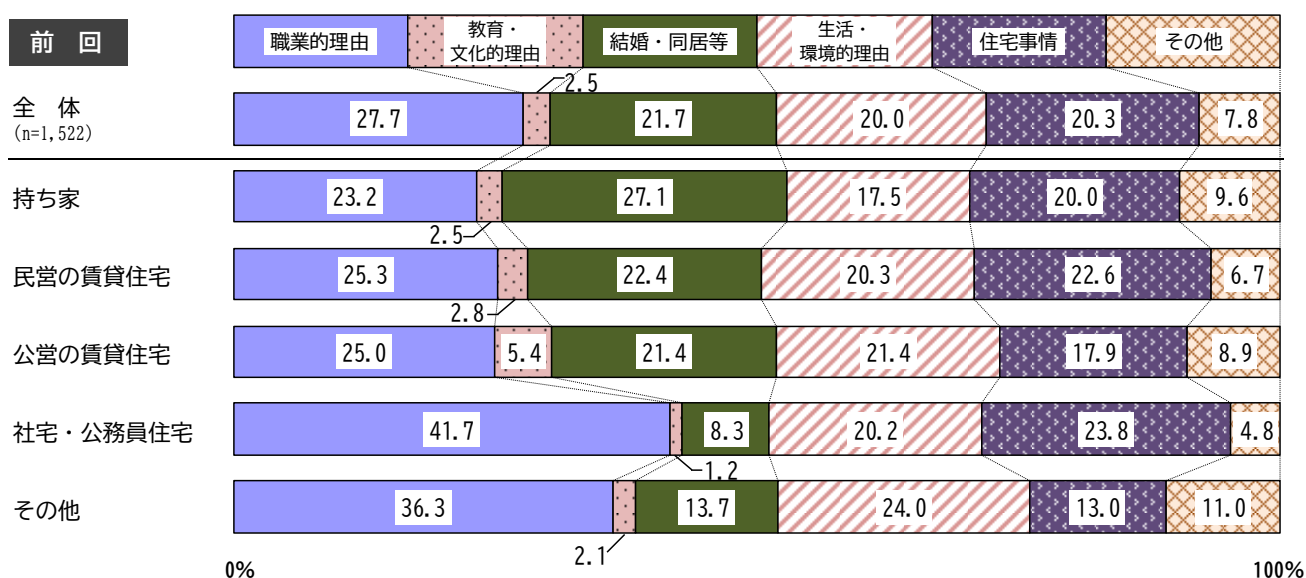
転出者の前住地（文京区）での住宅の種類と転出理由の関係をみると、「持ち家」については、「住宅事情」（25.4％）がもっとも多く、次いで「職業的理由」（22.4％）、「結婚・同居等」（19.4％）の順となっており、前回と比較すると、「住宅事情」が5.4ポイント増加し、「結婚・同居等」が7.7ポイント減少している。

「民営の賃貸住宅」については、「職業的理由」（25.1％）がもっとも多く、次いで「生活・環境的理由」（23.6％）、「住宅事情」（22.9％）の順となっており、前回と比較すると、「生活・環境的理由」が3.3ポイント増加し、「結婚・同居等」が5.8ポイント減少している。（図Ⅲ－80、81）

図Ⅲ－80 住宅の種類別転出理由【今回】



図Ⅲ－81 住宅の種類別転出理由【前回】



(4) 都内間移動

① 転入

都内からの転入者の転入地(文京区)における住宅の種類をみると、「民営の賃貸住宅」(70.1%)がもっとも多く、次いで「持ち家」(9.0%)、「社宅・公務員住宅」と「その他(寮・間借り・下宿等)」(ともに3.6%)の順となっている。前回と比較すると、「民営の賃貸住宅」が8.0ポイント増加し、「持ち家」が5.1ポイント、「その他(寮・間借り・下宿等)」が2.2ポイント減少している。

前住地(文京区外)における住宅の種類をみると、「民営の賃貸住宅」(61.9%)がもっとも多く、次いで「持ち家」(19.7%)、「その他(寮・間借り・下宿等)」(6.3%)の順となっている。前回と比較すると、「民営の賃貸住宅」が4.8ポイント増加し、「その他(寮・間借り・下宿等)」が3.2ポイント減少しているが、前回と同様の順位となっている。(表Ⅲ-11)

② 転出

都内への転出者の前住地(文京区)における住宅の種類をみると、「民営の賃貸住宅」(58.5%)がもっとも多く、次いで「持ち家」(11.0%)、「社宅・公務員住宅」(6.0%)の順となっている。前回と比較すると、「民営の賃貸住宅」が7.9ポイント増加しているが、一方で「持ち家」が8.5ポイント、「その他(寮・間借り・下宿等)」が7.0ポイント減少している。

転出地(文京区外)における住宅の種類をみると、「民営の賃貸住宅」(70.5%)がもっとも多く、次いで「持ち家」(16.5%)、「公営の賃貸住宅」(5.0%)の順となっている。前回と比較すると、「民営の賃貸住宅」が8.2ポイント増加し、それ以外の住宅はいずれも減少している。

(表Ⅲ-11)

③ 移動前後の住宅の種類

転入者、転出者それぞれについての移動前後の住宅の種類を比較すると、転入者については、「持ち家」の割合が前住地(文京区外)より転入地(文京区)で大きく減少している一方で、「民営の賃貸住宅」の割合は前住地(文京区外)より転入地(文京区)で多くなっている。

転出者については、「民営の賃貸住宅」「持ち家」の割合が前住地(文京区内)より転入地(文京区外)で多くなっている。(表Ⅲ-11)

表Ⅲ-11 都内間の移動前後の住宅の種類

区分	転入								転出							
	転入地(文京区内)				前住地(文京区外)				前住地(文京区内)				転出地(文京区外)			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
総数	462	100.0%	412	100.0%	462	100.0%	412	100.0%	589	100.0%	200	100.0%	589	100.0%	200	100.0%
持ち家	65	14.1%	37	9.0%	84	18.2%	81	19.7%	115	19.5%	22	11.0%	109	18.5%	33	16.5%
民営の賃貸住宅	287	62.1%	289	70.1%	264	57.1%	255	61.9%	298	50.6%	117	58.5%	367	62.3%	141	70.5%
公営の賃貸住宅	14	3.0%	11	2.7%	18	3.9%	13	3.2%	20	3.4%	10	5.0%	43	7.3%	10	5.0%
社宅・公務員住宅	20	4.3%	15	3.6%	35	7.6%	23	5.6%	26	4.4%	12	6.0%	22	3.7%	6	3.0%
その他	27	5.8%	15	3.6%	44	9.5%	26	6.3%	65	11.0%	8	4.0%	30	5.1%	3	1.5%
無回答	49	10.6%	45	10.9%	17	3.7%	14	3.4%	65	11.0%	31	15.5%	18	3.1%	7	3.5%

(5) 住宅事情

① 転入

「住宅事情」を移動の理由とした転入者は 13.6%となっており、前回の 12.6%より 1.0 ポイント増加している。(図Ⅲ-32)

前住地(地方)別にみると、関東が全体の 90.9%を占め、その内訳は、東京都が 75.4%、東京都以外の関東 6 県(茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・神奈川県)が 24.6%となっている。前回と比較すると、関東全体では 6.4 ポイント増加しているが、東京都は 4.3 ポイント減少している。(表Ⅲ-12)

② 転出

「住宅事情」を移動の理由とした転出者は 22.5%となっており、前回の 20.3%より 2.2 ポイント増加している。(図Ⅲ-33)

転出地(地方)別にみると、関東が全体の 95.5%を占め、その内訳は、東京都が 82.2%、東京都以外の関東 6 県が 17.8%となっている。前回と比較すると、関東全体で 8.1 ポイント増加している。(表Ⅲ-12)

表Ⅲ-12 「住宅事情」を移動の理由とした者の内訳

地域区分	「住宅事情」を理由とした者							
	転入				転出			
	前回		今回		前回		今回	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
全 国	187	100.0%	197	100.0%	309	100.0%	112	100.0%
関 東	158	84.5%	179	90.9%	270	87.4%	107	95.5%
東 京 都	126	79.7%	135	75.4%	212	78.5%	88	82.2%
区 部	119	75.3%	127	70.9%	206	76.3%	81	75.7%
市 部	7	4.4%	8	4.5%	6	2.2%	7	6.5%
郡・島部	-	-	-	-	-	-	-	-
6 県	32	20.3%	44	24.6%	58	21.5%	19	17.8%

(6) 生活環境

① 転入

「生活・環境的理由」を移動の理由とした転入者は 38.8%となっており、前回の 33.6%より 5.2 ポイント増加している。(図Ⅲ-32)

前住地(地方)別にみると、関東が全体の 79.8%を占め、その内訳は、東京都が 68.0%、東京都以外の関東 6 県が 32.0%となっている。前回と比較すると、関東全体で 5.3 ポイント増加している。(表Ⅲ-13)

② 転出

「生活・環境的理由」を移動の理由とした転出者は 23.7%となっており、前回の 20.0%より 3.7 ポイント増加している。(図Ⅲ-33)

転出地(地方)別にみると、関東が全体の 88.1%を占め、その内訳は、東京都が 82.7%、東京都以外の関東 6 県が 17.3%となっている。前回と比較すると、関東全体ではほぼ同様の割合だが、東京都は 2.0 ポイント減少している。(表Ⅲ-13)

表Ⅲ-13 「生活・環境的理由」を移動の理由とした者の内訳

地域区分	「生活・環境」を理由とした者							
	転入				転出			
	前回		今回		前回		今回	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
全国	498	100.0%	564	100.0%	304	100.0%	118	100.0%
関東	371	74.5%	450	79.8%	269	88.5%	104	88.1%
東京都	247	66.6%	306	68.0%	217	80.7%	86	82.7%
区部	217	58.5%	276	61.3%	204	75.8%	81	77.9%
市部	30	8.1%	30	6.7%	13	4.8%	5	4.8%
郡・島部	-	-	-	-	-	-	-	-
6 県	124	33.4%	144	32.0%	52	19.3%	18	17.3%

6) 就業状況と移動理由

(1) 転入

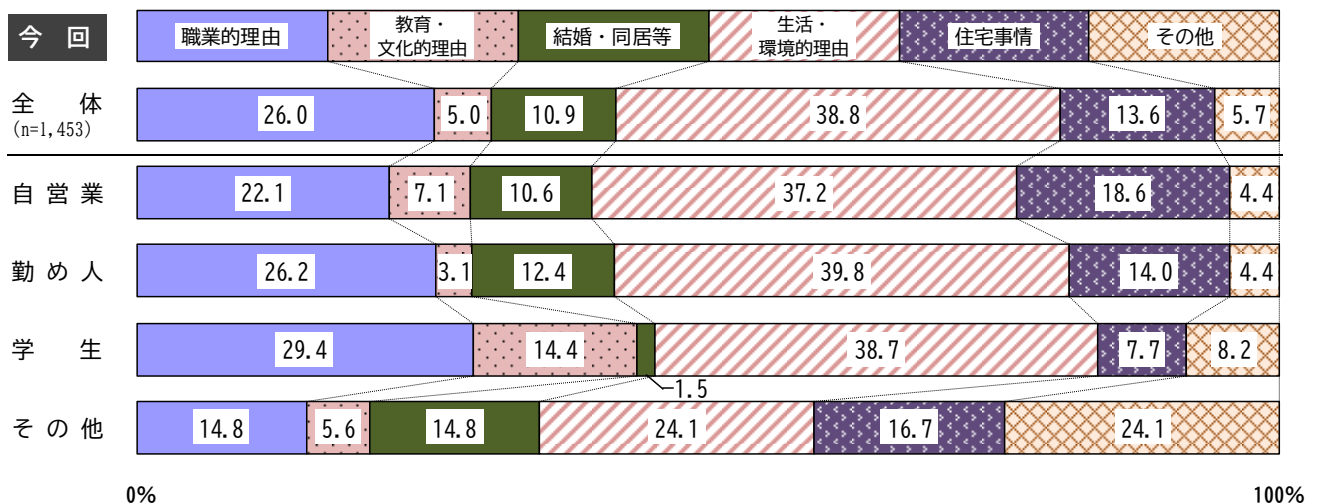
転入世帯主等の就業状況を見ると、勤め人（72.7%）、学生（14.1%）、自営業（7.6%）、その他（4.5%）の順となっている。（図Ⅲ-22）

就業状況別の転入理由を見ると、勤め人は「生活・環境的理由」（39.8%）がもっとも多く、次いで「職業的理由」（26.2%）、「住宅事情」（14.0%）、「結婚・同居等」（12.4%）の順となっている。

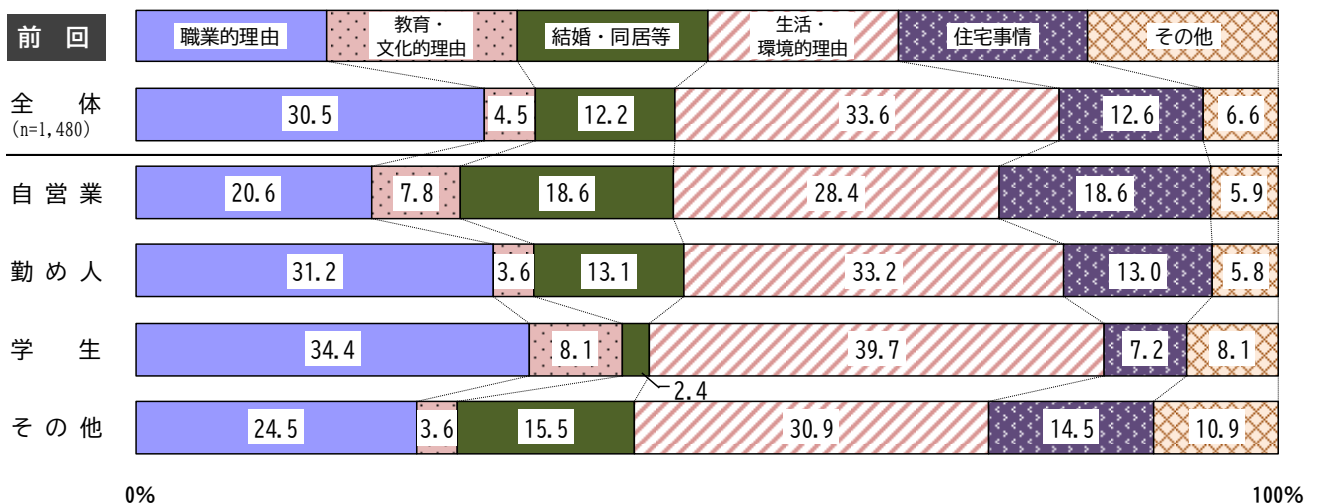
学生は「生活・環境的理由」（38.7%）がもっとも多く、次いで「職業的理由」（29.4%）、「教育・文化的理由」（14.4%）の順となっている。

前回と同様に、自営業は勤め人や学生に比べ「住宅事情」が多く、学生は自営業や勤め人よりも「職業的理由」「教育・文化的理由」の割合が多くなっている。（図Ⅲ-82、83）

図Ⅲ-82 就業状況別転入理由【今回】



図Ⅲ-83 就業状況別転入理由【前回】



(2) 転出

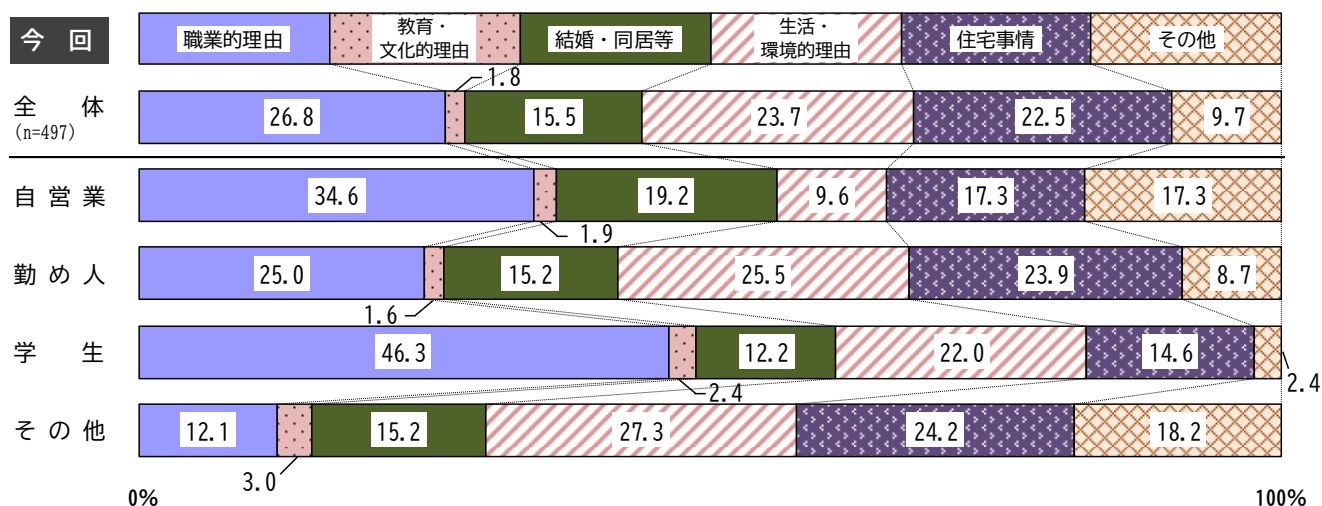
転出世帯主等の就業状況を見ると、勤め人（70.5%）、自営業（12.2%）、学生（8.0%）、その他（6.5%）の順となっている。（図Ⅲ-23）

就業状況別の転出理由をみると、勤め人は「生活・環境的理由」（25.5%）がもっとも多く、次いで「職業的理由」（25.0%）、「住宅事情」（23.9%）、「結婚・同居等」（15.2%）の順となっている。

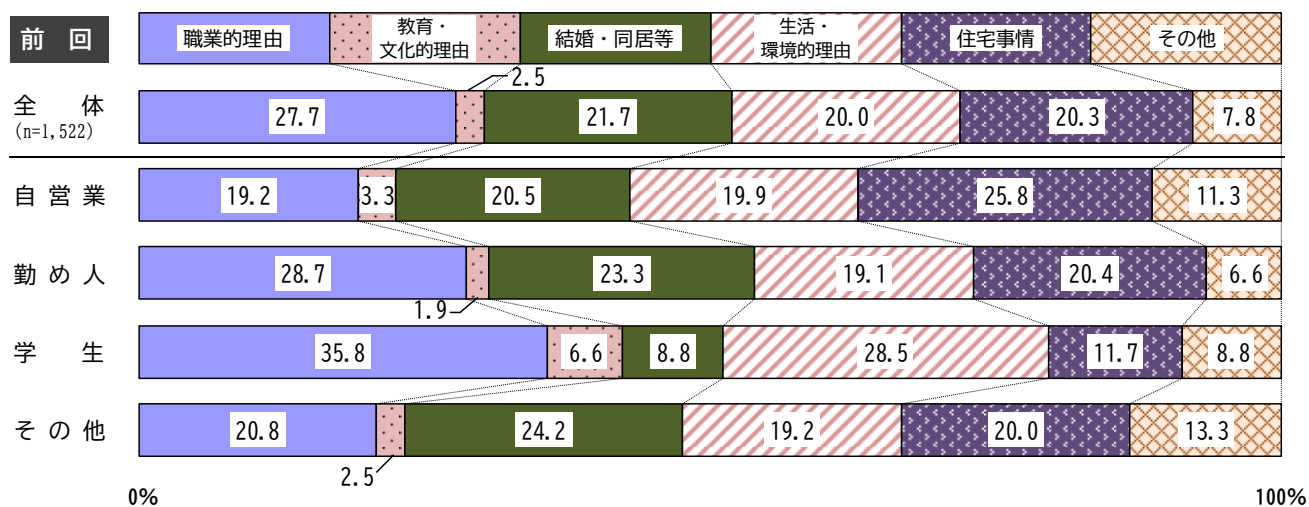
学生は「職業的理由」（46.3%）がもっとも多く、次いで「生活・環境的理由」（22.0%）、「住宅事情」（14.6%）の順となっている。

前回と比較すると、「職業的理由」は自営業で 15.4 ポイント、学生で 10.5 ポイント増加している。（図Ⅲ-82、83）

図Ⅲ-84 就業状況別転出理由【今回】



図Ⅲ-85 就業状況別転出理由【前回】



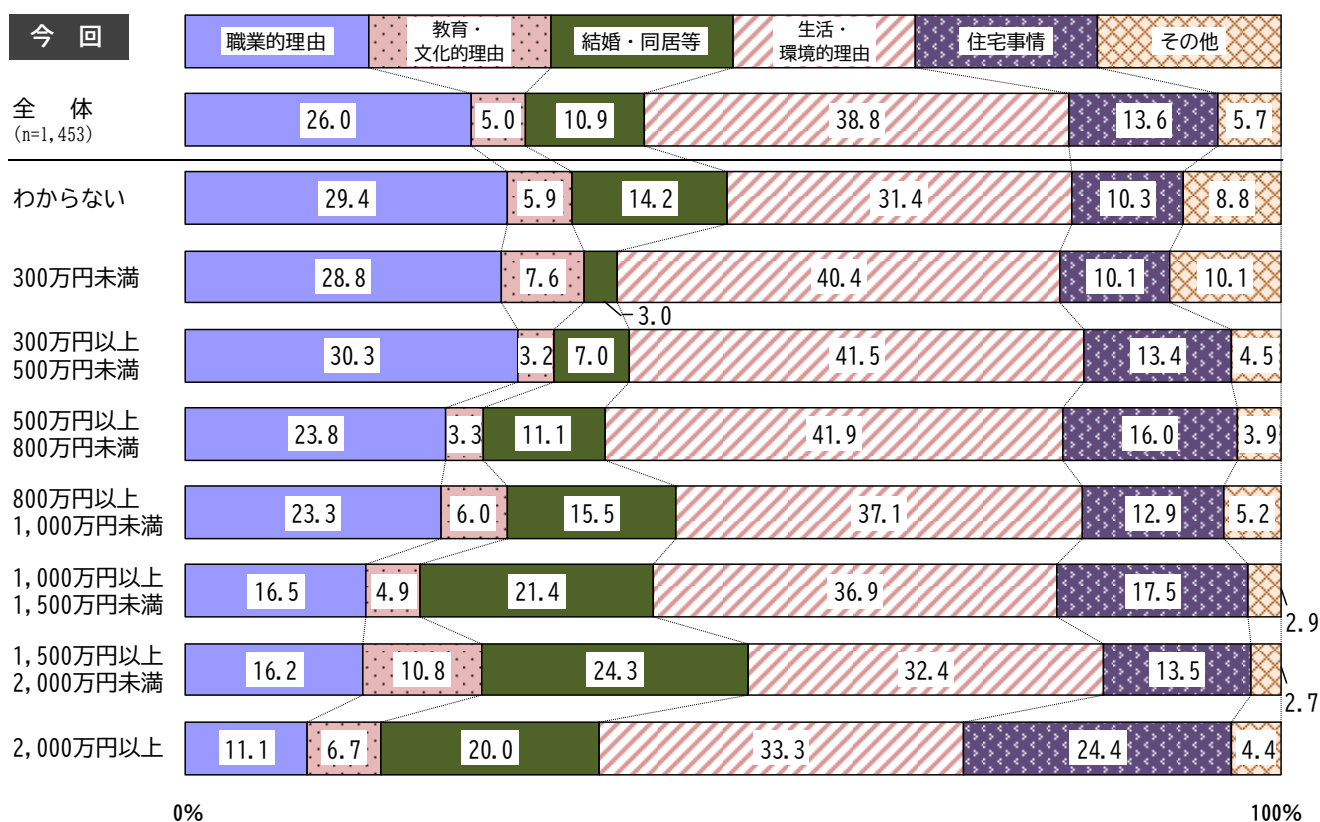
7) 世帯年収と移動理由

(1) 転入

転入世帯主の世帯収入をみると、300万円以上500万円未満(26.4%)、500万円以上800万円未満(20.9%)、300万円未満(14.0%)の順となっている。(図Ⅲ-26)

世帯年収別の転入理由をみると、各世帯収入のいずれも「生活・環境的理由」がもっとも多くなっている。1,000万円未満の各世帯年収はいずれも「職業的理由」が第2位となっており、1,500万円以上2,000万円未満では「結婚・同居等」、2,000万円以上では「住宅事情」が第2位となっている。(図Ⅲ-86)

図Ⅲ-86 世帯年収別転入理由【今回】

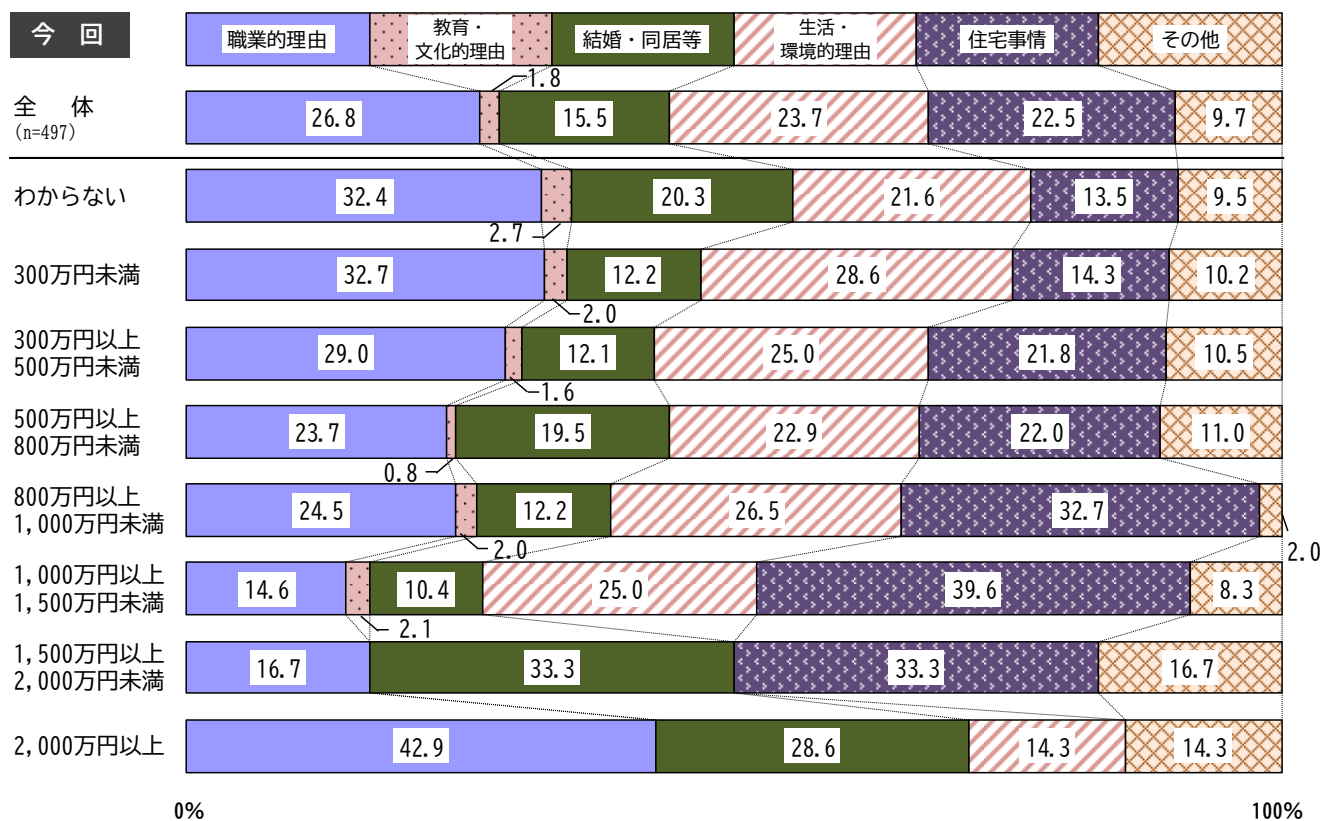


(2) 転出

転出世帯主の世帯収入をみると、300万円以上500万円未満と500万円以上800万円未満（ともに23.2%）、300万円未満（10.4%）の順となっている。（図Ⅲ-27）

世帯年収別の転出理由をみると、800万円未満の各世帯年収はいずれも「職業的理由」がもっとも多く、800万円以上1,000万円未満と1,000万円以上1,500万円未満では「住宅事情」がもっとも多くなっている。（2,000万円以上は回答数が10未満のため、コメントを省略している。）（図Ⅲ-87）

図Ⅲ-87 世帯年収別転出理由【今回】



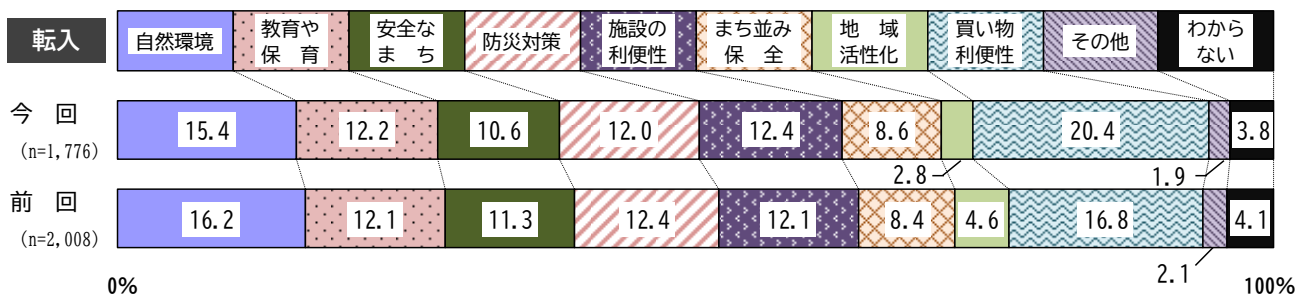
8) 施策要望

(1) 転入・転出別施策要望

① 転入

転入者の施策要望をみると、「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」(20.4%)がもっとも多く、次いで「自然環境をよくすること」(15.4%)、「文化施設等を利用しやすくすること」(12.4%)の順となっている。前回と比較すると、「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」が3.6ポイント増加し、「地域コミュニティの活性化を推進すること」が1.8ポイント減少している。(図Ⅲ-88)

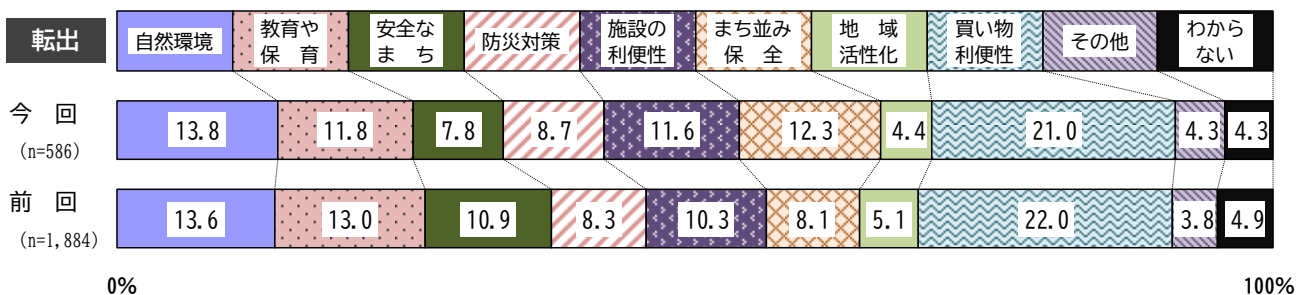
図Ⅲ-88 施策要望【転入】



② 転出

転出者の施策要望をみると、「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」(21.0%)がもっとも多く、次いで「自然環境をよくすること」(13.8%)、「まち並みやまちの雰囲気を活かすための施策を推進すること」(12.3%)の順となっている。「まち並みやまちの雰囲気を活かすための施策を推進すること」が4.2ポイント増加し、「安全に暮らせるまちにすること」が3.1ポイント減少している。(図Ⅲ-89)

図Ⅲ-89 施策要望【転出】



(2) 男女別施策要望

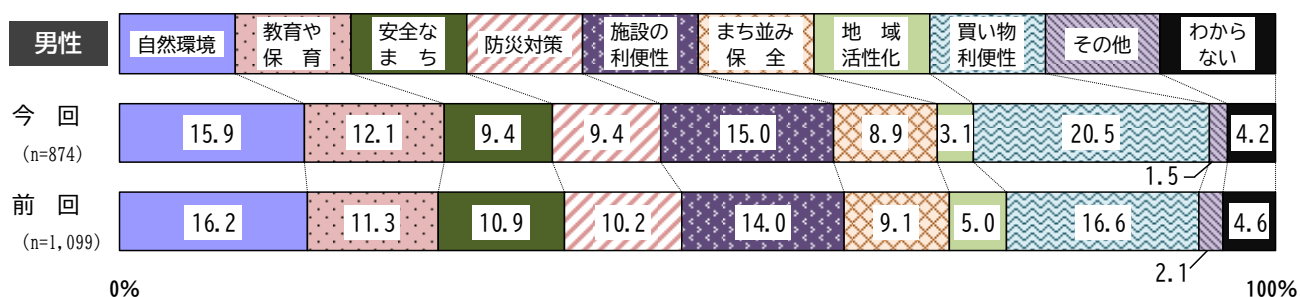
① 転入

転入者の施策要望を男女別にみると、男性では「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」(20.5%)がもっとも多く、次いで「自然環境をよくすること」(15.9%)、「文化施設等を利用しやすくすること」(15.0%)の順となっている。

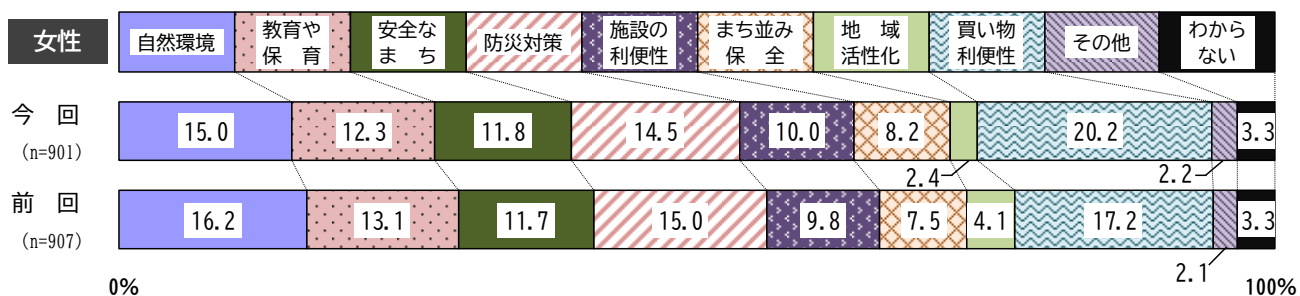
女性では「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」(20.2%)がもっとも多く、次いで「自然環境をよくすること」(15.0%)、「防災対策を強化すること」(14.5%)の順となっている。

前回と比較すると、男女ともに「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」(男性 3.9 ポイント、女性 3.0 ポイント)が増加している。(図Ⅲ-90、91)

図Ⅲ-90 男女別施策要望【転入】【男性】



図Ⅲ-91 男女別施策要望【転入】【女性】



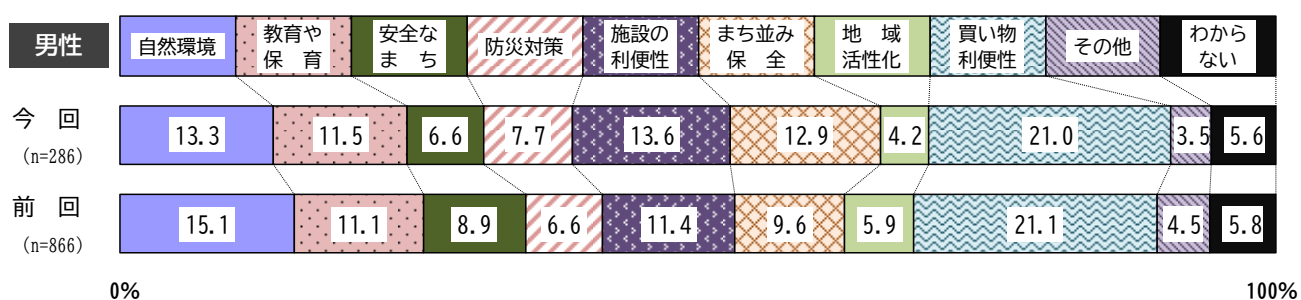
② 転出

転出者の施策要望を男女別にみると、男性では「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」(21.0%)がもっとも多く、次いで「文化施設等を利用しやすくすること」(13.6%)、「自然環境をよくすること」(13.3%)の順となっている。

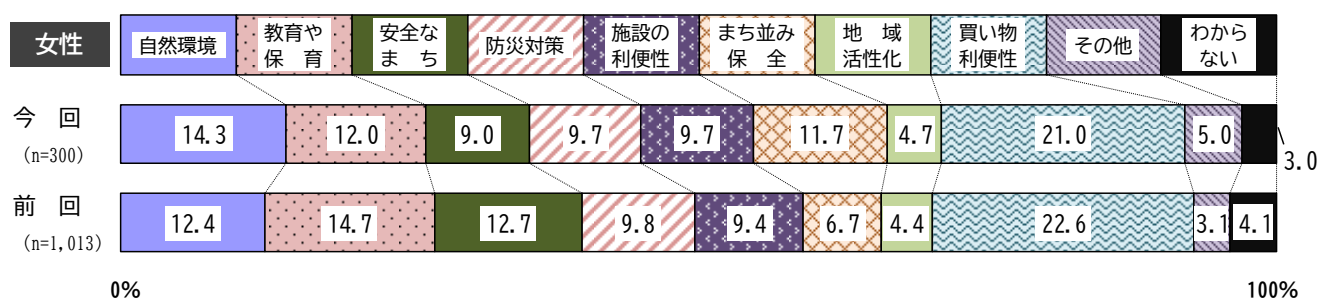
女性では「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」(21.0%)がもっとも多く、次いで「自然環境をよくすること」(14.3%)、「教育や保育などの子育て支援策を充実させること」(12.0%)の順となっている。

前回と比較すると、男女ともに「まち並みやまちの雰囲気を活かすための施策を推進すること」(男性3.3ポイント、女性5.0ポイント)が増加している。(図Ⅲ-92、93)

図Ⅲ-92 男女別施策要望【転出】【男性】



図Ⅲ-93 男女別施策要望【転出】【女性】

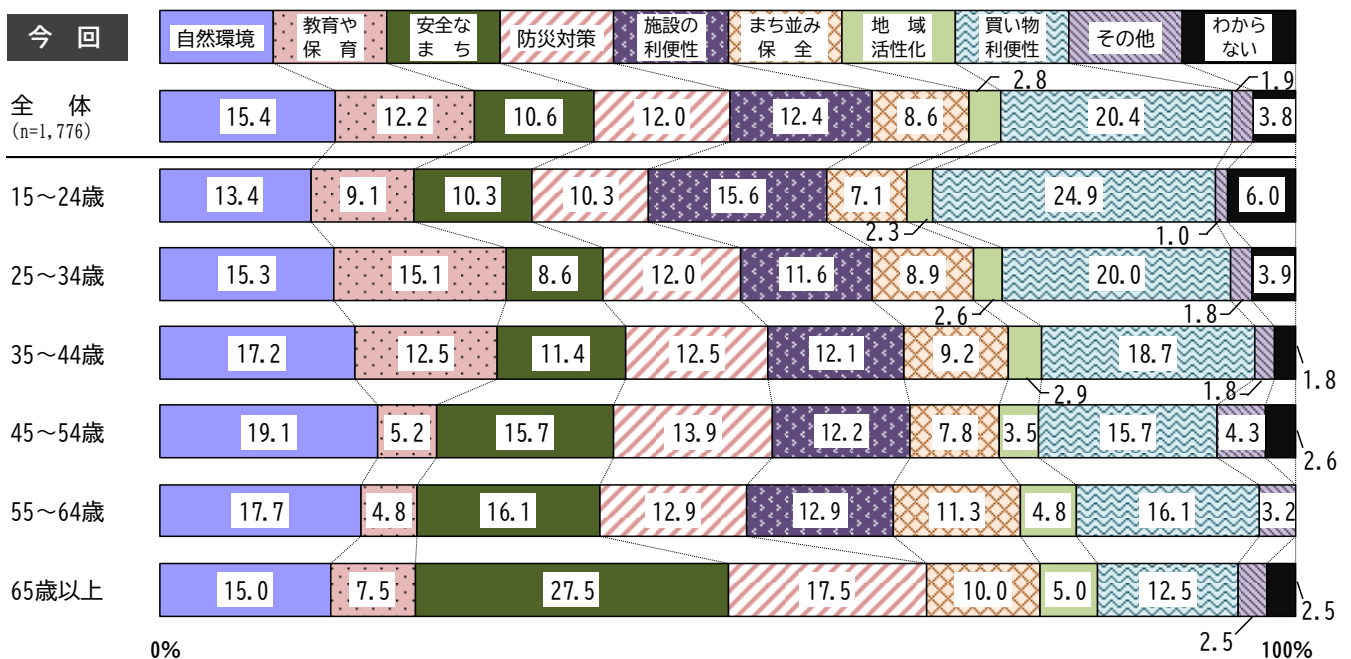


(3) 年齢階層別施策要望

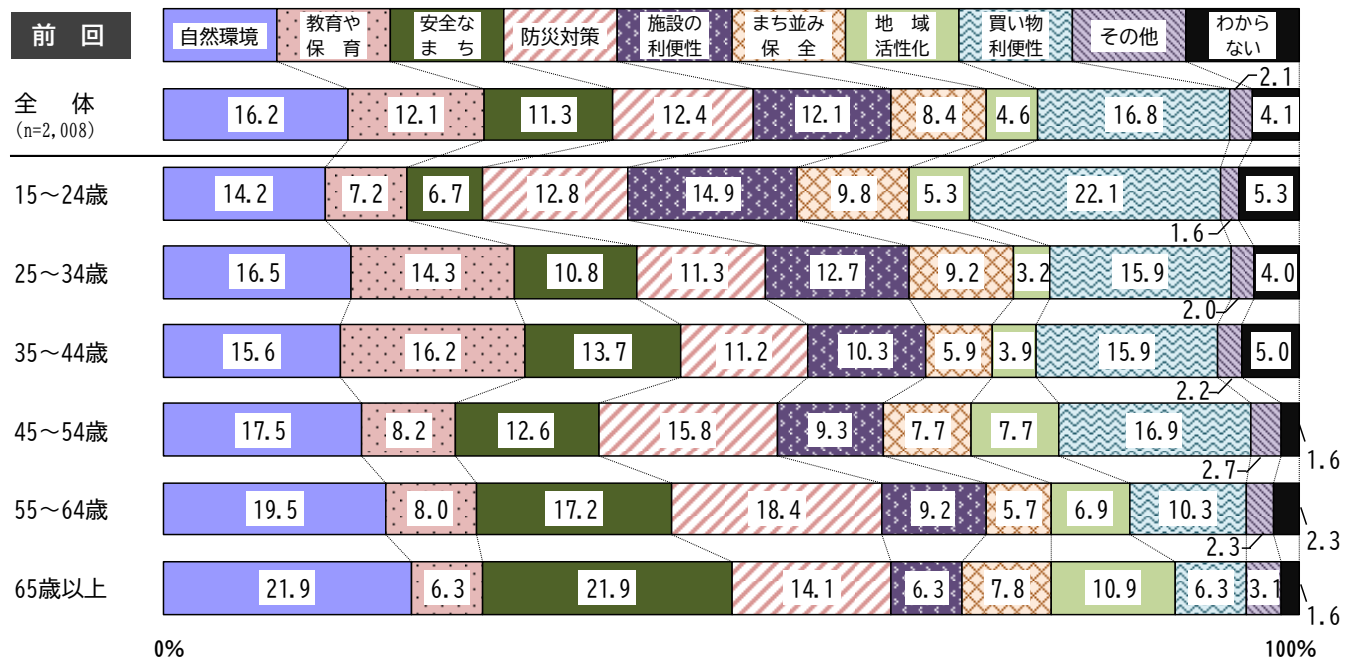
① 転入

転入者の施策要望を年齢階層別にみると、15～24歳、25～34歳、35～44歳では「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」(15～24歳は24.9%、25～34歳は20.0%、35～44歳18.7%)、45～54歳と55～64歳では「自然環境をよくすること」(45～54歳は19.1%、55～64歳は17.7%)、65歳以上では「安全に暮らせるまちにすること」(27.5%)がもっとも多くなっており、25～34歳と35～44歳では「教育や保育などの子育て支援策を充実させること」の割合が、それ以外の各年齢階層より多くなっている。また、おおむね年齢が高くなるほど「安全に暮らせるまちにすること」や「まち並みやまちの雰囲気を活かすための施策を推進すること」の割合が多くなる傾向がみられる。(図Ⅲ-94、95)

図Ⅲ-94 年齢階層別施策要望【転入】【今回】



図Ⅲ-95 年齢階層別施策要望【転入】【前回】

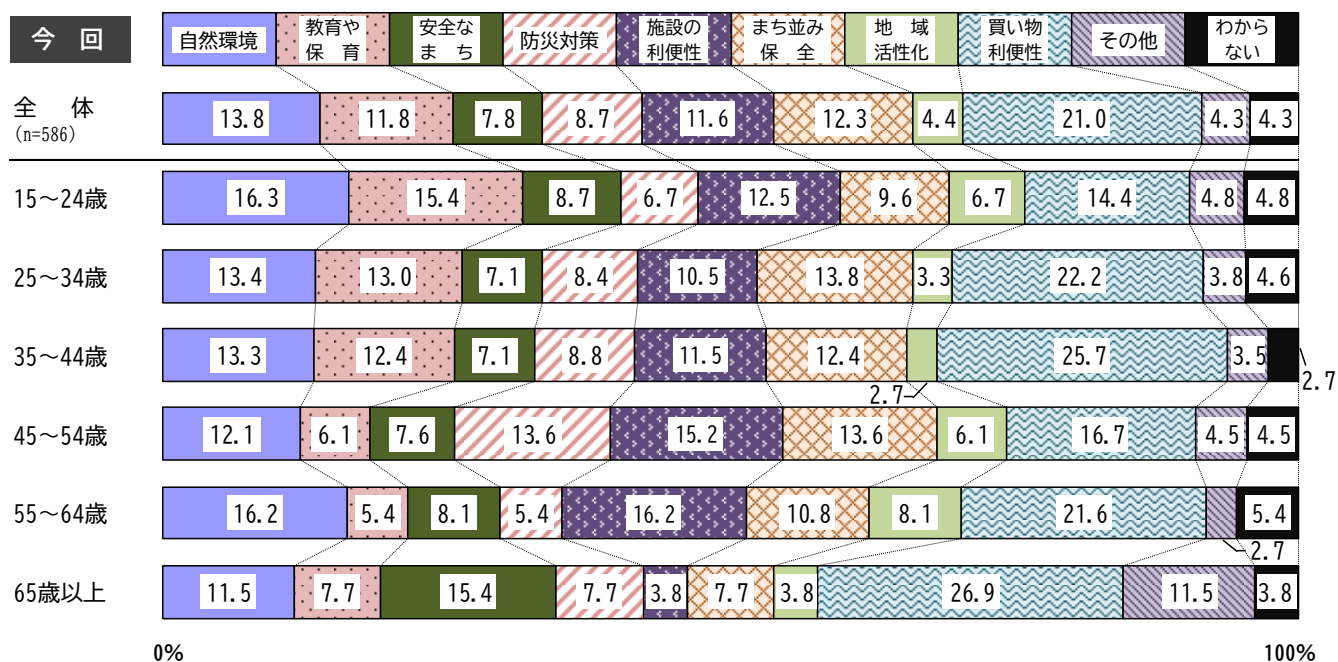


② 転出

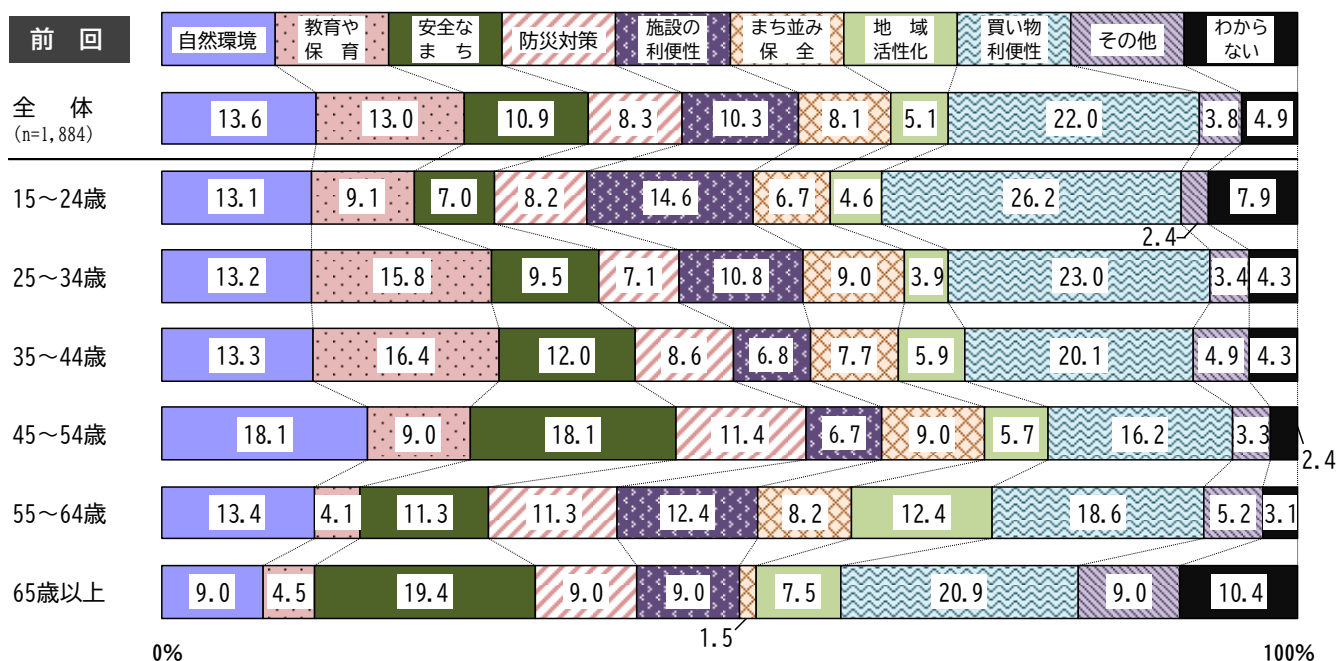
転出者の施策要望を年齢階層別にみると、15～24歳では「自然環境をよくすること」(16.3%)がもっとも多く、15～24歳を除くすべての各年齢階層で「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」(25～34歳は22.2%、35～44歳25.7%、45～54歳は16.7%、55～64歳は21.6%、65歳以上は26.9%)がもっとも多くなっている。45～54歳では「防災対策を強化すること」(13.6%)が、それ以外の各年齢階層より多くなっている。また、おおむね年齢が低くなるほど「教育や保育などの子育て支援策を充実させること」の割合が多くなり、おおむね年齢が高くなるほど「安全に暮らせるまちにすること」の割合が多くなる傾向がみられる。

(図Ⅲ-96、97)

図Ⅲ-96 年齢階層別施策要望【転出】【今回】



図Ⅲ-97 年齢階層別施策要望【転出】【前回】

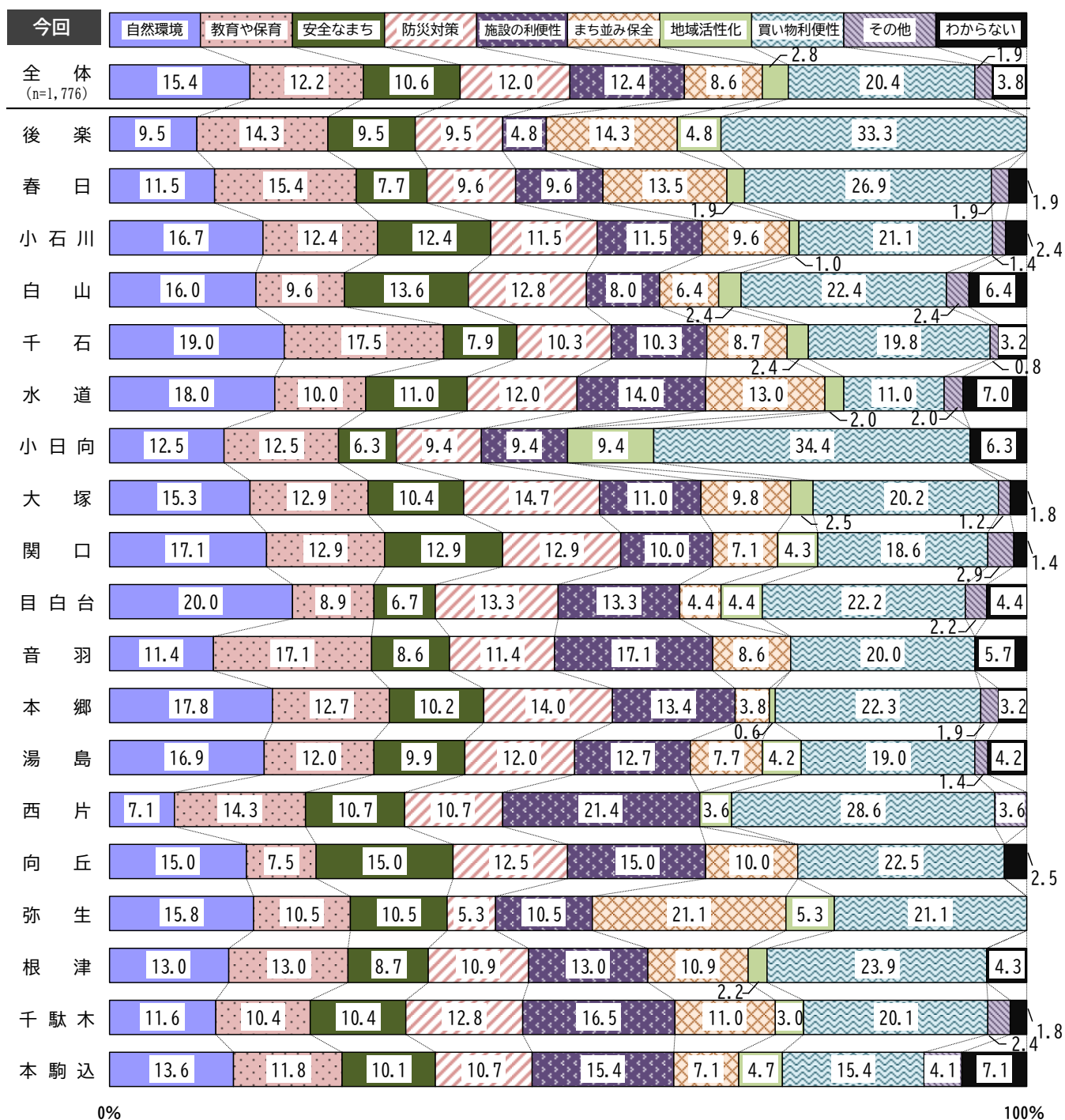


(4) 町名別施策要望

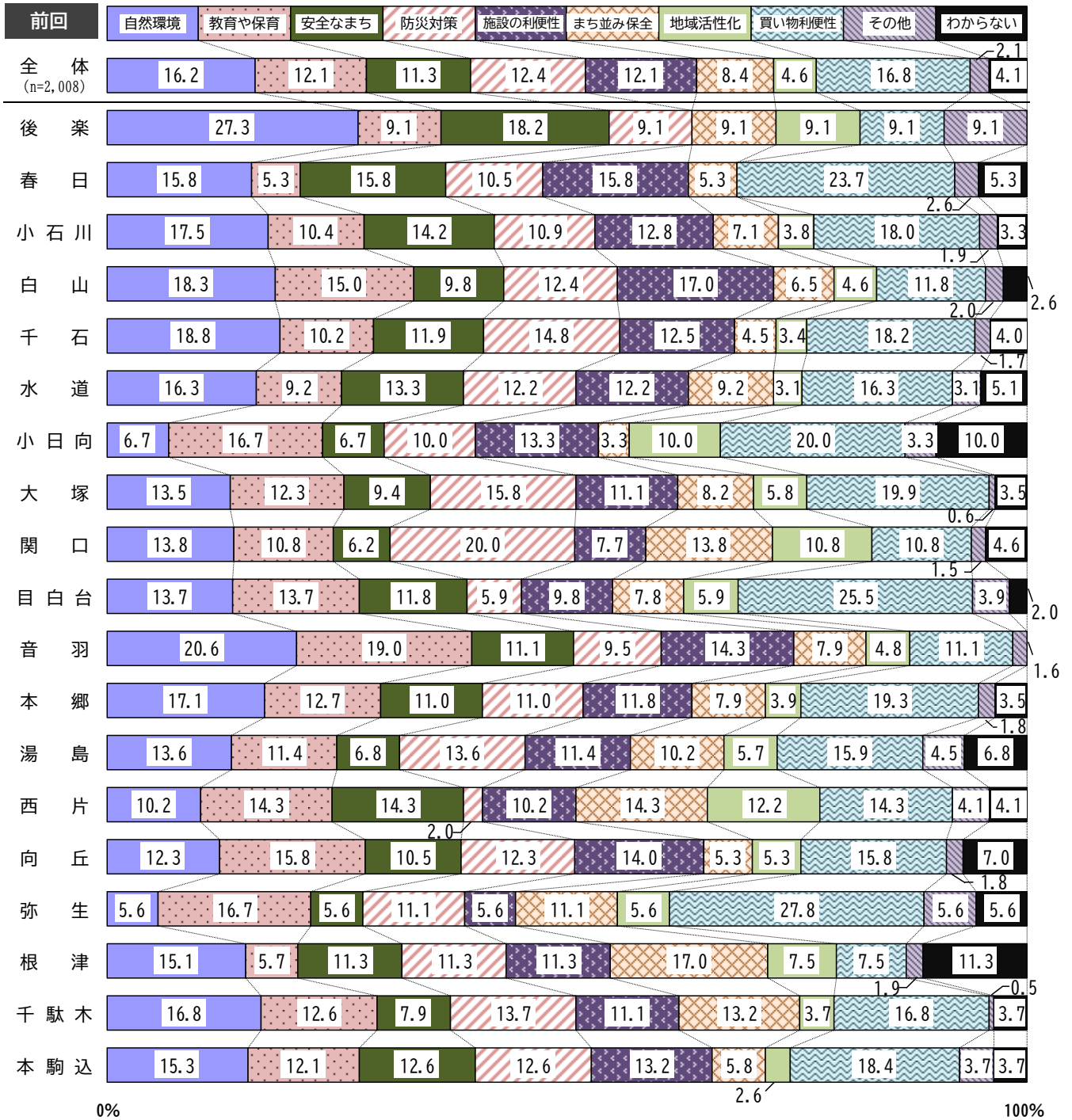
① 転入

転入者の施策要望を町名別にみると、19 地区中 16 地区で「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」が、水道の 1 地区で「自然環境をよくすること」がもっとも多くなっている。また、弥生では「まち並みやまちの雰囲気を活かすための施策を推進すること」と「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」、本駒込では「文化施設等を利用しやすくすること」と「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」が同率でもっとも多くなっている。(図Ⅲ-98、99)

図Ⅲ-98 町名別施策要望【転入】【今回】



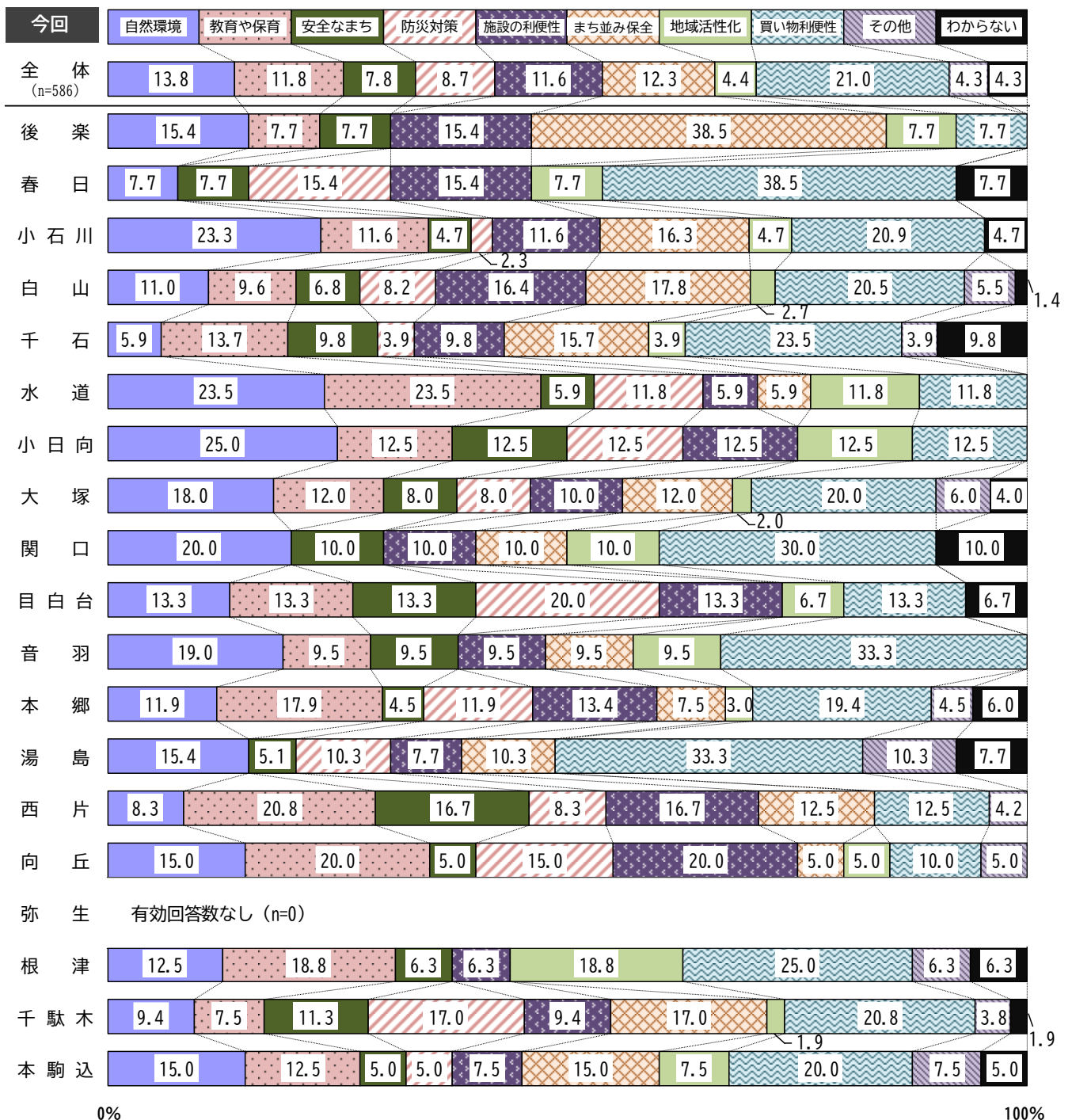
図Ⅲ-99 町名別施策要望【転入】【前回】



② 転出

転出者の施策要望を町名別にみると、19 地区中 11 地区で「買い物に便利で活気のあるまちをつくること」が、小石川の1地区で「自然環境をよくすること」、西片の1地区で「教育や保育などの子育て支援策を充実させること」、後楽の1地区で「まち並みやまちの雰囲気を活かすための施策を推進すること」がもっとも多くなっている。また、向丘では「教育や保育などの子育て支援策を充実させること」と「文化施設等を利用しやすくすること」が、水道では「自然環境をよくすること」と「教育や保育などの子育て支援策を充実させること」が同率でもっとも多くなっている。(図Ⅲ-100、101)

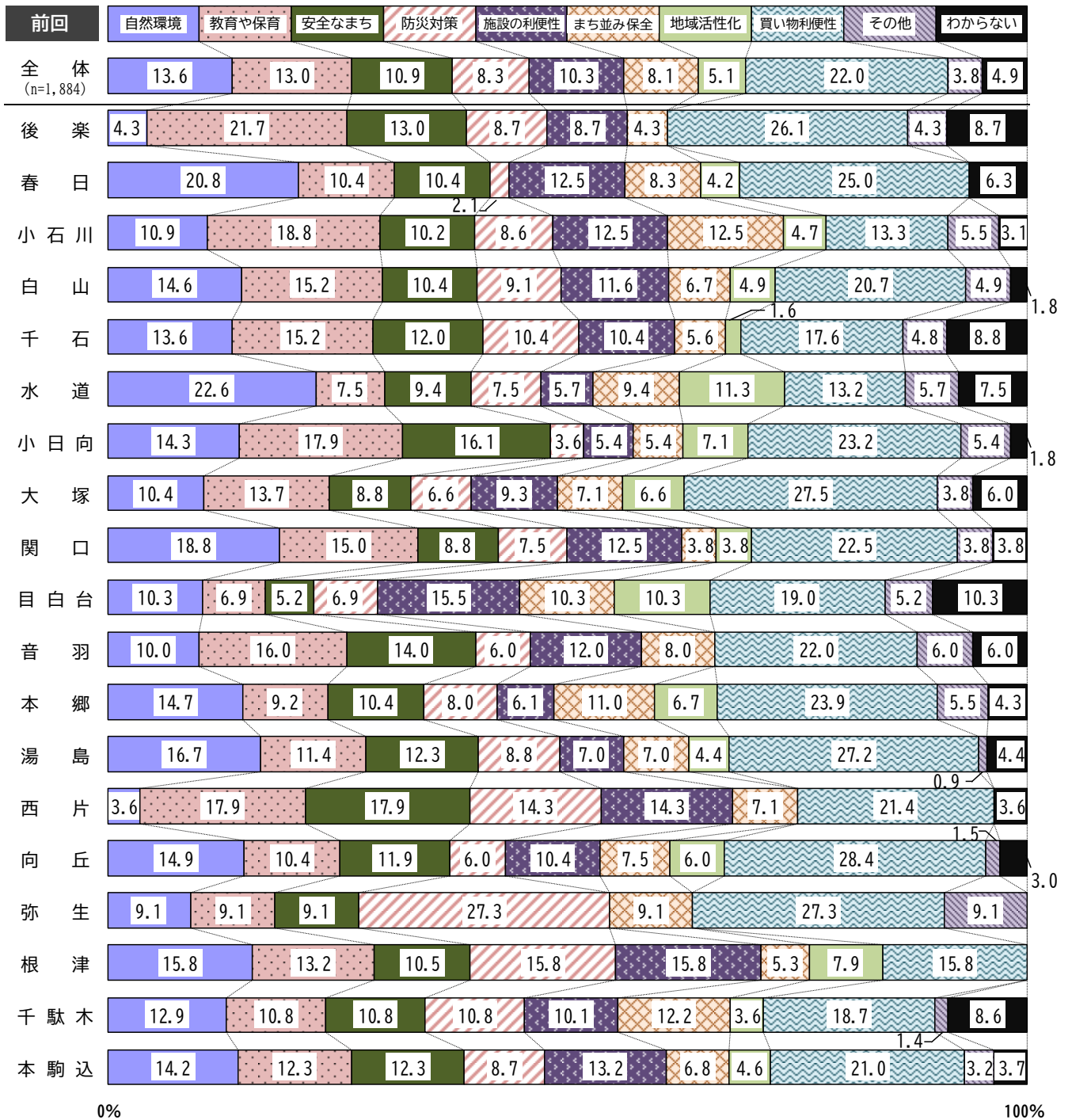
図Ⅲ-100 町名別施策要望【転出】【今回】



0%

100%

図Ⅲ-101 町名別施策要望【転出】【前回】



IV 調査結果の数表

(表Ⅳ-1) 文京区移動人口調査集計結果 (転入)

[回収状況]

対象件数	5,732	回収数	802	回収率	14.0%
------	-------	-----	-----	-----	-------

	調査数	1 25 45 歳	2 35 45 歳	3 45 45 歳	4 55 45 歳	5 65 45 歳	6 5 歳 以上	無 回 答
回答者の 年齢構成	802	192 100.0%	389 23.9%	118 48.5%	55 14.7%	24 6.9%	16 3.0%	8 2.0%
世帯主(代表者 の年齢構成)	802	161 100.0%	351 20.1%	115 43.8%	70 14.3%	50 8.7%	29 6.2%	26 3.6%

	調査数	持 ち 家	賃 貸 住 宅	民 営 の 住 宅	賃 貸 住 宅	公 営 の 住 宅	社 宅 ・ 公 務 員 住 宅	そ の 他	無 回 答
今度住む家	802	84 10.5%	547 68.2%	25 3.1%	34 4.2%	31 3.9%	81 10.1%		
今まで 住んでいた家	802	286 35.7%	373 46.5%	25 3.1%	49 6.1%	40 5.0%	29 3.6%		

	調査数	転 職 等 ・ 転 勤 等	結 婚 等	同 居 や 子 と	親 や 子 と	購 入 の 新 築 ・	家 の 保 育	教 育 や 保 育	住 宅 条 件 の よ い	日 常 の 生 活 環 境	霧 困 気	ま ち 並 み や ま ち 活 気 の あ る	緑 や 公 園	通 学 等 ・ 教 育 施 設 等	で 治 安 や 防 災	そ の 他
転入理由(※)	1,453	378 26.0%	119 8.2%	39 2.7%	26 1.8%	35 2.4%	171 11.8%	63 4.3%	89 6.1%	41 2.8%	277 19.1%	38 2.6%	94 6.5%	83 5.7%		

	調査数	続 げ た と い 住 み	も の 時 的 な わ か ら な い	無 回 答
定住志向	802	251 31.3%	249 31.0%	21 2.6%

	調査数	自 然 環 境	教 育 や 保 育	せ る ま に 暮 ら す	安 全 に 暮 ら す	防 災 対 策	文 化 施 設 等	な ど の 並 み 全 全	地 域 活 性 化	ま ち づ く り	活 気 の あ る	そ の 他	わ か ら な い
施策要望(※)	1,776	274 15.4%	217 12.2%	188 10.6%	213 12.0%	221 12.4%	152 8.6%	49 2.8%	362 20.4%	33 1.9%	67 3.8%		

	調査数	自 営 業	勤 め 人	学 生	そ の 他	無 回 答
就業状況	802	61 7.6%	583 72.7%	113 14.1%	36 4.5%	9 1.1%

	調査数	文 京 区 内	他 の 区 部	都 内 市 町 村	都 外	無 回 答
事業所(勤め先)又は 通学先の所在地	802	177 22.1%	516 64.3%	35 4.4%	32 4.0%	42 5.2%

	調査数	わ か ら な い	3 0 0 万 円 未 満	5 3 0 0 万 円 未 満	8 5 0 0 万 円 未 満	1 8 0 0 万 円 未 満	1 1 5 0 0 万 円 未 満	2 1 0 0 万 円 未 満	2 0 0 万 円 未 満	無 回 答
世帯年収	802	130 16.2%	112 14.0%	212 26.4%	168 20.9%	61 7.6%	57 7.1%	20 2.5%	24 3.0%	18 2.2%

※転入理由及び施策要望については、複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ-2) 文京区移動人口調査集計結果 (転出)

[回収状況]

対象件数	3,839	回収数	336	回収率	8.8%
------	-------	-----	-----	-----	------

	調査数	1 2 5 4 5 歳	2 3 5 4 5 歳	3 4 5 4 5 歳	4 5 5 4 5 歳	5 6 5 4 5 歳	6 5 5 4 5 歳以上	無 回 答
回答者の 年齢構成	336	61 18.2%	140 41.7%	63 18.8%	36 10.7%	18 5.4%	14 4.2%	4 1.2%
世帯主(代表者 の年齢構成)	336	46 13.7%	132 39.3%	52 15.5%	38 11.3%	26 7.7%	21 6.3%	21 6.3%

	調査数	持 ち 家	賃 貸 民 営 住 宅	賃 貸 公 営 住 宅	公 社 住 宅 ・ 公 務 員 住 宅	そ の 他	無 回 答
今度住む家	336	49 14.6%	171 50.9%	12 3.6%	26 7.7%	15 4.5%	63 18.8%
今まで 住んでいた家	336	73 21.7%	199 59.2%	16 4.8%	15 4.5%	5 1.5%	28 8.3%

	調査数	転 職 等 ・	結 婚 等	同 居 や 子 と	親 や 子 と	購 入 の 新 築 ・	家 の 保 育	教 育 や 保 育	住 宅 条 件 の よ い	日 常 の 生 活 環 境	霧 困 気	ま ち 並 み や	緑 や 公 園	通 学 等 ・	教 育 施 設 等	で 治 安 や 防 災	そ の 他
転出理由(※)	497	133 26.8%	45 9.1%	32 6.4%	29 5.8%	5 1.0%	83 16.7%	23 4.6%	14 2.8%	19 3.8%	59 11.9%	4 0.8%	3 0.6%	48 9.7%			

	調査数	た 続 け た か つ み	も 一 時 的 な 住 み	わ か ら な い	無 回 答
定住志向	336	202 60.1%	88 26.2%	33 9.8%	13 3.9%

	調査数	自 然 環 境	教 育 や 保 育	せ る ま ち 暮 ら	安 全 に 暮 ら	防 災 対 策	文 化 施 設 等	な ど の 並 み 全	地 域 活 性 化	ま ち 活 気 の あ る	そ の 他	わ か ら な い
施策要望(※)	586	81 13.8%	69 11.8%	46 7.8%	51 8.7%	68 11.6%	72 12.3%	26 4.4%	123 21.0%	25 4.3%	25 4.3%	

	調査数	自 営 業	勤 め 人	学 生	そ の 他	無 回 答
就業状況	336	41 12.2%	237 70.5%	27 8.0%	22 6.5%	9 2.7%

	調査数	文 京 区 内	他 の 区 部	都 内 市 町 村	都 外	無 回 答
事業所(勤め先)又は通学先の所在地	336	71 21.1%	196 58.3%	11 3.3%	27 8.0%	31 9.2%

	調査数	わ か ら な い	3 0 0 0 万 円 未 満	5 3 0 0 万 円 未 満	8 5 0 0 万 円 未 満	1 8 0 0 万 円 未 満	1 1 5 0 0 0 万 円 未 満	2 1 0 0 万 円 未 満	2 0 0 0 万 円 未 満	無 回 答
世帯年収	336	51 15.2%	35 10.4%	78 23.2%	78 23.2%	30 8.9%	29 8.6%	9 2.7%	6 1.8%	20 6.0%

※転出理由及び施策要望については、複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ－3) 前住地（地方）別転入理由

	調査数	職業的理由	文 教 育 的 理由	同 結 居 婚 等 理由	環 生 境 的 理由	住 宅 事 情	そ の 他	
合 計	1,453 100.0%	378 26.0%	73 5.0%	158 10.9%	564 38.8%	197 13.6%	83 5.7%	
前 住 地 (地 方) 別	北海道地方	25 100.0%	10 40.0%	- -	1 4.0%	11 44.0%	3 12.0%	- -
	東北地方	29 100.0%	10 34.5%	3 10.3%	1 3.4%	12 41.4%	1 3.4%	2 6.9%
	関東地方	1119 100.0%	226 20.2%	55 4.9%	141 12.6%	450 40.2%	179 16.0%	68 6.1%
	北陸地方	17 100.0%	7 41.2%	1 5.9%	- -	8 47.1%	- -	1 5.9%
	中部地方	71 100.0%	28 39.4%	- -	4 5.6%	27 38.0%	5 7.0%	7 9.9%
	近畿地方	94 100.0%	45 47.9%	6 6.4%	7 7.4%	30 31.9%	5 5.3%	1 1.1%
	中国地方	16 100.0%	10 62.5%	1 6.3%	- -	5 31.3%	- -	- -
	四国地方	15 100.0%	7 46.7%	2 13.3%	1 6.7%	3 20.0%	2 13.3%	- -
	九州地方	30 100.0%	15 50.0%	1 3.3%	- -	13 43.3%	1 3.3%	- -
	沖縄地方	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	国 外	31 100.0%	15 48.4%	4 12.9%	2 6.5%	5 16.1%	1 3.2%	4 12.9%
	無回答	6 100.0%	5 83.3%	- -	1 16.7%	- -	- -	- -

※複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ－4) 前住地（都内）別転入理由

	調査数	職業的理由	文 教 育 的 理由	同 結 居 婚 等 理由	環 生 境 的 理由	住 宅 事 情	そ の 他
合 計	762 100.0%	123 16.1%	43 5.6%	104 13.6%	306 40.2%	135 17.7%	51 6.7%
区 部	690 100.0%	104 15.1%	38 5.5%	98 14.2%	276 40.0%	127 18.4%	47 6.8%
市 部	72 100.0%	19 26.4%	5 6.9%	6 8.3%	30 41.7%	8 11.1%	4 5.6%
郡・島部	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

※複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ－５) 就業状況・世帯年収別転入理由

		調査数	職業的理由	文化的・教育的理由	同居・結婚等	生活・環境的理由	住宅事情	その他
合計		1,453 100.0%	378 26.0%	73 5.0%	158 10.9%	564 38.8%	197 13.6%	83 5.7%
就業状況別	自営業	113 100.0%	25 22.1%	8 7.1%	12 10.6%	42 37.2%	21 18.6%	5 4.4%
	勤め人	1087 100.0%	285 26.2%	34 3.1%	135 12.4%	433 39.8%	152 14.0%	48 4.4%
	学生	194 100.0%	57 29.4%	28 14.4%	3 1.5%	75 38.7%	15 7.7%	16 8.2%
	その他	54 100.0%	8 14.8%	3 5.6%	8 14.8%	13 24.1%	9 16.7%	13 24.1%
	無回答	5 100.0%	3 60.0%	-	-	1 20.0%	-	1 20.0%
世帯年収別	わからない	204 100.0%	60 29.4%	12 5.9%	29 14.2%	64 31.4%	21 10.3%	18 8.8%
	300万円未満	198 100.0%	57 28.8%	15 7.6%	6 3.0%	80 40.4%	20 10.1%	20 10.1%
	300万円以上 500万円未満	402 100.0%	122 30.3%	13 3.2%	28 7.0%	167 41.5%	54 13.4%	18 4.5%
	500万円以上 800万円未満	332 100.0%	79 23.8%	11 3.3%	37 11.1%	139 41.9%	53 16.0%	13 3.9%
	800万円以上 1,000万円未満	116 100.0%	27 23.3%	7 6.0%	18 15.5%	43 37.1%	15 12.9%	6 5.2%
	1,000万円以上 1,500万円未満	103 100.0%	17 16.5%	5 4.9%	22 21.4%	38 36.9%	18 17.5%	3 2.9%
	1,500万円以上 2,000万円未満	37 100.0%	6 16.2%	4 10.8%	9 24.3%	12 32.4%	5 13.5%	1 2.7%
	2,000万円以上	45 100.0%	5 11.1%	3 6.7%	9 20.0%	15 33.3%	11 24.4%	2 4.4%
	無回答	16 100.0%	5 31.3%	3 18.8%	-	6 37.5%	-	2 12.5%

※複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ－6) 転出地(地方)別転出理由

		調査数	職業的理由	文化的・ 教育的理由	同居・ 結婚等	環境的・ 生活的理由	住宅事情	その他
合計		497 100.0%	133 26.8%	9 1.8%	77 15.5%	118 23.7%	112 22.5%	48 9.7%
転出地 (地方)別	北海道地方	9 100.0%	4 44.4%	-	2 22.2%	2 22.2%	-	1 11.1%
	東北地方	10 100.0%	6 60.0%	-	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%
	関東地方	407 100.0%	88 21.6%	8 2.0%	62 15.2%	104 25.6%	107 26.3%	38 9.3%
	北陸地方	8 100.0%	3 37.5%	-	1 12.5%	2 25.0%	-	2 25.0%
	中部地方	8 100.0%	4 50.0%	-	1 12.5%	2 25.0%	-	1 12.5%
	近畿地方	14 100.0%	8 57.1%	-	1 7.1%	3 21.4%	1 7.1%	1 7.1%
	中国地方	4 100.0%	3 75.0%	-	1 25.0%	-	-	-
	四国地方	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	-
	九州地方	7 100.0%	2 28.6%	-	3 42.9%	-	-	2 28.6%
	沖縄地方	2 100.0%	1 50.0%	-	1 50.0%	-	-	-
	国外	8 100.0%	5 62.5%	-	1 12.5%	-	-	2 25.0%
	無回答	19 100.0%	8 42.1%	1 5.3%	3 15.8%	4 21.1%	3 15.8%	-

※複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ－7) 転出地(都内)別転出理由

		調査数	職業的理由	文化的・ 教育的理由	同居・ 結婚等	環境的・ 生活的理由	住宅事情	その他
合計		321 100.0%	68 21.2%	7 2.2%	47 14.6%	86 26.8%	88 27.4%	25 7.8%
区部		295 100.0%	60 20.3%	5 1.7%	44 14.9%	81 27.5%	81 27.5%	24 8.1%
市部		26 100.0%	8 30.8%	2 7.7%	3 11.5%	5 19.2%	7 26.9%	1 3.8%
郡・島部		-	-	-	-	-	-	-

※複数回答(最大3つまで)

(表IV-8) 就業状況・世帯年収別転出理由

		調査数	職業的理由	文教育・文化的理由	同居・結婚等	環境・生活的理由	住宅事情	その他
合計		497 100.0%	133 26.8%	9 1.8%	77 15.5%	118 23.7%	112 22.5%	48 9.7%
就業状況別	自営業	52 100.0%	18 34.6%	1 1.9%	10 19.2%	5 9.6%	9 17.3%	9 17.3%
	勤め人	368 100.0%	92 25.0%	6 1.6%	56 15.2%	94 25.5%	88 23.9%	32 8.7%
	学生	41 100.0%	19 46.3%	1 2.4%	5 12.2%	9 22.0%	6 14.6%	1 2.4%
	その他	33 100.0%	4 12.1%	1 3.0%	5 15.2%	9 27.3%	8 24.2%	6 18.2%
	無回答	3 100.0%	-	-	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	-
世帯年収別	わからない	74 100.0%	24 32.4%	2 2.7%	15 20.3%	16 21.6%	10 13.5%	7 9.5%
	300万円未満	49 100.0%	16 32.7%	1 2.0%	6 12.2%	14 28.6%	7 14.3%	5 10.2%
	300万円以上 500万円未満	124 100.0%	36 29.0%	2 1.6%	15 12.1%	31 25.0%	27 21.8%	13 10.5%
	500万円以上 800万円未満	118 100.0%	28 23.7%	1 0.8%	23 19.5%	27 22.9%	26 22.0%	13 11.0%
	800万円以上 1,000万円未満	49 100.0%	12 24.5%	1 2.0%	6 12.2%	13 26.5%	16 32.7%	1 2.0%
	1,000万円以上 1,500万円未満	48 100.0%	7 14.6%	1 2.1%	5 10.4%	12 25.0%	19 39.6%	4 8.3%
	1,500万円以上 2,000万円未満	12 100.0%	2 16.7%	-	4 33.3%	-	4 33.3%	2 16.7%
	2,000万円以上	7 100.0%	3 42.9%	-	2 28.6%	1 14.3%	-	1 14.3%
	無回答	16 100.0%	5 31.3%	1 6.3%	1 6.3%	4 25.0%	3 18.8%	2 12.5%

※複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ－9) 転入地(町名)別転入理由

	調査数	職業的 理由	文教育 的・ 理由	同結 居婚 等・	環生 境活 的・ 理由	住宅 事情	その 他
合計	1,453 100.0%	378 26.0%	73 5.0%	158 10.9%	564 38.8%	197 13.6%	83 5.7%
後楽	14 100.0%	5 35.7%	- -	3 21.4%	4 28.6%	2 14.3%	- -
春日	45 100.0%	11 24.4%	2 4.4%	7 15.6%	18 40.0%	7 15.6%	- -
小石川	167 100.0%	41 24.6%	9 5.4%	18 10.8%	71 42.5%	17 10.2%	11 6.6%
白山	116 100.0%	30 25.9%	7 6.0%	11 9.5%	48 41.4%	16 13.8%	4 3.4%
千石	97 100.0%	24 24.7%	6 6.2%	12 12.4%	37 38.1%	13 13.4%	5 5.2%
水道	76 100.0%	21 27.6%	2 2.6%	6 7.9%	29 38.2%	16 21.1%	2 2.6%
小日向	32 100.0%	11 34.4%	- -	3 9.4%	16 50.0%	2 6.3%	- -
大塚	132 100.0%	36 27.3%	5 3.8%	17 12.9%	47 35.6%	18 13.6%	9 6.8%
関口	69 100.0%	10 14.5%	3 4.3%	8 11.6%	26 37.7%	14 20.3%	8 11.6%
目白台	38 100.0%	8 21.1%	5 13.2%	5 13.2%	8 21.1%	8 21.1%	4 10.5%
音羽	28 100.0%	9 32.1%	2 7.1%	4 14.3%	8 28.6%	5 17.9%	- -
本郷	121 100.0%	46 38.0%	14 11.6%	4 3.3%	42 34.7%	9 7.4%	6 5.0%
湯島	101 100.0%	28 27.7%	- -	11 10.9%	43 42.6%	14 13.9%	5 5.0%
西片	23 100.0%	3 13.0%	3 13.0%	3 13.0%	12 52.2%	2 8.7%	- -
向丘	25 100.0%	7 28.0%	- -	4 16.0%	7 28.0%	4 16.0%	3 12.0%
弥生	13 100.0%	3 23.1%	1 7.7%	4 30.8%	3 23.1%	- -	2 15.4%
根津	43 100.0%	7 16.3%	6 14.0%	6 14.0%	17 39.5%	5 11.6%	2 4.7%
千駄木	147 100.0%	34 23.1%	5 3.4%	12 8.2%	63 42.9%	24 16.3%	9 6.1%
本駒込	139 100.0%	35 25.2%	2 1.4%	16 11.5%	57 41.0%	18 12.9%	11 7.9%
無回答	27 100.0%	9 33.3%	1 3.7%	4 14.8%	8 29.6%	3 11.1%	2 7.4%

※複数回答(最大3つまで)

(表IV-10) 前住地(町名)別転出理由

	調査数	職業的理由	文・教育・ 化的理由	同結 居婚 等	環生 境的 生活 的 理由	住宅事情	その他
合計	497 100.0%	133 26.8%	9 1.8%	77 15.5%	118 23.7%	112 22.5%	48 9.7%
後楽	8 100.0%	3 37.5%	-	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%
春日	5 100.0%	1 20.0%	-	-	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%
小石川	44 100.0%	10 22.7%	1 2.3%	6 13.6%	9 20.5%	13 29.5%	5 11.4%
白山	60 100.0%	12 20.0%	1 1.7%	11 18.3%	18 30.0%	13 21.7%	5 8.3%
千石	39 100.0%	10 25.6%	1 2.6%	4 10.3%	8 20.5%	14 35.9%	2 5.1%
水道	14 100.0%	4 28.6%	-	4 28.6%	2 14.3%	4 28.6%	-
小日向	6 100.0%	2 33.3%	-	2 33.3%	1 16.7%	-	1 16.7%
大塚	43 100.0%	13 30.2%	1 2.3%	4 9.3%	9 20.9%	10 23.3%	6 14.0%
関口	16 100.0%	4 25.0%	1 6.3%	1 6.3%	6 37.5%	3 18.8%	1 6.3%
目白台	13 100.0%	4 30.8%	1 7.7%	2 15.4%	4 30.8%	1 7.7%	1 7.7%
音羽	23 100.0%	2 8.7%	-	2 8.7%	7 30.4%	10 43.5%	2 8.7%
本郷	55 100.0%	16 29.1%	1 1.8%	12 21.8%	10 18.2%	11 20.0%	5 9.1%
湯島	39 100.0%	11 28.2%	-	7 17.9%	11 28.2%	7 17.9%	3 7.7%
西片	13 100.0%	4 30.8%	-	2 15.4%	4 30.8%	1 7.7%	2 15.4%
向丘	15 100.0%	6 40.0%	1 6.7%	1 6.7%	4 26.7%	2 13.3%	1 6.7%
弥生	-	-	-	-	-	-	-
根津	14 100.0%	5 35.7%	-	3 21.4%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%
千駄木	40 100.0%	11 27.5%	-	5 12.5%	11 27.5%	8 20.0%	5 12.5%
本駒込	35 100.0%	9 25.7%	-	7 20.0%	7 20.0%	7 20.0%	5 14.3%
無回答	15 100.0%	6 40.0%	1 6.7%	3 20.0%	2 13.3%	3 20.0%	-

※複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ-11) 男女別・年齢階層別・定住志向別転入理由

		調査数	職業的 理由	文化的・ 教育的 理由	同居等 結婚 理由	環境的・ 生活 理由	住宅 事情	その他
合計		1,453 100.0%	378 26.0%	73 5.0%	158 10.9%	564 38.8%	197 13.6%	83 5.7%
男女別	男性	693 100.0%	204 29.4%	40 5.8%	60 8.7%	268 38.7%	82 11.8%	39 5.6%
	女性	759 100.0%	173 22.8%	33 4.3%	98 12.9%	296 39.0%	115 15.2%	44 5.8%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -
年齢階層別	15～24歳	335 100.0%	112 33.4%	27 8.1%	8 2.4%	134 40.0%	32 9.6%	22 6.6%
	25～34歳	741 100.0%	185 25.0%	21 2.8%	102 13.8%	301 40.6%	104 14.0%	28 3.8%
	35～44歳	209 100.0%	47 22.5%	21 10.0%	25 12.0%	65 31.1%	37 17.7%	14 6.7%
	45～54歳	84 100.0%	20 23.8%	3 3.6%	10 11.9%	34 40.5%	11 13.1%	6 7.1%
	55～64歳	43 100.0%	10 23.3%	- -	3 7.0%	15 34.9%	8 18.6%	7 16.3%
	65歳以上	26 100.0%	1 3.8%	1 3.8%	7 26.9%	9 34.6%	3 11.5%	5 19.2%
	無回答	15 100.0%	3 20.0%	- -	3 20.0%	6 40.0%	2 13.3%	1 6.7%
定住志向別	ずっと 住み続けたい	506 100.0%	110 21.7%	32 6.3%	62 12.3%	205 40.5%	73 14.4%	24 4.7%
	一時的なもの と考えている	451 100.0%	135 29.9%	20 4.4%	41 9.1%	178 39.5%	52 11.5%	25 5.5%
	わからない	470 100.0%	128 27.2%	20 4.3%	54 11.5%	171 36.4%	66 14.0%	31 6.6%
	無回答	26 100.0%	5 19.2%	1 3.8%	1 3.8%	10 38.5%	6 23.1%	3 11.5%

※複数回答(最大3つまで)

(表IV-12) 男女別・年齢階層別・定住志向別転出理由

		調査数	職業的 理由	文化的・ 教育的 理由	同居婚 等・	生活・ 環境的 理由	住宅 事情	その他
合計		497 100.0%	133 26.8%	9 1.8%	77 15.5%	118 23.7%	112 22.5%	48 9.7%
男女別	男性	237 100.0%	75 31.6%	4 1.7%	35 14.8%	49 20.7%	56 23.6%	18 7.6%
	女性	260 100.0%	58 22.3%	5 1.9%	42 16.2%	69 26.5%	56 21.5%	30 11.5%
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
年齢階層別	15～24歳	94 100.0%	37 39.4%	1 1.1%	10 10.6%	20 21.3%	17 18.1%	9 9.6%
	25～34歳	225 100.0%	59 26.2%	7 3.1%	34 15.1%	59 26.2%	51 22.7%	15 6.7%
	35～44歳	86 100.0%	19 22.1%	- -	20 23.3%	20 23.3%	20 23.3%	7 8.1%
	45～54歳	47 100.0%	9 19.1%	- -	10 21.3%	7 14.9%	13 27.7%	8 17.0%
	55～64歳	24 100.0%	7 29.2%	- -	- -	5 20.8%	6 25.0%	6 25.0%
	65歳以上	21 100.0%	2 9.5%	1 4.8%	3 14.3%	7 33.3%	5 23.8%	3 14.3%
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
定住志向別	ずっと 住み続けたい	317 100.0%	77 24.3%	6 1.9%	51 16.1%	71 22.4%	79 24.9%	33 10.4%
	一時的なもの 考えている	140 100.0%	40 28.6%	2 1.4%	20 14.3%	41 29.3%	28 20.0%	9 6.4%
	わからない	33 100.0%	13 39.4%	- -	6 18.2%	5 15.2%	3 9.1%	6 18.2%
	無回答	7 100.0%	3 42.9%	1 14.3%	- -	1 14.3%	2 28.6%	- -

※複数回答(最大3つまで)

(表IV-13) 男女別・年齢階層別定住志向(転入・転出)

		転入					転出				
		調査数	け ず た つ と 住 み 続	と 一 時 的 な も の	わ か ら な い	無 回 答	調査数	け ず た つ か つ と 住 み 続	と 一 時 的 な も の	わ か ら な い	無 回 答
合 計		802 100.0%	251 31.3%	249 31.0%	281 35.0%	21 2.6%	336 100.0%	202 60.1%	88 26.2%	33 9.8%	13 3.9%
男女別	男性	396 100.0%	112 28.3%	129 32.6%	142 35.9%	13 3.3%	165 100.0%	92 55.8%	49 29.7%	17 10.3%	7 4.2%
	女性	405 100.0%	139 34.3%	120 29.6%	138 34.1%	8 2.0%	170 100.0%	110 64.7%	39 22.9%	16 9.4%	5 2.9%
	無回答	1 100.0%	-	-	1 100.0%	-	1 100.0%	-	-	-	1 100.0%
年齢階層別	15~24歳	192 100.0%	47 24.5%	70 36.5%	71 37.0%	4 2.1%	61 100.0%	30 49.2%	20 32.8%	7 11.5%	4 6.6%
	25~34歳	389 100.0%	112 28.8%	136 35.0%	133 34.2%	8 2.1%	140 100.0%	87 62.1%	41 29.3%	8 5.7%	4 2.9%
	35~44歳	118 100.0%	44 37.3%	23 19.5%	48 40.7%	3 2.5%	63 100.0%	37 58.7%	16 25.4%	9 14.3%	1 1.6%
	45~54歳	55 100.0%	24 43.6%	11 20.0%	17 30.9%	3 5.5%	36 100.0%	30 83.3%	5 13.9%	1 2.8%	-
	55~64歳	24 100.0%	11 45.8%	8 33.3%	5 20.8%	-	18 100.0%	10 55.6%	3 16.7%	5 27.8%	-
	65歳以上	16 100.0%	10 62.5%	1 6.3%	3 18.8%	2 12.5%	14 100.0%	7 50.0%	3 21.4%	3 21.4%	1 7.1%
	無回答	8 100.0%	3 37.5%	-	4 50.0%	1 12.5%	4 100.0%	1 25.0%	-	-	3 75.0%

(表IV-14) 町名別定住志向(転入・転出)

	転入					転出				
	調査数	け ず た い と 住 み 続	と 一 考 え て な い も の	わ か ら な い	無 回 答	調査数	け ず た か と 住 み 続	と 一 考 え て な い も の	わ か ら な い	無 回 答
合計	802 100.0%	251 31.3%	249 31.0%	281 35.0%	21 2.6%	336 100.0%	202 60.1%	88 26.2%	33 9.8%	13 3.9%
後楽	9 100.0%	3 33.3%	2 22.2%	4 44.4%	-	6 100.0%	6 100.0%	-	-	-
春日	21 100.0%	6 28.6%	4 19.0%	11 52.4%	-	7 100.0%	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%
小石川	89 100.0%	40 44.9%	26 29.2%	21 23.6%	2 2.2%	28 100.0%	23 82.1%	3 10.7%	1 3.6%	1 3.6%
白山	60 100.0%	17 28.3%	26 43.3%	17 28.3%	-	34 100.0%	24 70.6%	8 23.5%	2 5.9%	-
千石	56 100.0%	16 28.6%	19 33.9%	20 35.7%	1 1.8%	27 100.0%	14 51.9%	9 33.3%	4 14.8%	-
水道	43 100.0%	13 30.2%	12 27.9%	18 41.9%	-	10 100.0%	10 100.0%	-	-	-
小日向	17 100.0%	4 23.5%	7 41.2%	6 35.3%	-	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	-	-
大塚	75 100.0%	25 33.3%	22 29.3%	25 33.3%	3 4.0%	28 100.0%	16 57.1%	7 25.0%	5 17.9%	-
関口	33 100.0%	11 33.3%	7 21.2%	14 42.4%	1 3.0%	8 100.0%	3 37.5%	4 50.0%	-	1 12.5%
目白台	25 100.0%	7 28.0%	7 28.0%	11 44.0%	-	9 100.0%	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%
音羽	15 100.0%	3 20.0%	6 40.0%	6 40.0%	-	11 100.0%	7 63.6%	4 36.4%	-	-
本郷	72 100.0%	22 30.6%	29 40.3%	21 29.2%	-	35 100.0%	21 60.0%	8 22.9%	6 17.1%	-
湯島	61 100.0%	20 32.8%	22 36.1%	18 29.5%	1 1.6%	28 100.0%	12 42.9%	12 42.9%	4 14.3%	-
西片	11 100.0%	2 18.2%	3 27.3%	5 45.5%	1 9.1%	10 100.0%	6 60.0%	4 40.0%	-	-
向丘	17 100.0%	3 17.6%	7 41.2%	6 35.3%	1 5.9%	10 100.0%	7 70.0%	2 20.0%	1 10.0%	-
弥生	8 100.0%	3 37.5%	2 25.0%	3 37.5%	-	-	-	-	-	-
根津	22 100.0%	5 22.7%	7 31.8%	9 40.9%	1 4.5%	11 100.0%	6 54.5%	3 27.3%	2 18.2%	-
千駄木	73 100.0%	27 37.0%	18 24.7%	26 35.6%	2 2.7%	26 100.0%	16 61.5%	9 34.6%	1 3.8%	-
本駒込	75 100.0%	18 24.0%	22 29.3%	32 42.7%	3 4.0%	26 100.0%	13 50.0%	7 26.9%	5 19.2%	1 3.8%
無回答	20 100.0%	6 30.0%	1 5.0%	8 40.0%	5 25.0%	17 100.0%	8 47.1%	2 11.8%	-	7 41.2%

(表Ⅳ-15) 町名別移動前後の住宅の種類 (転入)

	調査数	今度住む家(文京区内)						今まで住んでいた家(文京区外)					
		持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅	その他	無回答	持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅
合計	802	84	547	25	34	31	81	286	373	25	49	40	29
	100.0%	10.5%	68.2%	3.1%	4.2%	3.9%	10.1%	35.7%	46.5%	3.1%	6.1%	5.0%	3.6%
後楽	9	1	6	-	2	-	-	3	5	-	1	-	-
	100.0%	11.1%	66.7%	-	22.2%	-	-	33.3%	55.6%	-	11.1%	-	-
春日	21	2	16	-	2	-	1	9	10	-	2	-	-
	100.0%	9.5%	76.2%	-	9.5%	-	4.8%	42.9%	47.6%	-	9.5%	-	-
小石川	89	12	62	2	1	3	9	38	35	5	1	6	4
	100.0%	13.5%	69.7%	2.2%	1.1%	3.4%	10.1%	42.7%	39.3%	5.6%	1.1%	6.7%	4.5%
白山	60	5	46	3	1	1	4	19	31	1	5	3	1
	100.0%	8.3%	76.7%	5.0%	1.7%	1.7%	6.7%	31.7%	51.7%	1.7%	8.3%	5.0%	1.7%
千石	56	7	38	4	3	1	3	17	30	4	2	2	1
	100.0%	12.5%	67.9%	7.1%	5.4%	1.8%	5.4%	30.4%	53.6%	7.1%	3.6%	3.6%	1.8%
水道	43	4	33	1	1	1	3	10	27	2	2	2	-
	100.0%	9.3%	76.7%	2.3%	2.3%	2.3%	7.0%	23.3%	62.8%	4.7%	4.7%	4.7%	-
小日向	17	1	12	1	1	2	-	6	10	-	-	1	-
	100.0%	5.9%	70.6%	5.9%	5.9%	11.8%	-	35.3%	58.8%	-	-	5.9%	-
大塚	75	4	51	3	2	6	9	26	35	1	2	6	5
	100.0%	5.3%	68.0%	4.0%	2.7%	8.0%	12.0%	34.7%	46.7%	1.3%	2.7%	8.0%	6.7%
関口	33	3	26	-	1	-	3	13	17	-	-	3	-
	100.0%	9.1%	78.8%	-	3.0%	-	9.1%	39.4%	51.5%	-	-	9.1%	-
目白台	25	4	11	1	-	8	1	10	11	1	1	2	-
	100.0%	16.0%	44.0%	4.0%	-	32.0%	4.0%	40.0%	44.0%	4.0%	4.0%	8.0%	-
音羽	15	2	8	1	-	-	4	5	7	1	1	-	1
	100.0%	13.3%	53.3%	6.7%	-	-	26.7%	33.3%	46.7%	6.7%	6.7%	-	6.7%
本郷	72	5	57	1	2	1	6	26	34	2	6	4	-
	100.0%	6.9%	79.2%	1.4%	2.8%	1.4%	8.3%	36.1%	47.2%	2.8%	8.3%	5.6%	-
湯島	61	3	44	2	4	1	7	19	31	-	6	1	4
	100.0%	4.9%	72.1%	3.3%	6.6%	1.6%	11.5%	31.1%	50.8%	-	9.8%	1.6%	6.6%
西片	11	1	9	-	-	1	-	7	3	-	1	-	-
	100.0%	9.1%	81.8%	-	-	9.1%	-	63.6%	27.3%	-	9.1%	-	-
向丘	17	1	10	-	-	4	2	7	8	-	1	-	1
	100.0%	5.9%	58.8%	-	-	23.5%	11.8%	41.2%	47.1%	-	5.9%	-	5.9%
弥生	8	3	2	-	1	-	2	4	3	-	1	-	-
	100.0%	37.5%	25.0%	-	12.5%	-	25.0%	50.0%	37.5%	-	12.5%	-	-
根津	22	4	15	1	-	-	2	5	8	4	1	3	1
	100.0%	18.2%	68.2%	4.5%	-	-	9.1%	22.7%	36.4%	18.2%	4.5%	13.6%	4.5%
千駄木	73	12	46	2	5	1	7	31	27	1	9	4	1
	100.0%	16.4%	63.0%	2.7%	6.8%	1.4%	9.6%	42.5%	37.0%	1.4%	12.3%	5.5%	1.4%
本駒込	75	7	52	3	6	-	7	29	32	3	6	2	3
	100.0%	9.3%	69.3%	4.0%	8.0%	-	9.3%	38.7%	42.7%	4.0%	8.0%	2.7%	4.0%
無回答	20	3	3	-	2	1	11	2	9	-	1	1	7
	100.0%	15.0%	15.0%	-	10.0%	5.0%	55.0%	10.0%	45.0%	-	5.0%	5.0%	35.0%

(表Ⅳ-16) 町名別移動前後の住宅の種類 (転出)

	調査数	今度住む家(文京区外)						今まで住んでいた家(文京区内)					
		持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅	その他	無回答	持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅
合計	336 100.0%	73 21.7%	199 59.2%	16 4.8%	15 4.5%	5 1.5%	28 8.3%	49 14.6%	171 50.9%	12 3.6%	26 7.7%	15 4.5%	63 18.8%
後楽	6 100.0%	-	6 100.0%	-	-	-	-	3 50.0%	3 50.0%	-	-	-	-
春日	7 100.0%	2 28.6%	4 57.1%	-	1 14.3%	-	-	-	4 57.1%	-	1 14.3%	-	2 28.6%
小石川	28 100.0%	8 28.6%	14 50.0%	3 10.7%	-	-	3 10.7%	4 14.3%	16 57.1%	2 7.1%	-	-	6 21.4%
白山	34 100.0%	8 23.5%	23 67.6%	-	2 5.9%	-	1 2.9%	5 14.7%	19 55.9%	1 2.9%	3 8.8%	2 5.9%	4 11.8%
千石	27 100.0%	7 25.9%	18 66.7%	1 3.7%	1 3.7%	-	-	5 18.5%	14 51.9%	1 3.7%	4 14.8%	2 7.4%	1 3.7%
水道	10 100.0%	2 20.0%	5 50.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	-	1 10.0%	4 40.0%	3 30.0%	2 20.0%	-	-
小日向	5 100.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	-	-	-	2 40.0%	1 20.0%	-	1 20.0%	-	1 20.0%
大塚	28 100.0%	6 21.4%	18 64.3%	1 3.6%	-	-	3 10.7%	5 17.9%	18 64.3%	1 3.6%	1 3.6%	-	3 10.7%
関口	8 100.0%	2 25.0%	6 75.0%	-	-	-	-	1 12.5%	5 62.5%	-	-	1 12.5%	1 12.5%
目白台	9 100.0%	2 22.2%	5 55.6%	1 11.1%	-	-	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	-	-	1 11.1%	4 44.4%
音羽	11 100.0%	5 45.5%	4 36.4%	-	1 9.1%	-	1 9.1%	3 27.3%	7 63.6%	-	1 9.1%	-	-
本郷	35 100.0%	7 20.0%	22 62.9%	1 2.9%	2 5.7%	1 2.9%	2 5.7%	1 2.9%	19 54.3%	1 2.9%	4 11.4%	4 11.4%	6 17.1%
湯島	28 100.0%	4 14.3%	21 75.0%	-	1 3.6%	1 3.6%	1 3.6%	1 3.6%	15 53.6%	-	4 14.3%	4 14.3%	4 14.3%
西片	10 100.0%	3 30.0%	6 60.0%	1 10.0%	-	-	-	1 10.0%	5 50.0%	-	-	-	4 40.0%
向丘	10 100.0%	4 40.0%	4 40.0%	-	2 20.0%	-	-	2 20.0%	6 60.0%	-	1 10.0%	-	1 10.0%
弥生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
根津	11 100.0%	3 27.3%	6 54.5%	2 18.2%	-	-	-	3 27.3%	4 36.4%	1 9.1%	-	-	3 27.3%
千駄木	26 100.0%	6 23.1%	11 42.3%	3 11.5%	-	2 7.7%	4 15.4%	4 15.4%	13 50.0%	1 3.8%	1 3.8%	1 3.8%	6 23.1%
本駒込	26 100.0%	3 11.5%	17 65.4%	1 3.8%	2 7.7%	-	3 11.5%	7 26.9%	13 50.0%	1 3.8%	2 7.7%	-	3 11.5%
無回答	17 100.0%	-	6 35.3%	-	2 11.8%	-	9 52.9%	-	2 11.8%	-	1 5.9%	-	14 82.4%

(表Ⅳ-17) 移動前後の住宅の種類別転入理由

		調査数	職業的 理由	文教育・ 化的理由	同居・ 結婚等	環境的・ 生活理由	住宅事 情	その他			調査数	職業的 理由	文教育・ 化的理由	同居・ 結婚等	環境的・ 生活理由	住宅事 情	その他
合計		1,453	378	73	158	564	197	83	合計		1,453	378	73	158	564	197	83
		100.0%	26.0%	5.0%	10.9%	38.8%	13.6%	5.7%			100.0%	26.0%	5.0%	10.9%	38.8%	13.6%	5.7%
今度住む家 (文京区内)	持ち家	154	17	10	35	55	29	8	今まで住んで いた家(文京区 外)	持ち家	523	156	27	47	205	56	32
	100.0%	11.0%	6.5%	22.7%	35.7%	18.8%	5.2%	100.0%		29.8%	5.2%	9.0%	39.2%	10.7%	6.1%		
	民営の 賃貸住宅	1043	277	48	97	432	134	55		民営の 賃貸住宅	696	149	27	85	287	112	36
	100.0%	26.6%	4.6%	9.3%	41.4%	12.8%	5.3%	100.0%		21.4%	3.9%	12.2%	41.2%	16.1%	5.2%		
	公営の 賃貸住宅	43	12	3	6	14	6	2		公営の 賃貸住宅	38	8	5	5	9	6	5
	100.0%	27.9%	7.0%	14.0%	32.6%	14.0%	4.7%	100.0%		21.1%	13.2%	13.2%	23.7%	15.8%	13.2%		
	社宅・公 務員住宅	48	27	1	4	10	5	1		社宅・公 務員住宅	96	30	9	9	34	9	5
100.0%	56.3%	2.1%	8.3%	20.8%	10.4%	2.1%	100.0%	31.3%	9.4%	9.4%	35.4%	9.4%	5.2%				
その他	42	14	4	1	10	6	7	その他	69	23	5	6	21	10	4		
100.0%	33.3%	9.5%	2.4%	23.8%	14.3%	16.7%	100.0%	33.3%	7.2%	8.7%	30.4%	14.5%	5.8%				
無回答	123	31	7	15	43	17	10	無回答	31	12	-	6	8	4	1		
100.0%	25.2%	5.7%	12.2%	35.0%	13.8%	8.1%	100.0%	38.7%	-	19.4%	25.8%	12.9%	3.2%				

※複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ-18) 移動前後の住宅の種類別転出理由

		調査数	職業的 理由	文教育・ 化的理由	同居・ 結婚等	環境的・ 生活理由	住宅事 情	その他			調査数	職業的 理由	文教育・ 化的理由	同居・ 結婚等	環境的・ 生活理由	住宅事 情	その他
合計		497	133	9	77	118	112	48	合計		497	133	9	77	118	112	48
		100.0%	26.8%	1.8%	15.5%	23.7%	22.5%	9.7%			100.0%	26.8%	1.8%	15.5%	23.7%	22.5%	9.7%
今度住む家 (文京区外)	持ち家	110	18	4	20	17	39	12	今まで住んで いた家(文京区 内)	持ち家	67	15	1	13	12	17	9
	100.0%	16.4%	3.6%	18.2%	15.5%	35.5%	10.9%	100.0%		22.4%	1.5%	19.4%	17.9%	25.4%	13.4%		
	民営の 賃貸住宅	313	86	4	49	86	60	28		民営の 賃貸住宅	271	68	6	45	64	62	26
	100.0%	27.5%	1.3%	15.7%	27.5%	19.2%	8.9%	100.0%		25.1%	2.2%	16.6%	23.6%	22.9%	9.6%		
	公営の 賃貸住宅	24	6	-	2	6	6	4		公営の 賃貸住宅	17	4	-	3	5	5	-
	100.0%	25.0%	-	8.3%	25.0%	25.0%	16.7%	100.0%		23.5%	-	17.6%	29.4%	29.4%	-		
	社宅・公 務員住宅	19	10	-	3	3	1	2		社宅・公 務員住宅	37	15	-	3	6	8	5
100.0%	52.6%	-	15.8%	15.8%	5.3%	10.5%	100.0%	40.5%	-	8.1%	16.2%	21.6%	13.5%				
その他	6	3	-	-	2	-	1	その他	27	7	-	5	9	2	4		
100.0%	50.0%	-	-	33.3%	-	16.7%	100.0%	25.9%	-	18.5%	33.3%	7.4%	14.8%				
無回答	25	10	1	3	4	6	1	無回答	78	24	2	8	22	18	4		
100.0%	40.0%	4.0%	12.0%	16.0%	24.0%	4.0%	100.0%	30.8%	2.6%	10.3%	28.2%	23.1%	5.1%				

※複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ-19) 年齢階層別移動前後の住宅の種類 (転入)

	調査数	今度住む家(文京区内)						今まで住んでいた家(文京区外)					
		持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅	その他	無回答	持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅
合計	802 100.0%	84 10.5%	547 68.2%	25 3.1%	34 4.2%	31 3.9%	81 10.1%	286 35.7%	373 46.5%	25 3.1%	49 6.1%	40 5.0%	29 3.6%
15~24歳	192 100.0%	9 4.7%	136 70.8%	6 3.1%	8 4.2%	11 5.7%	22 11.5%	98 51.0%	56 29.2%	7 3.6%	8 4.2%	12 6.3%	11 5.7%
25~34歳	389 100.0%	29 7.5%	282 72.5%	13 3.3%	19 4.9%	14 3.6%	32 8.2%	126 32.4%	189 48.6%	15 3.9%	28 7.2%	21 5.4%	10 2.6%
35~44歳	118 100.0%	17 14.4%	80 67.8%	1 0.8%	5 4.2%	2 1.7%	13 11.0%	35 29.7%	69 58.5%	2 1.7%	5 4.2%	3 2.5%	4 3.4%
45~54歳	55 100.0%	9 16.4%	31 56.4%	4 7.3%	2 3.6%	3 5.5%	6 10.9%	7 12.7%	40 72.7%	-	3 5.5%	3 5.5%	2 3.6%
55~64歳	24 100.0%	7 29.2%	12 50.0%	-	-	1 4.2%	4 16.7%	8 33.3%	12 50.0%	-	3 12.5%	1 4.2%	-
65歳以上	16 100.0%	12 75.0%	2 12.5%	1 6.3%	-	-	1 6.3%	11 68.8%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	-	1 6.3%
無回答	8 100.0%	1 12.5%	4 50.0%	-	-	-	3 37.5%	1 12.5%	5 62.5%	-	1 12.5%	-	1 12.5%

(表Ⅳ-20) 年齢階層別移動前後の住宅の種類 (転出)

	調査数	今度住む家(文京区外)						今まで住んでいた家(文京区内)					
		持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅	その他	無回答	持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅
合計	336 100.0%	73 21.7%	199 59.2%	16 4.8%	15 4.5%	5 1.5%	28 8.3%	49 14.6%	171 50.9%	12 3.6%	26 7.7%	15 4.5%	63 18.8%
15~24歳	61 100.0%	11 18.0%	37 60.7%	5 8.2%	1 1.6%	1 1.6%	6 9.8%	6 9.8%	27 44.3%	2 3.3%	3 4.9%	8 13.1%	15 24.6%
25~34歳	140 100.0%	23 16.4%	92 65.7%	6 4.3%	8 5.7%	2 1.4%	9 6.4%	13 9.3%	80 57.1%	8 5.7%	12 8.6%	5 3.6%	22 15.7%
35~44歳	63 100.0%	10 15.9%	36 57.1%	4 6.3%	5 7.9%	-	8 12.7%	13 20.6%	30 47.6%	2 3.2%	5 7.9%	-	13 20.6%
45~54歳	36 100.0%	12 33.3%	21 58.3%	1 2.8%	-	-	2 5.6%	8 22.2%	19 52.8%	-	4 11.1%	1 2.8%	4 11.1%
55~64歳	18 100.0%	10 55.6%	5 27.8%	-	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	4 22.2%	9 50.0%	-	2 11.1%	-	3 16.7%
65歳以上	14 100.0%	6 42.9%	7 50.0%	-	-	1 7.1%	-	4 28.6%	5 35.7%	-	-	1 7.1%	4 28.6%
無回答	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	-	-	-	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	-	-	-	2 50.0%

(表Ⅳ-21) 都内間の移動前後の住宅の種類(転入)

	調査数	今度住む家(文京区内)						今まで住んでいた家(文京区外)					
		持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅	その他	無回答	持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅
合計	411	37	289	11	15	15	44	81	254	13	23	26	14
	100.0%	9.0%	70.3%	2.7%	3.6%	3.6%	10.7%	19.7%	61.8%	3.2%	5.6%	6.3%	3.4%
区部	372	35	258	10	14	14	41	66	241	10	20	22	13
	100.0%	9.4%	69.4%	2.7%	3.8%	3.8%	11.0%	17.7%	64.8%	2.7%	5.4%	5.9%	3.5%
千代田区	10	1	7	-	-	-	2	2	8	-	-	-	-
	100.0%	10.0%	70.0%	-	-	-	20.0%	20.0%	80.0%	-	-	-	-
中央区	14	3	8	-	-	-	3	1	12	-	1	-	-
	100.0%	21.4%	57.1%	-	-	-	21.4%	7.1%	85.7%	-	7.1%	-	-
港区	16	3	9	2	-	1	1	4	11	1	-	-	-
	100.0%	18.8%	56.3%	12.5%	-	6.3%	6.3%	25.0%	68.8%	6.3%	-	-	-
新宿区	42	7	27	-	1	1	6	5	31	-	3	2	1
	100.0%	16.7%	64.3%	-	2.4%	2.4%	14.3%	11.9%	73.8%	-	7.1%	4.8%	2.4%
台東区	18	1	11	2	-	-	4	3	10	4	1	-	-
	100.0%	5.6%	61.1%	11.1%	-	-	22.2%	16.7%	55.6%	22.2%	5.6%	-	-
墨田区	10	1	5	-	-	-	2	-	4	2	-	1	3
	100.0%	10.0%	50.0%	-	-	-	20.0%	-	40.0%	20.0%	-	10.0%	30.0%
江東区	15	1	12	1	1	-	-	1	9	-	4	-	1
	100.0%	6.7%	80.0%	6.7%	6.7%	-	-	6.7%	60.0%	-	26.7%	-	6.7%
品川区	10	-	7	1	1	-	1	2	8	-	-	-	-
	100.0%	-	70.0%	10.0%	10.0%	-	10.0%	20.0%	80.0%	-	-	-	-
目黒区	12	1	10	-	-	1	-	2	8	-	1	1	-
	100.0%	8.3%	83.3%	-	-	8.3%	-	16.7%	66.7%	-	8.3%	8.3%	-
大田区	16	-	12	-	2	-	2	4	9	-	2	-	1
	100.0%	-	75.0%	-	12.5%	-	12.5%	25.0%	56.3%	-	12.5%	-	6.3%
世田谷区	21	1	17	-	1	-	2	2	17	-	1	1	-
	100.0%	4.8%	81.0%	-	4.8%	-	9.5%	9.5%	81.0%	-	4.8%	4.8%	-
渋谷区	9	-	7	-	1	-	1	-	9	-	-	-	-
	100.0%	-	77.8%	-	11.1%	-	11.1%	-	100.0%	-	-	-	-
中野区	15	1	11	-	-	-	3	2	10	-	-	-	3
	100.0%	6.7%	73.3%	-	-	-	20.0%	13.3%	66.7%	-	-	-	20.0%
杉並区	17	1	14	-	-	1	1	4	9	1	-	2	1
	100.0%	5.9%	82.4%	-	-	5.9%	5.9%	23.5%	52.9%	5.9%	-	11.8%	5.9%
豊島区	36	4	22	1	1	5	3	4	24	-	1	7	-
	100.0%	11.1%	61.1%	2.8%	2.8%	13.9%	8.3%	11.1%	66.7%	-	2.8%	19.4%	-
北区	29	4	23	-	1	1	-	8	17	-	1	3	-
	100.0%	13.8%	79.3%	-	3.4%	3.4%	-	27.6%	58.6%	-	3.4%	10.3%	-
荒川区	10	1	5	-	1	-	3	2	7	-	-	1	-
	100.0%	10.0%	50.0%	-	10.0%	-	30.0%	20.0%	70.0%	-	-	10.0%	-
板橋区	21	1	16	-	1	-	3	6	12	-	1	-	2
	100.0%	4.8%	76.2%	-	4.8%	-	14.3%	28.6%	57.1%	-	4.8%	-	9.5%
練馬区	17	2	12	-	1	1	1	7	10	-	-	-	-
	100.0%	11.8%	70.6%	-	5.9%	5.9%	5.9%	41.2%	58.8%	-	-	-	-
足立区	20	1	14	-	2	1	2	4	8	1	3	3	1
	100.0%	5.0%	70.0%	-	10.0%	5.0%	10.0%	20.0%	40.0%	5.0%	15.0%	15.0%	5.0%
葛飾区	9	1	6	1	-	-	1	-	7	1	1	-	-
	100.0%	11.1%	66.7%	11.1%	-	-	11.1%	-	77.8%	11.1%	11.1%	-	-
江戸川区	5	-	3	2	-	-	-	3	1	-	-	1	-
	100.0%	-	60.0%	40.0%	-	-	-	60.0%	20.0%	-	-	20.0%	-
市部	39	2	31	1	1	1	3	15	13	3	3	4	1
	100.0%	5.1%	79.5%	2.6%	2.6%	2.6%	7.7%	38.5%	33.3%	7.7%	7.7%	10.3%	2.6%
郡・島部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(表Ⅳ-22) 都内間の移動前後の住宅の種類 (転出)

	調査数	今度住む家(文京区外)						今まで住んでいた家(文京区内)					
		持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅	その他	無回答	持ち家	賃貸住宅	民営住宅	公営住宅	公務員住宅
合計	200	33	141	10	6	3	7	22	117	10	12	8	31
	100.0%	16.5%	70.5%	5.0%	3.0%	1.5%	3.5%	11.0%	58.5%	5.0%	6.0%	4.0%	15.5%
区部	184	29	130	9	6	3	7	21	108	7	12	8	28
	100.0%	15.8%	70.7%	4.9%	3.3%	1.6%	3.8%	11.4%	58.7%	3.8%	6.5%	4.3%	15.2%
千代田区	10	2	6	-	-	1	1	-	8	1	-	-	1
	100.0%	20.0%	60.0%	-	-	10.0%	10.0%	-	80.0%	10.0%	-	-	10.0%
中央区	5	-	2	-	2	-	1	2	1	-	1	-	1
	100.0%	-	40.0%	-	40.0%	-	20.0%	40.0%	20.0%	-	20.0%	-	20.0%
港区	6	1	3	-	1	-	1	1	4	-	1	-	-
	100.0%	16.7%	50.0%	-	16.7%	-	16.7%	16.7%	66.7%	-	16.7%	-	-
新宿区	15	2	10	-	2	-	1	2	11	1	1	-	-
	100.0%	13.3%	66.7%	-	13.3%	-	6.7%	13.3%	73.3%	6.7%	6.7%	-	-
台東区	4	-	3	-	-	1	-	-	4	-	-	-	-
	100.0%	-	75.0%	-	-	25.0%	-	-	100.0%	-	-	-	-
墨田区	8	1	5	1	1	-	-	-	7	1	-	-	-
	100.0%	12.5%	62.5%	12.5%	12.5%	-	-	-	87.5%	12.5%	-	-	-
江東区	11	-	6	1	-	1	3	-	8	2	-	1	-
	100.0%	-	54.5%	9.1%	-	9.1%	27.3%	-	72.7%	18.2%	-	9.1%	-
品川区	6	-	5	-	-	-	1	-	5	-	-	1	-
	100.0%	-	83.3%	-	-	-	16.7%	-	83.3%	-	-	16.7%	-
目黒区	4	1	3	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-
	100.0%	25.0%	75.0%	-	-	-	-	75.0%	25.0%	-	-	-	-
大田区	4	-	3	-	-	-	1	1	2	-	1	-	-
	100.0%	-	75.0%	-	-	-	25.0%	25.0%	50.0%	-	25.0%	-	-
世田谷区	7	2	3	-	1	-	1	3	3	-	-	-	1
	100.0%	28.6%	42.9%	-	14.3%	-	14.3%	42.9%	42.9%	-	-	-	14.3%
渋谷区	5	-	3	-	-	1	1	-	5	-	-	-	-
	100.0%	-	60.0%	-	-	20.0%	20.0%	-	100.0%	-	-	-	-
中野区	7	-	5	-	1	-	1	-	5	1	1	-	-
	100.0%	-	71.4%	-	14.3%	-	14.3%	-	71.4%	14.3%	14.3%	-	-
杉並区	7	1	4	-	-	-	2	-	6	-	-	-	1
	100.0%	14.3%	57.1%	-	-	-	28.6%	-	85.7%	-	-	-	14.3%
豊島区	17	2	12	-	2	-	1	4	10	-	1	-	2
	100.0%	11.8%	70.6%	-	11.8%	-	5.9%	23.5%	58.8%	-	5.9%	-	11.8%
北区	21	3	12	2	1	1	2	7	13	1	-	-	-
	100.0%	14.3%	57.1%	9.5%	4.8%	4.8%	9.5%	33.3%	61.9%	4.8%	-	-	-
荒川区	6	3	2	-	-	-	1	2	3	-	-	-	1
	100.0%	50.0%	33.3%	-	-	-	16.7%	33.3%	50.0%	-	-	-	16.7%
板橋区	13	1	9	-	-	1	2	1	12	-	-	-	-
	100.0%	7.7%	69.2%	-	-	7.7%	15.4%	7.7%	92.3%	-	-	-	-
練馬区	6	2	2	1	-	-	1	-	5	1	-	-	-
	100.0%	33.3%	33.3%	16.7%	-	-	16.7%	-	83.3%	16.7%	-	-	-
足立区	10	-	3	2	-	2	3	-	9	1	-	-	-
	100.0%	-	30.0%	20.0%	-	20.0%	30.0%	-	90.0%	10.0%	-	-	-
葛飾区	5	-	3	-	1	-	1	1	3	-	-	1	-
	100.0%	-	60.0%	-	20.0%	-	20.0%	20.0%	60.0%	-	-	20.0%	-
江戸川区	7	-	4	-	-	-	3	2	5	-	-	-	-
	100.0%	-	57.1%	-	-	-	42.9%	28.6%	71.4%	-	-	-	-
市部	16	4	11	1	-	-	-	1	9	3	-	-	3
	100.0%	25.0%	68.8%	6.3%	-	-	-	6.3%	56.3%	18.8%	-	-	18.8%
郡・島部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(表IV-23) 男女別・年齢階層別施策要望 (転入)

		調査数	自然環境	教育や保育	暮らしに安全にするまち	防災対策	文化施設等	まち並みの保全	地域活性化	活気のあるまちづくり	その他	わからない
合計		1,776 100.0%	274 15.4%	217 12.2%	188 10.6%	213 12.0%	221 12.4%	152 8.6%	49 2.8%	362 20.4%	33 1.9%	67 3.8%
男女別	男性	874 100.0%	139 15.9%	106 12.1%	82 9.4%	82 9.4%	131 15.0%	78 8.9%	27 3.1%	179 20.5%	13 1.5%	37 4.2%
	女性	901 100.0%	135 15.0%	111 12.3%	106 11.8%	131 14.5%	90 10.0%	74 8.2%	22 2.4%	182 20.2%	20 2.2%	30 3.3%
	無回答	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%	-	-
年齢階層別	15~24歳	397 100.0%	53 13.4%	36 9.1%	41 10.3%	41 10.3%	62 15.6%	28 7.1%	9 2.3%	99 24.9%	4 1.0%	24 6.0%
	25~34歳	873 100.0%	134 15.3%	132 15.1%	75 8.6%	105 12.0%	101 11.6%	78 8.9%	23 2.6%	175 20.0%	16 1.8%	34 3.9%
	35~44歳	273 100.0%	47 17.2%	34 12.5%	31 11.4%	34 12.5%	33 12.1%	25 9.2%	8 2.9%	51 18.7%	5 1.8%	5 1.8%
	45~54歳	115 100.0%	22 19.1%	6 5.2%	18 15.7%	16 13.9%	14 12.2%	9 7.8%	4 3.5%	18 15.7%	5 4.3%	3 2.6%
	55~64歳	62 100.0%	11 17.7%	3 4.8%	10 16.1%	8 12.9%	8 12.9%	7 11.3%	3 4.8%	10 16.1%	2 3.2%	-
	65歳以上	40 100.0%	6 15.0%	3 7.5%	11 27.5%	7 17.5%	-	4 10.0%	2 5.0%	5 12.5%	1 2.5%	1 2.5%
	無回答	16 100.0%	1 6.3%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	3 18.8%	1 6.3%	-	4 25.0%	-	-

※複数回答(最大3つまで)

(表IV-24) 男女別・年齢階層別施策要望 (転出)

		調査数	自然環境	教育や保育	暮らしに安全にするまち	防災対策	文化施設等	まち並みの保全	地域活性化	活気のあるまちづくり	その他	わからない
合計		586 100.0%	81 13.8%	69 11.8%	46 7.8%	51 8.7%	68 11.6%	72 12.3%	26 4.4%	123 21.0%	25 4.3%	25 4.3%
男女別	男性	286 100.0%	38 13.3%	33 11.5%	19 6.6%	22 7.7%	39 13.6%	37 12.9%	12 4.2%	60 21.0%	10 3.5%	16 5.6%
	女性	300 100.0%	43 14.3%	36 12.0%	27 9.0%	29 9.7%	29 9.7%	35 11.7%	14 4.7%	63 21.0%	15 5.0%	9 3.0%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢階層別	15~24歳	104 100.0%	17 16.3%	16 15.4%	9 8.7%	7 6.7%	13 12.5%	10 9.6%	7 6.7%	15 14.4%	5 4.8%	5 4.8%
	25~34歳	239 100.0%	32 13.4%	31 13.0%	17 7.1%	20 8.4%	25 10.5%	33 13.8%	8 3.3%	53 22.2%	9 3.8%	11 4.6%
	35~44歳	113 100.0%	15 13.3%	14 12.4%	8 7.1%	10 8.8%	13 11.5%	14 12.4%	3 2.7%	29 25.7%	4 3.5%	3 2.7%
	45~54歳	66 100.0%	8 12.1%	4 6.1%	5 7.6%	9 13.6%	10 15.2%	9 13.6%	4 6.1%	11 16.7%	3 4.5%	3 4.5%
	55~64歳	37 100.0%	6 16.2%	2 5.4%	3 8.1%	2 5.4%	6 16.2%	4 10.8%	3 8.1%	8 21.6%	1 2.7%	2 5.4%
	65歳以上	26 100.0%	3 11.5%	2 7.7%	4 15.4%	2 7.7%	1 3.8%	2 7.7%	1 3.8%	7 26.9%	3 11.5%	1 3.8%
	無回答	1 100.0%	-	-	-	1 100.0%	-	-	-	-	-	-

※複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ-25) 町名別施策要望 (転入)

	調査数	自然環境	教育や保育	安全に暮らせるまち	防災対策	文化施設等	まち並みなどの保全	地域活性化	活気のあるまちづくり	その他	わからない
合計	1,776 100.0%	274 15.4%	217 12.2%	188 10.6%	213 12.0%	221 12.4%	152 8.6%	49 2.8%	362 20.4%	33 1.9%	67 3.8%
後楽	21 100.0%	2 9.5%	3 14.3%	2 9.5%	2 9.5%	1 4.8%	3 14.3%	1 4.8%	7 33.3%	-	-
春日	52 100.0%	6 11.5%	8 15.4%	4 7.7%	5 9.6%	5 9.6%	7 13.5%	1 1.9%	14 26.9%	1 1.9%	1 1.9%
小石川	209 100.0%	35 16.7%	26 12.4%	26 12.4%	24 11.5%	24 11.5%	20 9.6%	2 1.0%	44 21.1%	3 1.4%	5 2.4%
白山	125 100.0%	20 16.0%	12 9.6%	17 13.6%	16 12.8%	10 8.0%	8 6.4%	3 2.4%	28 22.4%	3 2.4%	8 6.4%
千石	126 100.0%	24 19.0%	22 17.5%	10 7.9%	13 10.3%	13 10.3%	11 8.7%	3 2.4%	25 19.8%	1 0.8%	4 3.2%
水道	100 100.0%	18 18.0%	10 10.0%	11 11.0%	12 12.0%	14 14.0%	13 13.0%	2 2.0%	11 11.0%	2 2.0%	7 7.0%
小日向	32 100.0%	4 12.5%	4 12.5%	2 6.3%	3 9.4%	3 9.4%	-	3 9.4%	11 34.4%	-	2 6.3%
大塚	163 100.0%	25 15.3%	21 12.9%	17 10.4%	24 14.7%	18 11.0%	16 9.8%	4 2.5%	33 20.2%	2 1.2%	3 1.8%
関口	70 100.0%	12 17.1%	9 12.9%	9 12.9%	9 12.9%	7 10.0%	5 7.1%	3 4.3%	13 18.6%	2 2.9%	1 1.4%
目白台	45 100.0%	9 20.0%	4 8.9%	3 6.7%	6 13.3%	6 13.3%	2 4.4%	2 4.4%	10 22.2%	1 2.2%	2 4.4%
音羽	35 100.0%	4 11.4%	6 17.1%	3 8.6%	4 11.4%	6 17.1%	3 8.6%	-	7 20.0%	-	2 5.7%
本郷	157 100.0%	28 17.8%	20 12.7%	16 10.2%	22 14.0%	21 13.4%	6 3.8%	1 0.6%	35 22.3%	3 1.9%	5 3.2%
湯島	142 100.0%	24 16.9%	17 12.0%	14 9.9%	17 12.0%	18 12.7%	11 7.7%	6 4.2%	27 19.0%	2 1.4%	6 4.2%
西片	28 100.0%	2 7.1%	4 14.3%	3 10.7%	3 10.7%	6 21.4%	-	1 3.6%	8 28.6%	1 3.6%	-
向丘	40 100.0%	6 15.0%	3 7.5%	6 15.0%	5 12.5%	6 15.0%	4 10.0%	-	9 22.5%	-	1 2.5%
弥生	19 100.0%	3 15.8%	2 10.5%	2 10.5%	1 5.3%	2 10.5%	4 21.1%	1 5.3%	4 21.1%	-	-
根津	46 100.0%	6 13.0%	6 13.0%	4 8.7%	5 10.9%	6 13.0%	5 10.9%	1 2.2%	11 23.9%	-	2 4.3%
千駄木	164 100.0%	19 11.6%	17 10.4%	17 10.4%	21 12.8%	27 16.5%	18 11.0%	5 3.0%	33 20.1%	4 2.4%	3 1.8%
本駒込	169 100.0%	23 13.6%	20 11.8%	17 10.1%	18 10.7%	26 15.4%	12 7.1%	8 4.7%	26 15.4%	7 4.1%	12 7.1%
無回答	33 100.0%	4 12.1%	3 9.1%	5 15.2%	3 9.1%	2 6.1%	4 12.1%	2 6.1%	6 18.2%	1 3.0%	3 9.1%

※複数回答(最大3つまで)

(表Ⅳ-26) 町名別施策要望 (転出)

	調査数	自然環境	教育や保育	安全に暮らせるまち	防災対策	文化施設等	まち並みの保全	地域活性化	活気のあるまちづくり	その他	わからない
合計	586 100.0%	81 13.8%	69 11.8%	46 7.8%	51 8.7%	68 11.6%	72 12.3%	26 4.4%	123 21.0%	25 4.3%	25 4.3%
後楽	13 100.0%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	-	2 15.4%	5 38.5%	1 7.7%	1 7.7%	-	-
春日	13 100.0%	1 7.7%	-	1 7.7%	2 15.4%	2 15.4%	-	1 7.7%	5 38.5%	-	1 7.7%
小石川	43 100.0%	10 23.3%	5 11.6%	2 4.7%	1 2.3%	5 11.6%	7 16.3%	2 4.7%	9 20.9%	-	2 4.7%
白山	73 100.0%	8 11.0%	7 9.6%	5 6.8%	6 8.2%	12 16.4%	13 17.8%	2 2.7%	15 20.5%	4 5.5%	1 1.4%
千石	51 100.0%	3 5.9%	7 13.7%	5 9.8%	2 3.9%	5 9.8%	8 15.7%	2 3.9%	12 23.5%	2 3.9%	5 9.8%
水道	17 100.0%	4 23.5%	4 23.5%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%	1 5.9%	2 11.8%	2 11.8%	-	-
小日向	8 100.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	-	1 12.5%	1 12.5%	-	-
大塚	50 100.0%	9 18.0%	6 12.0%	4 8.0%	4 8.0%	5 10.0%	6 12.0%	1 2.0%	10 20.0%	3 6.0%	2 4.0%
関口	10 100.0%	2 20.0%	-	1 10.0%	-	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	-	1 10.0%
目白台	15 100.0%	2 13.3%	2 13.3%	2 13.3%	3 20.0%	2 13.3%	-	1 6.7%	2 13.3%	-	1 6.7%
音羽	21 100.0%	4 19.0%	2 9.5%	2 9.5%	-	2 9.5%	2 9.5%	2 9.5%	7 33.3%	-	-
本郷	67 100.0%	8 11.9%	12 17.9%	3 4.5%	8 11.9%	9 13.4%	5 7.5%	2 3.0%	13 19.4%	3 4.5%	4 6.0%
湯島	39 100.0%	6 15.4%	-	2 5.1%	4 10.3%	3 7.7%	4 10.3%	-	13 33.3%	4 10.3%	3 7.7%
西片	24 100.0%	2 8.3%	5 20.8%	4 16.7%	2 8.3%	4 16.7%	3 12.5%	-	3 12.5%	1 4.2%	-
向丘	20 100.0%	3 15.0%	4 20.0%	1 5.0%	3 15.0%	4 20.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	-
弥生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
根津	16 100.0%	2 12.5%	3 18.8%	1 6.3%	-	1 6.3%	-	3 18.8%	4 25.0%	1 6.3%	1 6.3%
千駄木	53 100.0%	5 9.4%	4 7.5%	6 11.3%	9 17.0%	5 9.4%	9 17.0%	1 1.9%	11 20.8%	2 3.8%	1 1.9%
本駒込	40 100.0%	6 15.0%	5 12.5%	2 5.0%	2 5.0%	3 7.5%	6 15.0%	3 7.5%	8 20.0%	3 7.5%	2 5.0%
無回答	13 100.0%	2 15.4%	1 7.7%	2 15.4%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	-	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%

※複数回答(最大3つまで)

第10回文京区居住環境等移動理由別人口調査 結果報告書

令和4年12月 発行

発行 文京区

区民部 区民課 調査統計係

東京都文京区春日一丁目16番21号

電話：03（5803）1172（直通）

編集 株式会社 アイアールエス

東京都新宿区四谷三丁目1番3号

電話：03（3357）7181（代表）